

関西電力株式会社  
高浜発電所第1号機

発電用原子炉に燃料体を挿入することが  
できる状態になった時に係る  
使用前検査成績書

施設名：その他発電用原子炉の附属施設

系統名：補機駆動用燃料設備（非常用電源設備及び補助ボイラーに係  
るものを除く。）  
燃料設備



要領書番号：原規規収第1610071号 1-27-2

平成31年3月  
原子力規制委員会

使用前検査成績書

- 1 発電所名 関西電力株式会社高浜発電所第1号機
- 2 検査の種類 発電用原子炉に燃料体を挿入することができる状態になった時に係る使用前検査
- 3 検査申請 使用前検査申請番号  
関原発第299号(平成28年10月7日)  
関原発第434号(平成30年3月20日)  
関原発第46号(平成30年4月20日)  
関原発第202号(平成30年7月4日)  
関原発第259号(平成30年8月20日)  
関原発第415号(平成30年12月5日)  
関原発第504号(平成31年2月1日)  
関原発第512号(平成31年2月6日)  
関原発第582号(平成31年3月18日)
- 4 検査期日 自平成31年3月26日  
至平成31年3月26日
- 5 検査場所 関西電力株式会社高浜発電所  
福井県大飯郡高浜町田ノ浦
- 6 検査範囲 高浜発電所第1号機  
発電用原子炉施設  
その他発電用原子炉の附属施設  
補機駆動用燃料設備(非常用電源設備及び補助ボイラーに係るものを除く。)  
燃料設備  
容器  
常設  
No.1ディーゼル消火ポンプ燃料サービスタンク(1・2号機共用)  
1個
- 7 検査結果 検査実施者及び検査結果一覧表のとおり

## 検査実施者及び検査結果一覧表

検査項目	検査結果	原子力施設検査官	検査立会責任者
系統性能検査 容量確認検査	良	平成31年 3月 26日	平成31年 3月 26日
		前田 剛 	ボ13-7-07 主任技術者 清水 輝樹 <span style="float: right;">印</span>
		平川 至司 	

8 特記事項

なし

9 添付資料 使用前検査記録

- 1 検査前確認事項
- 2 容量確認検査記録
- 3 検査用計器一覧表

## 高浜発電所第1号機 使用前検査記録 検査前確認事項

## 共通事項

## 使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書(変更申請を含む。)が準備されていること。	記録確認	平成31年 3月26日	良	使用前検査成績書の「3 検査申請」に申請番号(変更申請番号を含む。)を記載する。
		年 月 日		
		年 月 日		
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	平成31年 3月26日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	平成31年 3月26日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		

## 高浜発電所第1号機 使用前検査記録

## 検査前確認事項

系統性能検査

容量確認検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	平成31年 3月26日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	平成31年 3月26日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	平成31年 3月26日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		

高浜発電所第1号機

## 容量確認検査記録

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査範囲：その他発電用原子炉の附属施設 補機駆動用燃料設備 燃料設備 容器

判定基準：容量が許容値を満足していること。

検査対象 名称	容量 (ℓ)			検査年月日	検査 結果	検査方法
	工事計画 記載値	許容値 <sup>※2</sup>	測定値			
No.1 ディーゼル消火ポンプ 燃料サービスタンク (1・2号機共用)	245 以上 (1500 <sup>※1</sup> )	245 以上	265.9	平成31年 3月26日	良	目視 記録確認

備考

※1：公称値

※2：許容値は工事計画による。

~~記録確認は、申請者の品質記録(※3)による。~~~~※3：適合性確認検査成績書の識別番号。~~

## 高浜発電所第1号機 使用前検査記録 検査用計器一覧表

検査年月日: ~~平成~~31年 3月26日

検査項目	検査用計器	管理番号	測定範囲	測定精度	校正年月日 有効期限	備考
容量確認 検査	電子式油用 流量計	0256589	0~9999999.9L 0.1~2.5 m <sup>3</sup> /h	±0.5%F.S	2019年2月18日 2022年2月17日	
(The remaining rows of the table are crossed out with a diagonal line.)						

関西電力株式会社  
高浜発電所第1号機

発電用原子炉に燃料体を挿入することが  
できる状態になった時に係る  
使用前検査成績書

施設名：その他発電用原子炉の附属施設

系統名：非常用電源設備

非常用発電装置 燃料設備

補機駆動用燃料設備（非常用電源設備及び補助ボイラーに係る  
ものを除く。）

燃料貯蔵設備

要領書番号：原規規収第1610071号1-27-3

令和2年3月



原子力規制委員会



使用前検査成績書

- 1 発電所名 関西電力株式会社高浜発電所第1号機
- 2 検査の種類 発電用原子炉に燃料体を挿入することができる状態になった時に係る  
使用前検査
- 3 検査申請 使用前検査申請番号  
関原発第299号(平成28年10月7日) 関原発第478号(令和2年1月23日)  
関原発第434号(平成30年3月20日) 関原発第510号(令和2年1月31日)  
関原発第46号(平成30年4月20日) 関原発第542号(令和2年2月26日)  
関原発第202号(平成30年7月4日)  
関原発第259号(平成30年8月20日)  
関原発第415号(平成30年12月5日)  
関原発第504号(平成31年2月1日)  
関原発第512号(平成31年2月6日)  
関原発第582号(平成31年3月18日)  
関原発第3号(平成31年4月4日)  
関原発第68号(令和元年5月16日)  
関原発第115号(令和元年6月24日)  
関原発第204号(令和元年8月23日)
- 4 検査期日 自 令和元年11月12日  
至 令和2年3月9日
- 5 検査場所 関西電力株式会社高浜発電所  
福井県大飯郡高浜町田ノ浦
- 6 検査範囲 高浜発電所第1号機  
発電用原子炉施設  
その他発電用原子炉の附属施設  
非常用電源設備  
非常用発電装置  
燃料設備  
容器  
常設  
燃料油貯油そう(重大事故等時のみ1・2号機共用)<sup>※1</sup>  
2(機関1台につき1)  
主配管  
常設(重大事故等時のみ1・2号機共用) 一式  
※1:その他発電用原子炉の附属施設(補機駆動用燃料設備)  
のうち燃料貯蔵設備と兼用
- 7 検査結果 検査実施者及び検査結果一覧表のとおり

## 検査実施者及び検査結果一覧表

検査項目	検査結果	原子力施設検査官	検査立会責任者
系統性能検査 燃料給油検査 容量確認検査	良	令和元年 11月 12日	令和 元年 11月 12日
		印 山形英男 	印 清水輝樹 

8 特記事項



なし

9 添付資料

使用前検査記録

- 1 検査前確認事項
- 2 燃料給油検査記録
- 3 容量確認検査記録
- 4 検査用計器一覧表

## 検査実施者及び検査結果一覧表

検査項目	検査結果	原子力施設検査官	検査立会責任者
系統性能検査 燃料給油検査 容量確認検査	良	令和2年3月9日	令和2年3月9日
		須貝実 	森川 一之丞 <small>主任技術者</small> 

8 特記事項

なし

9 添付資料

使用前検査記録

- 1 検査前確認事項
- 2 燃料給油検査記録
- 3 容量確認検査記録
- 4 検査用計器一覧表

## 高浜発電所第1号機 使用前検査記録

## 検査前確認事項

## 共通事項

## 使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	令和元年 11月12日	良	使用前検査成績書の「3 検査申請」に申請番号（変更申請番号を含む。）を記載する。
		令和2年 3月9日	良	
		年 月 日		
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	令和元年 11月12日	良	
		令和2年 3月9日	良	
		年 月 日		
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	令和元年 11月12日	良	
		令和2年 3月9日	良	
		年 月 日		

## 高浜発電所第1号機 使用前検査記録

## 検査前確認事項

系統性能検査

燃料給油検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	令和元年 11月12日	良	
		令和2年 3月9日	良	
		年 月 日		
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	令和元年 11月12日	良	
		令和2年 3月9日	良	
		年 月 日		
系統構成が完了していること。	立会/ <del>記録確認</del>	令和元年 11月12日	良	
	<del>立会</del> / 記録確認	令和2年 3月9日	良	
	立会/ 記録確認	年 月 日		

## 高浜発電所第 1 号機 使用前検査記録

## 検査前確認事項

## 系統性能検査

## 容量確認検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	令和元年 11月12日	良	
		令和2年 3月9日	良	
		年 月 日		
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	令和元年 11月12日	良	
		令和2年 3月9日	良	
		年 月 日		
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	令和元年 11月12日	良	
		令和2年 3月9日	良	
		年 月 日		

高浜発電所第1号機

## 燃料給油検査記録

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査範囲：その他発電用原子炉の附属施設 非常用電源設備 非常用発電装置 燃料設備  
 主配管 常設（重大事故等時のみ1・2号機共用）：一式

判定基準：重大事故等時の系統構成において、異常なく燃料給油できること。

検査対象	検査 年月日	検査 結果	検査方法
1 A 燃料油貯油そう ～ 1 A 燃料油移送ポンプ (重大事故等時のみ1・2号機共用)	令和2年 3月9日	良	<del>目視</del> 記録確認

備考

・記録確認は、申請者の品質記録（※）による。

※：適合性確認検査成績書の識別番号：T1-3-0501

高浜発電所第 1 号機

## 燃料給油検査記録

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査範囲：その他発電用原子炉の附属施設 非常用電源設備 非常用発電装置 燃料設備  
 主配管 常設（重大事故等時のみ 1・2号機共用）：一式

判定基準：重大事故等時の系統構成において、異常なく燃料給油できること。

検査対象	検査 年月日	検査 結果	検査方法
1 B 燃料油貯油そう ～ 1 B 燃料油移送ポンプ (重大事故等時のみ 1・2号機共用)	令和元年 11月12日	良	目視/ 記録確認

備考

~~記録確認は、申請者の品質記録（※）による。~~  
~~※：適合性確認検査成績書の識別番号~~



高浜発電所第1号機

## 容量確認検査記録

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査範囲：その他発電用原子炉の附属施設 非常用電源設備 非常用発電装置 燃料設備  
容器 常設 燃料油貯油そう（重大事故等時のみ1・2号機共用）：2個

判定基準：容量が許容値を満足していること。

検査対象 名称	容量 (m <sup>3</sup> )			検査年月日	検査 結果	検査方法
	工事計画 記載値	許容値※3	測定値			
1 A 燃料油貯油そう※1	180 以上 (200※2)	180 以上	/	令和2年 3月9日	良	<del>##</del> 記録確認

備考

※1：補機駆動用燃料設備のうち燃料貯蔵設備と兼用

※2：公称値

※3：許容値は工事計画による。

・記録確認は、申請者の品質記録（※4）による。

※4：適合性確認検査成績書の識別番号：T1-3-0501

高浜発電所第1号機

## 容量確認検査記録

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査範囲：その他発電用原子炉の附属施設 非常用電源設備 非常用発電装置 燃料設備  
容器 常設 燃料油貯油そう（重大事故等時のみ1・2号機共用）：2個

判定基準：容量が許容値を満足していること。

検査対象 名称	容量 (m <sup>3</sup> )			検査年月日	検査 結果	検査方法
	工事計画 記載値	許容値 <sup>※3</sup>	測定値			
1 B 燃料油貯油そう <sup>※1</sup>	180 以上 (200 <sup>※2</sup> )	180 以上	199.95	令和元年 11月12日	良	目視/ 記録確認

備考

※1：補機駆動用燃料設備のうち燃料貯蔵設備と兼用

※2：公称値

※3：許容値は工事計画による。

~~※4：記録確認は、申請者の品質記録（※4）による。~~~~※4：適合性確認検査成績書の識別番号。~~

高浜発電所第1号機 使用前検査記録  
検査用計器一覧表

検査年月日：令和元年11月12日

検査項目	検査用計器	管理番号	測定範囲	測定精度	校正年月日 有効期限	備考
容量確認 検査	コンバックス	WG-13-14	0~5.5m	$\pm(0.2+0.1L)$ mm L:測定長(m)	2018.1.12 2020.1.11	
以下余白						

関西電力株式会社  
高浜発電所第1号機  
使用前検査成績書

要領書番号 : 原規規収第1610071号99

成績書管理番号 : 1-27-4

令和3年 / 月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：1-27-4

- 1 発電所名 関西電力株式会社高浜発電所第1号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和 2 年 11 月 24 日  
至 令和 3 年 / 月 / 日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録

## 検査申請一覧表

検査申請書番号 (申請年月日)	関原発第299号(平成28年10月7日) 関原発第434号(平成30年3月20日) 関原発第46号(平成30年4月20日) 関原発第202号(平成30年7月4日) 関原発第259号(平成30年8月20日) 関原発第415号(平成30年12月5日) 関原発第504号(平成31年2月1日) 関原発第512号(平成31年2月6日) 関原発第582号(平成31年3月18日) 関原発第3号(平成31年4月4日) 関原発第68号(2019年5月16日) 関原発第115号(2019年6月24日) 関原発第204号(2019年8月23日) 関原発第478号(2020年1月23日) 関原発第510号(2020年1月31日) 関原発第542号(2020年2月26日) 関原発第609号(2020年3月24日) 関原発第 20号(2020年4月7日) 関原発第236号(2020年8月21日)
--------------------	---

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

## 検査結果一覧表

成績書管理番号：1-27-4

検査年月日	検査結果	原子力施設検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
令和 2 年 11 月 24 日 11 月 25 日	良	北村博史	奈良原子力炉 主任技術者 尾上 彰 ボイラー・タービン主任技術者 伊藤 順市	なし

u

関西電力株式会社高浜発電所第 1 号機 使用前検査記録  
共通事項

成績書管理番号：1 - 27 - 4

検査年月日：令和 2 年 11 月 24 日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

## 検査前確認事項

## 使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	良・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	良・—	



関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録  
(三号検査)

成績書管理番号：1-27-4

検査年月日：令和2年11月24日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

## 検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	良・—	
系統構成が完了していること。	立会 記録確認	良・—	

# 関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-27-4

検査年月日：令和2年 11月 24日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

## 検査結果

検査対象			
その他発電用原子炉の附属施設 非常用電源設備 非常用発電装置 内燃機関 サービスタンク 燃料設備 ポンプ 主配管 別添1参照			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
系統性能検査 運転性能検査 燃料給油検査（通水検査） 容量確認検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視※1  記録確認
<b>備考</b> ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：T1-3-0552 ・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照 ※1：立会は、A空冷式非常用発電装置用給油ポンプ等（別添2）を対象に実施した。			

関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録  
 (三号検査)  
 (立会検査)

成績書管理番号：1-27-4

検査年月日：令和2年11月25日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

## 検査結果

検査対象設備名	項目	測定値等		検査結果	検査方法
非常用発電装置 燃料設備 主配管 (別添2)	燃料給油検査 (通水検査)	-		良	目視
非常用発電装置 燃料設備 A空冷式非常用 発電装置用給油ポンプ	運転性能検査	容量※1 (m <sup>3</sup> /h)	2.4	良	
		吐出圧力※2 (MPa)	0.3 (0.328)	良	
		運転状態	-	良	
<p>備考</p> <p>運転性能検査判定基準：給油ポンプ容量 1.8 m<sup>3</sup>/h 以上、吐出圧力 0.3MPa 以上</p> <p>※1：①タンク容量曲線から読み取った容量および増加量 (ΔV)          時間測定前：1152.4 L (油面計 500mm の容量)          時間測定後：1307.1 L (油面計 600mm の容量)  <math>\Delta V = 1307.1 - 1152.4 = 154.7 \text{ L}</math></p> <p>②測定範囲高さに対して掛かった時間 (T) <math>T = 3\text{分}42\text{秒}36 = 222.36\text{秒} \div 223\text{秒}</math></p> <p>③容量 (Q)  <math>Q = (\Delta V / 1000) / (T / 3600)</math>  <math>= (154.7 / 1000) / (223 / 3600) = 2.497399103 \div 2.4</math> (小数点第2位以下切捨)</p> <p>※2：読み取った値の小数点第2位以下を判定基準に対して安全側になるように切り捨てた値          読み取った値は () 内に記載</p>					

関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録  
検査用計器一覧表

成績書管理番号：1-27-4

検査年月日：令和2年11月25日

検査項目	検査用計器	管理番号	測定範囲	測定精度	校正年月日 有効期限	備考
運転性能検査	圧力計	19100020	-0.1~0.4MPa	±1.6%F.S	2020年5月12日 2023年5月11日	
運転性能検査	金属製直尺	WG-11-05	0~1000mm	±0.30mm	2019年6月6日 2022年6月5日	
運転性能検査	ストップウォッチ	134674	0~100時間	±2秒/日	2020年2月18日 2021年2月28日	
以下余白						

工事計画本文(原規規発第1606104号(平成28年6月10日認可))

その他発電用原子炉の附属施設

1 非常用電源設備

2 非常用発電装置に係る次の事項

(2) 内燃機関に係る次の事項

ホ 燃料デイトンク又はサービスタンクの名称、種類、容量、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数及び取付箇所

・常設

(空冷式非常用発電装置)

			変更前	変更後
名称				燃料油サービスタンク
種	類	—		角形
容	量	ℓ/個		1,494 以上 (1,660 <sup>(注1)</sup> )
最高使用圧力 <sup>(注2)</sup>			—	大気圧
最高使用温度 <sup>(注2)</sup>			—	50
主要寸法	た	て	mm	1,050 <sup>(注1)</sup>
	横		mm	1,480 <sup>(注1)</sup>
	高	さ	mm	1,285 <sup>(注1)</sup>
材料	胴	板	—	SUS316
	底	板	—	SUS316L
個			—	2 (機関1台につき1)
取付箇所	系	統	名	A燃料油サービスタンク
	(ライン名)		—	B燃料油サービスタンク
	設	置	床	A空冷式非常用発電装置
	溢水防護上の区画番号		—	B空冷式非常用発電装置
溢水防護上の配慮が必要な高さ			—	1号機背面道路エリア E.L.+32.0m 1号機背面道路エリア E.L.+32.0m

(注1) 公称値

(注2) 重大事故等時における使用時の値

(4) 燃料設備に係る次の事項

イ ポンプの名称、種類、容量、揚程又は吐出圧力、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数及び取付箇所並びに原動機の種類、出力、個数及び取付箇所

(1/2)

名称			変更前	変更後
ポンプ	主要寸法	種類		空冷式非常用発電装置用給油ポンプ 歯車式
		容量 (注1)	m <sup>3</sup> /h/個	1.8以上 (1.8 (注2))
		吐出圧力 (注1)	MPa	0.3以上 (0.3 (注2))
		最高使用圧力 (注1)	MPa	0.38
		最高使用温度 (注1)	℃	40
		吸込口径	mm	40 (注2)
		吐出口径	mm	40 (注2)
		たて	mm	190 (注2)
		横	mm	177.5 (注2)
		高さ	mm	85 (注2)
材料	ケーシング		SC480	
個数			2 (機関1台につき1)	

(2/2)

			変更前	変更後
ポンプ	取付箇所	系統名 (ライン名)		A空冷式非常用発電装置用給油ポンプ B空冷式非常用発電装置用給油ポンプ 空冷式非常用発電装置燃料油ライン 空冷式非常用発電装置燃料油ライン
		設置床		屋外 E.L.+31.0m 屋外 E.L.+31.0m
		溢水防護上の 区画番号		
		溢水防護上の 配慮が必要な高さ		
原動機	取付箇所	種類		三相かご形誘導電動機
		出力	kW/個	1.5
		個数		2 (空冷式非常用発電装置用給油ポンプ1台につき1)
		取付箇所		ポンプと同じ

(注1) 重大事故等時における使用時の値

(注2) 公称値

ニ 主配管の名称、最高使用圧力、最高使用温度、外径、厚さ及び材料

・常設

変更前					変更後						
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
						燃料設備 燃料油貯油そう ～ 弁 (1V-MG-001A、B)	(注1) 0.6	(注1) 40	(注2) 60.5	(注2) 3.9	STPG370
					(注2) 76.3				(注2) 5.2	STPG370	

変更前					変更後						
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
						弁 (1V-MG-001A、B) ～ 空冷式非常用 発電装置 自動給油用 燃料油貯油そう側 フレキシブル ホース用 入口配管接続口	0	40	60.5	3.9	SUS304TP

燃料設備

12



13

変更前					変更後						
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
						空冷式非常用 発電装置 自動給油用 燃料油貯油そう側 フレキシブル ホース用 出口配管接続口 ～ 弁 (1V-MG-002A、B)	(注1) 0	(注1) 40	(注2) 60.5	(注2) 3.9	SUS304TP

燃料設備

14

変更前					変更後							
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	
						燃料 設備	弁 (1V-MG-002A、B) ～ 空冷式非常用 発電装置用 給油ポンプ	(注1) 0	(注1) 40	(注2) 60.5	(注2) 3.9	STPG370
					(注2) 48.6					(注2) 3.7	STPG370	
					空冷式非常用 発電装置用 給油ポンプ ～ 弁 (1V-MG-005A、B)		(注1) 0.38	(注1) 40	(注2) 48.6	(注2) 3.7	STPG370	
									(注2) 34.0	(注2) 3.4	STPG370	

15

変 更 前					変 更 後						
名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料
						弁 (1V-MG-005A、B) ～ 空冷式非常用 発電装置 自動給油用 空冷式非常用 発電装置側 フレキシブル ホース用 入口配管接続口	(注1) 0.38	(注1) 40	(注2) 34.0	(注2) 3.4	SUS304TP

(注1) 重大事故等時における使用時の値

(注2) 公称値

(注3) その他発電用原子炉の附属施設（補機駆動用燃料設備）と兼用

(注4) 本設備は既存の設備である。

・可搬型

変更前	変更後					
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	取付箇所
(注1)  燃料設備  空冷式非常用 発電装置 自動給油用 0.6mホース用 入口配管 (燃料油貯油そう側)	(注2)  0	(注2)  40	(注3)  60.5	(注3)  3.9	SUS304TP	保管場所： 空冷式非常用発電装置 E.L. 約 +32m  取付箇所： 2本 空冷式非常用発電装置自動給油用 燃料油貯油そう側フレキシブルホース用 入口配管接続口 空冷式非常用発電装置付近 屋外 E.L. 約 +32m ~ 空冷式非常用発電装置自動給油用 燃料油貯油そう側フレキシブルホース 入口接続口 空冷式非常用発電装置付近 屋外 E.L. 約 +32m

16

17

変更前	変更後						
	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	取付箇所
燃料設備	(注1)  空冷式非常用 発電装置 自動給油用 0.6mホース (燃料油貯油そう側)	0 (注2)	40 (注2)	50A (注4)	— (注5)	SUS304	保管場所： 空冷式非常用発電装置 E.L. 約 +32m  取付箇所： 2本 空冷式非常用発電装置自動給油用 燃料油貯油そう側フレキシブルホース 入口接続口 空冷式非常用発電装置付近 屋外 E.L. 約 +32m ~ 空冷式非常用発電装置自動給油用 燃料油貯油そう側フレキシブルホース 出口接続口 空冷式非常用発電装置付近 屋外 E.L. 約 +32m

18

変更前	変更後						
	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	取付箇所
-	(注1)  空冷式非常用 発電装置 自動給油用 0.6mホース用 出口配管 (燃料油貯油そう側)	(注2)  0	(注2)  40	(注3)  60.5	(注3)  3.9	SUS304TP	保管場所： 空冷式非常用発電装置 E.L. 約 +32m  取付箇所： 2本 空冷式非常用発電装置自動給油用 燃料油貯油そう側フレキシブルホース 出口接続口 空冷式非常用発電装置付近 屋外 E.L. 約 +32m ~ 空冷式非常用発電装置自動給油用 燃料油貯油そう側フレキシブルホース用 出口配管接続口 空冷式非常用発電装置付近 屋外 E.L. 約 +32m

61

変更前	変更後						
	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	取付箇所
燃料設備	(注1)  空冷式非常用 発電装置 自動給油用 6mホース用 入口配管 (空冷式非常用 発電装置側)	(注2)  0.38	(注2)  40	(注3)  34.0	(注3)  3.4	SUS304TP	保管場所： 空冷式非常用発電装置 E.L. 約 +32m  取付箇所： 2本 空冷式非常用発電装置自動給油用 空冷式非常用発電装置側 フレキシブルホース用入口配管接続口 空冷式非常用発電装置付近 屋外 E.L. 約 +32m ~ 空冷式非常用発電装置自動給油用 空冷式非常用発電装置側 フレキシブルホース入口接続口 空冷式非常用発電装置付近 屋外 E.L. 約 +32m

(令和2年11月24、25日) 別添1 (11/13)

20

変更前	変更後						
	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	取付箇所
	(注1)  空冷式非常用 発電装置 自動給油用 6mホース (空冷式非常用 発電装置側)	(注2)  0.38	(注2)  40	(注4)  25A	(注5)  -	SUS304	保管場所： 空冷式非常用発電装置 E.L. 約 +32m  取付箇所： 2本 空冷式非常用発電装置自動給油用 空冷式非常用発電装置側 フレキシブルホース入口接続口 空冷式非常用発電装置付近 屋外 E.L. 約 +32m ~ 空冷式非常用発電装置自動給油用 空冷式非常用発電装置側 フレキシブルホース出口接続口 空冷式非常用発電装置付近 屋外 E.L. 約 +32m



変更前	変更後					
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	取付箇所
(注1)  燃料設備  空冷式非常用 発電装置 自動給油用 6mホース用 出口配管 (空冷式非常用 発電装置側)	(注2) 0.38	(注2) 40	(注3) 34.0	(注3) 3.4	SUS304TP	保管場所： 空冷式非常用発電装置 E.L.約 +32m  取付箇所： 2本 空冷式非常用発電装置自動給油用 空冷式非常用発電装置側 フレキシブルホース出口接続口 空冷式非常用発電装置付近 屋外 E.L.約 +32m ~ 空冷式非常用発電装置自動給油用 空冷式非常用発電装置側 フレキシブルホース用出口配管接続口 空冷式非常用発電装置付近 屋外 E.L.約 +32m

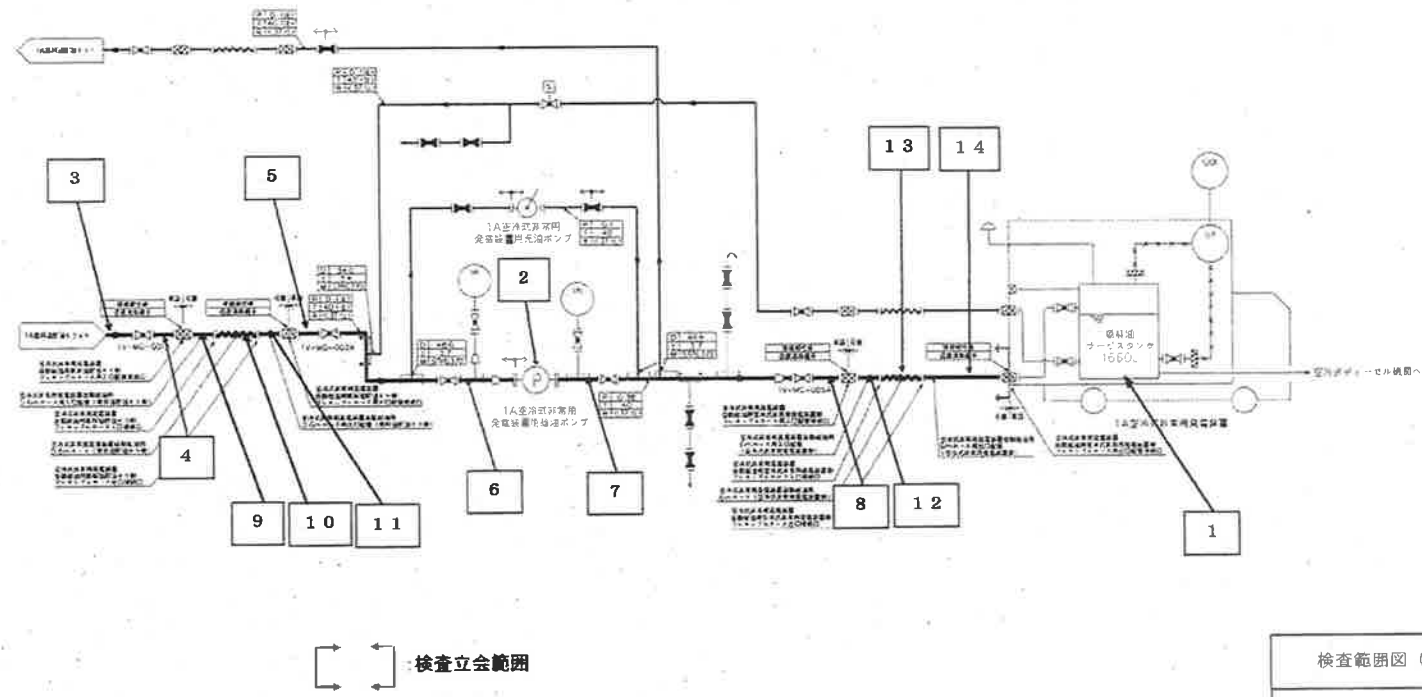
(注1) 空冷式非常用発電装置の附属機器である。

(注2) 重大事故等時における使用時の値

(注3) 公称値

(注4) メーカーにて規定する呼び径を示す。

(注5) メーカー仕様によるものとし、完成品として一般産業品の規格及び基準に適合するものであって、使用材料の特性を踏まえた上で、重大事故等時における使用圧力及び使用温度が負荷された状態において強度が確保できるものを使用する。



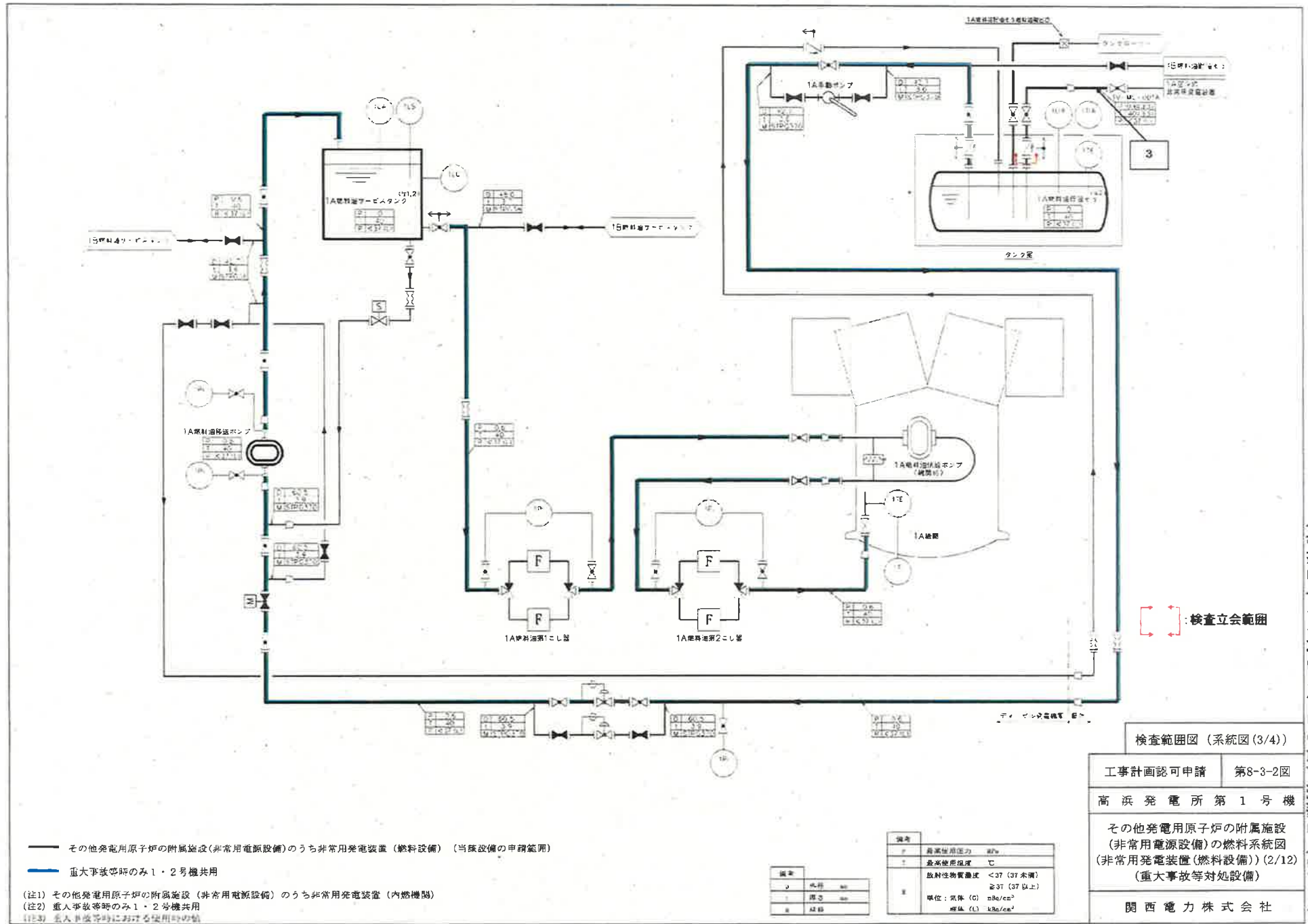
検査立会範囲

— その他発電用原子炉の附属施設(非常用電源設備)のうち非常用発電装置(燃料設備) (当該設備の申請範囲)  
 (注) 重大事故等時における使用時の値

備考	項目	値
R	最高使用圧力	MPa
	最高使用温度	℃
	放射線物質濃度	< 97 (97未満) > 97 (97以上)
	相化: 気体 (G) 236/cm <sup>3</sup> 液体 (L) 1.83/cm <sup>3</sup>	

検査範囲図 (系統図 (1/4))	
工事計画認可申請	第8-3-8図
高浜発電所第1号機	
その他発電用原子炉の附属施設 (非常用電源設備)の燃料系統図 (非常用発電装置(燃料設備))(8/12) (重大事故等対処設備)	
関西電力株式会社	

23



検査立会範囲

検査範囲図 (系統図(3/4))

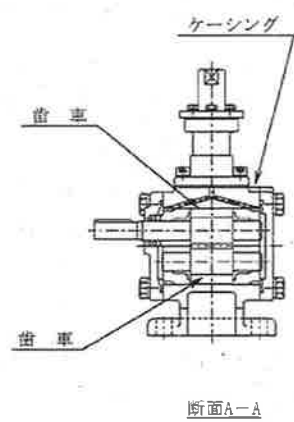
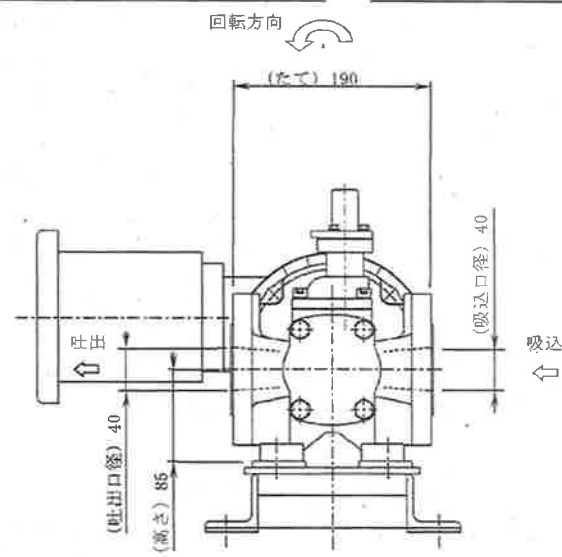
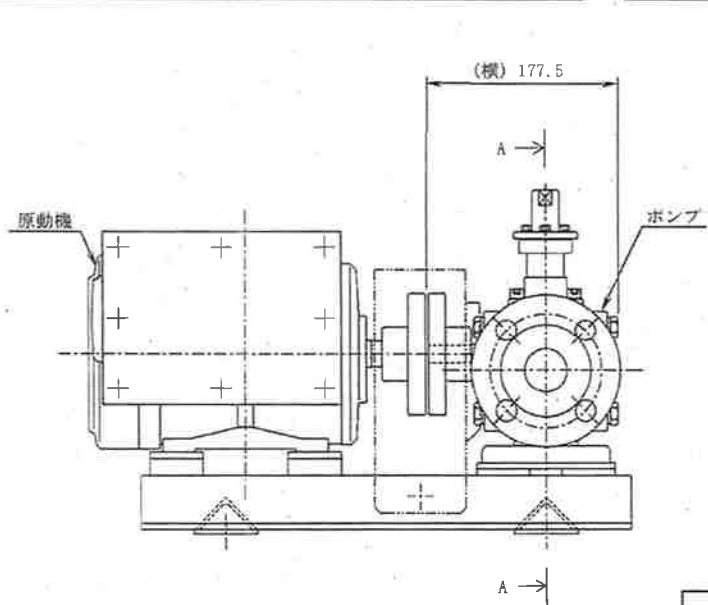
工事計画認可申請 第8-3-2図  
高浜発電所第1号機

その他発電用原子炉の附属施設  
(非常用電源設備)の燃料系統図  
(非常用発電装置(燃料設備))(2/12)  
(重大事故等対処設備)

関西電力株式会社

— その他発電用原子炉の附属施設(非常用電源設備)のうち非常用発電装置(燃料設備) (当該設備の申請範囲)  
 — 重大事故等時のみ1・2号機共用  
 (注1) その他発電用原子炉の附属施設(非常用電源設備)のうち非常用発電装置(内燃機関)  
 (注2) 重大事故等時のみ1・2号機共用  
 (注3) 重大事故等時における使用時の値

項目	内容
1	最高使用圧力 MPa
2	最高使用温度 °C
3	放射線物質濃度 <37 (37未満) ≥37 (37以上)
4	単位: 気体 (C) Bq/cm³ 液体 (L) kBq/cm³



主要目表

種 類		歯車式	
容 量	m <sup>3</sup> /h/個	1.8 以上 (1.8)	
吐 出 圧 力	MPa	0.3 以上 (0.3)	
最 高 使 用 圧 力	MPa	0.38	
最 高 使 用 温 度	℃	40	
材 料	ケーシング	SC480	
個 数	枚	2 (機関1台につき1)	
系 統 名 ( ラ イ ン 名 )		A空冷式非常用発電装置用 給油ポンプ	B空冷式非常用発電装置用 給油ポンプ
設 置 床		空冷式非常用発電装置 燃料油ライン	空冷式非常用発電装置 燃料油ライン
取 付 箇 所		屋外 E.L.+31.0m	屋外 E.L.+31.0m
溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号		-	
溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ		-	
種 類		三相かご形誘導電動機	
出 力	kW/個	1.5	
個 数		2 (空冷式非常用発電装置用給油ポンプ1台につき1)	
取 付 箇 所		ポンプと同じ	

(単位: mm)

検査範囲図 (構造図)	
工事計画認可申請	第8-4-12図
高浜発電所第1号機	
その他発電用原子炉の附属施設 (非常用電源設備)の構造図 (非常用発電装置) 空冷式非常用発電装置用給油ポンプ	
関西電力株式会社	

### 検査結果一覧表

成績書管理番号：1-27-4

検査年月日	検査結果	原子力施設検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
令和2年 12月18日	良	上田 洋	発電用原子炉主任技術者 辰工 彰 ボイラータービン主任技術者 清水 輝樹	なし

## 関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：1-27-4

検査年月日：令和2年 12月 18日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

## 検査前確認事項

## 使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	良・一	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	良・一	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	良・一	

## 関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-27-4

検査年月日：令和2年12月18日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

## 検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	◎良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	◎良・—	
系統構成が完了していること。	立会/ ◎記録確認	◎良・—	

## 関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-27-4

検査年月日：令和2年12月18日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

## 検査結果

検査対象			
その他発電用原子炉の附属施設 非常用電源設備 非常用発電装置 燃料設備 ポンプ 主配管 別添参照			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
系統性能検査 運転性能検査 燃料給油検査（通油検査）	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	<span style="font-size: 2em;">良</span>	記録確認
<b>備考</b> ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：T1-3-0501（その2）			



(4) 燃料設備に係る次の事項

イ ポンプの名称、種類、容量、揚程又は吐出圧力、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数及び取付箇所並びに原動機の種類、出力、個数及び取付箇所

・常設

(1/2)

			変更前	変更後
名 称				(注1) 燃料油移送ポンプ (重大事故等時のみ1・2号機共用)
種 類	—			歯車式
容 量	m <sup>3</sup> /h/個			3 以上 (注2)
吐 出 圧 力	MPa			0.5 以上 (0.5 (注2))
最 高 使 用 圧 力	MPa			0.6
最 高 使 用 温 度	℃			40
主 要 寸 法	吸 込 口 径	mm		40 (注2)
	吐 出 口 径	mm		40 (注2)
	た て	mm		190 (注2)
	横	mm		188 (注2)
	高 さ	mm		85 (注2)
材 料	ケ ー シ ン グ	—		FC25
個 数	—			2 (機関1台につき1)

ニ 主配管の名称、最高使用圧力、最高使用温度、外径、厚さ及び材料

・常設

変更前					変更後						
名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料
	圧力	温度					圧力	温度			
	(MPa)	(℃)	(mm)	(mm)			(MPa)	(℃)	(mm)	(mm)	
						(注4) 燃料油移送 ポンプ ～ 燃料油 サービスタンク  (重大事故等時 のみ1・2号機 共用)	0.6	40	(注2) 42.7	(注2) 3.6	STPG38
								(注2) 48.6	(注2) 3.7	STPG38	

変更前					変更後							
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	
						<small>(注4)</small> 燃料油 サービスタンク ~ 燃料油第1こし器  (重大事故等時 のみ1・2号機 共用)	0.6					
								40	48.6	3.7	STPG38	

31

変更前					変更後						
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
						(注4) 燃料油第1こし器 ～ ディーゼル機関 (重大事故等時 のみ1・2号機 共用)	0.6	40	(注2) 42.7	(注2) 3.6	STPG38
									(注2) 48.6	(注2) 3.7	STPG38

32

変更前					変更後						
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
						(注1) ディーゼル機関 ～ 燃料油第2こし器  (重大事故等時 のみ1・2号機 共用)	0.6	40	(注2) 42.7	(注2) 3.6	STPG38
									(注2) 48.6	(注2) 3.7	STPG38

33

令和2年12月18日

別添 (5/6)

変更前					変更後						
名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料
	圧力	温度					圧力	温度			
	(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)			(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)	
						(注4) 燃料油第2こし器 ～ ディーゼル機関  (重大事故等時 のみ1・2号機 共用)	0.6	40	(注2) 42.7	(注2) 3.6	STPG38
									(注2) 48.6	(注2) 3.7	STPG38

(注2) 公称値

(注4) 本設備は既存の設備である。

34

別添 (6/6)  
昭和24年12月18日

## 検査結果一覧表

成績書管理番号：1-27-4

検査年月日	検査結果	原子力施設検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
令和2年 12月21日	良	山形英男	奈良原子力主任技術者 辰上 章 本行-1-7-7V主任技術者 清水 輝樹	なし

## 関西電力株式会社高浜発電所第 1 号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：1-27-4

検査年月日：令和 2 年 12 月 21 日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

## 検査前確認事項

## 使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・—	



## 関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-27-4

検査年月日：令和2年12月21日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

## 検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	◎良 -	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	◎良 -	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	◎良 -	
系統構成が完了していること。	立会/ ◎記録確認	◎良 -	

# 関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-27-4

検査年月日：令和2年 12月 21日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

## 検査結果

検査対象			
その他発電用原子炉の付属施設 非常用電源設備 附 非常用発電装置 燃料設備 容器 主配管			
別添1参照			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
系統性能検査 ・容量確認検査 ・燃料給油検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	<div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">良</div>	目視  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px; display: inline-block;">記録確認</div>
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：T1-3-0557			

# 設 備 概 要

その他発電用原子炉の附属施設

1 非常用電源設備

2 非常用発電装置に係る次の事項

(4) 燃料設備に係る次の事項

- 容器の名称、種類、容量、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数及び取付箇所

・可搬型

(1/2)

		変更前	変更後
名 称		タンクローリー (1・2号機共用)	変更なし
種 類	—	だ円型横置	
	φ	5,248.4 以上 (注3)	5,523.6 以上 (注4)
容 量 (注2)	φ/個	3,440 (注5)	
	最高使用圧力 (注2)	kPa	20
最高使用温度 (注2)	°C	40	
主要寸法	胴 長 径	mm	1,800 (注5)
	胴 短 径	mm	930 (注5)
	胴 板 厚 さ	mm	3.2 (3.2 (注5))
	鏡 板 厚 さ	mm	3.2 (3.2 (注5))
	鏡 板 の 形 状 に 係 る 寸 法	mm	1,800 (注5,6)
		mm	50 (注5,7)
	排 出 口 管 台 外 径	mm	140.5 (注5)
	排 出 口 管 台 厚 さ	mm	3.2 (4.5 (注5))
	マンホール口径	mm	400 (注5)
	マンホール管台厚さ	mm	3.2 (3.2 (注5))
	マンホールふた厚さ	mm	2.8 (3.2 (注5))
	全 長	mm	3,330 (注5)
	車 両 全 長	mm	5,940 (注5)
	車 両 全 幅	mm	2,200 (注5)
車 両 高 さ	mm	2,410 (注5)	
材 料	胴 板	—	SS400
	鏡 板	—	SS400
	マンホールふた	—	SAPH440

(2/2)

		変更前	変更後
個	数	2	
取	付	保管場所： 緊急時対策所 (緊急時対策所建屋内)付近 E.L.約 +23m 取水路側面エリア E.L.約 +20m  上記2箇所分散配置	変更なし
筒	所	取付箇所： 【1号機】 【2号機】 2台 燃料油貯油そう付近 <sup>(注3)</sup> 屋外 E.L.約 +32m	

(注1) その他発電用原子炉の附属施設(補機駆動用燃料設備)のうち燃料設備と兼用

(注2) 重大事故等時における使用時の値

(注3) 重大事故等時に必要な容量は、容量3,440ℓのタンクローリー(1・2号機共用)及び容量3,660ℓのタンクローリー(1・2・3・4号機共用)のいずれか2台を組み合わせて、5,248.4ℓ以上とする。

(注4) 重大事故等時に必要な容量は、容量3,440ℓのタンクローリー(1・2号機共用)及び容量3,660ℓのタンクローリー(1・2・3・4号機共用)のいずれか2台を組み合わせて、5,523.6ℓ以上とする。

(注5) 公称値

(注6) 鏡板の内面における長径を示す。

(注7) 鏡板の内面における短径の2分の1を示す。

(注8) 燃料油の吸入箇所を示す。

・可搬型

(1/2)

		変更前	変更後
種	名 称	タンクローリー (1・2・3・4号機共用)	
容	類	だ円型横置	
	量 (注2)	φ	5,248.4 以上 (注3,4) 5,523.6 以上 (注4,7) 5,526.28 以上 (注5,6) 5,526.28 以上 (注5,6)
		φ/個	3,660 (注9)
最 高 使 用 圧 力 (注2)	kPa	20	
最 高 使 用 温 度 (注2)	℃	40	
胴 長 径	mm	1,700 (注8)	
胴 短 径	mm	880 (注8)	
胴 板 厚 さ	mm	2.8 (3.2 (注8))	
鏡 板 厚 さ	mm	2.8 (3.2 (注8))	
鏡 板 の 形 状 に 係 る 寸 法	mm	1,700 (注8,9) 90 (注8,10)	
排 出 口 管 台 外 径	mm	137.9 (注8)	
排 出 口 管 台 厚 さ	mm	2.8 (3.2 (注8))	
マ ン ホ ー ル 口 径	mm	400 (注8)	
マ ン ホ ー ル 管 台 厚 さ	mm	2.8 (3.2 (注8))	
マ ン ホ ー ル ふ た 厚 さ	mm	2.8 (3.2 (注8))	
全 長	mm	3,735 (注8)	
車 両 全 長	mm	6,755 (注8)	
車 両 全 幅	mm	2,200 (注8)	
車 両 高 さ	mm	2,400 (注8)	
材 料	胴 板	SAPH400	
	鏡 板	SAPH400	
	マ ン ホ ー ル ふ た	SAPH400	
個	数	(予備1)	

変更なし

(2/2)

	変更前	変更後
取付箇所	保管場所： ビクターズハウス付近 E.L.約 +30m  取付箇所： 【1号機】【2号機】1台 燃料油貯油そう付近 <sup>(注11)</sup> 屋外 E.L.約 +32m 【3号機】【4号機】1台 燃料油貯油そう付近 <sup>(注11)</sup> 屋外 E.L.約 +3.5m	変更なし

(注1) その他発電用原子炉の附属施設(補機駆動用燃料設備)のうち燃料設備と兼用

(注2) 重大事故等時における使用時の値

(注3) 重大事故等時に必要な容量は、容量3,440ℓのタンクローリー(1・2号機共用)及び容量3,660ℓのタンクローリー(1・2・3・4号機共用)のいずれか2台を組み合わせ、5,248.4ℓ以上とする。

(注4) 1号機及び2号機で使用する場合の値

(注5) 重大事故等時に必要な容量は、容量3,440ℓのタンクローリー(3・4号機共用)及び容量3,660ℓのタンクローリー(1・2・3・4号機共用)のいずれか2台を組み合わせ、5,526.28ℓ以上とする。

(注6) 3号機及び4号機で使用する場合の値

(注7) 重大事故等時に必要な容量は、容量3,440ℓのタンクローリー(1・2号機共用)及び容量3,660ℓのタンクローリー(1・2・3・4号機共用)のいずれか2台を組み合わせ、5,523.6ℓ以上とする。

(注8) 公称値

(注9) 鏡板の内面における長径を示す。

(注10) 鏡板の内面における短径の2分の1を示す。

(注11) 燃料油の吸入箇所を示す。

名 称	最高使用		外 径	厚 さ	材 料	個 数	取付箇所
	圧 力	温 度					
	(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)			
燃料設備	タンクローリー 給油ライン 接続用 20mホース (燃料油 貯油そう用) (1・2号機 共用)	0.78	40	2B	(ジャケット部) 耐油性、 耐候性ゴム (内張り部) 耐油性ゴム、 合成繊維、 ワイヤー	2 <u>(予備1)</u>	保管場所： 取水路側面エリア E.L.約 +20m 緊急時対策所 (緊急時対策所建屋内) 付近 E.L.約 +23m  取付箇所： 【1号機】 【2号機】2本 <sup>(注7)</sup> 燃料油貯油そう 屋外 E.L.+23.9m ～ タンクローリー

43

その他発電用原子炉の附属施設、

1 非常用電源設備

2 非常用発電装置に係る次の事項

(4) 燃料設備に係る次の事項

ニ 主配管の名称、最高使用圧力、最高使用温度、外径、厚さ及び材料

・可搬型

		変更前					変更後								
名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	個 数	取付箇所	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	個 数	取付箇所
燃料設備	(注1,3) タンクローリー						保管場所： タンクローリー							(ジャケット部)	
	給油ライン接続用 3mホース (燃料油貯油そう用) (1・2号機共用)	(注4) 0.4	(注4) 40	(注5) 2B	(注6) 補強層入り 多層ゴム	(注7) 2	取付箇所： 【1号機】 【2号機】2本(注9) タンクローリー	燃料設備 変更なし	(注4) 0.39					変更なし	耐油性、 耐候性ゴム (内張り部) 耐油性ゴム、 合成繊維、 ワイヤー

(注1) 実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則改正に係る適正化

(注2) その他発電用原子炉の附属施設（補機駆動用燃料設備）のうち燃料設備と兼用

(注3) タンクローリーの附属機器である。

(注4) 重大事故等時における使用時の値

(注5) メーカーにて規定する呼び径を示す。

(注6) メーカー仕様によるものとし、完成品として一般産業品の規格及び基準に適合するものであって、使用材料の特性を踏まえた上で、重大事故等時における使用圧力及び使用温度が負荷された状態において強度が確保できるものを使用する。

(注7) タンクローリー1台当りの数量

(注8) 1号機及び2号機で給油可能

ㄨ



名 称	最高使用	最高使用	外 径	厚 さ	材 料	個 数	取付箇所
	圧 力	温 度					
	(MPa)	(℃)	(mm)	(mm)			
(注6,8) タンクローリー 給油ライン 接続用 20mホース (1・2号機 共用)	(注2) 1.0	(注2) 40	(注4) 1B	(注5) —	補強層入り 多層ゴム	(注9) 1	保管場所： タンクローリー 取付箇所： 【1号機】【2号機】1本 (注7) タンクローリー
(注6,8) タンクローリー 給油ライン 接続用 30mホース (1・2・3・4 号機共用)	(注2) 1.0	(注2) 40	(注4) 1B	(注5) —	補強層入り 多層ゴム	(注9) 1	保管場所： タンクローリー 取付箇所： 【1号機】【2号機】 【3号機】【4号機】1本 (注10) タンクローリー

- (注1) 空冷式非常用発電装置の附属機器である。  
(注2) 重大事故等時における使用時の値  
(注3) 公称値  
(注4) メーカーにて規定する呼び径を示す。

燃料設備

45

(注5) メーカー仕様によるものとし、完成品として一般産業品の規格及び基準に適合するものであって、使用材料の特性を踏まえた上で、重大事故等時における使用圧力及び使用温度が負荷された状態において強度が確保できるものを使用する。

(注6) その他発電用原子炉の附属施設（補機駆動用燃料設備）のうち燃料設備と兼用

(注7) 1号機及び2号機で給油可能

(注8) タンクローリーの附属機器である。

(注9) タンクローリー1台当たりの数量

(注10) 1号機、2号機、3号機及び4号機で給油可能

その他発電用原子炉の附属施設

1 非常用電源設備

2 非常用発電装置に係る次の事項

(4) 燃料設備に係る次の事項

ニ 主配管の名称、最高使用圧力、最高使用温度、外径、厚さ及び材料

・常設

変更前						変更後					
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
						(注3) 燃料油貯油そう ～ 燃料油貯油そう 燃料油取出口  (1・2号機共用)	(注1) 0.6	(注1) 40	(注2) 60.5	(注2) 3.9	STPG370

燃料設備

47

## 検査結果一覧表

成績書管理番号：1-27-4

検査年月日	検査結果	原子力施設検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
令和 乙 年 12 月 25 日	良	増本 豊	<p style="text-align: right;">栄虎用原子炉 主任技術者</p> <p style="text-align: center;">尾 上 彰</p> <p style="text-align: right;">ボクラー-7-セシ 主任技術者</p> <p style="text-align: center;">清水 輝樹</p>	なし

## 関西電力株式会社高浜発電所第 1 号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：1-27-4

検査年月日：令和 2 年 12 月 25 日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

## 検査前確認事項

## 使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・一	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・一	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・一	

関西電力株式会社高浜発電所第 1 号機 使用前検査記録  
(三号検査)

成績書管理番号：1-27-4

検査年月日：令和 2 年 12 月 25 日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

## 検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	良・一	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	良・一	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	良・一	
系統構成が完了していること。	立会/ 記録確認	良・一	

## 関西電力株式会社高浜発電所第 1 号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-27-4

検査年月日：令和 2 年 12 月 25 日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

## 検査結果

検査対象			
その他発電用原子炉の附属施設 補機駆動用燃料設備（非常用電源設備及び補助ボイラーに係るものを除く。） 燃料貯蔵設備 容器 別添 1 参照			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
系統機能検査 ・容量確認検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	<div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">良</div>	目視 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px; display: inline-block;">記録確認</div>
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：T1-3-0556（その 2）、T1-3-0550（その 3） <del>・目視で確認した範囲：添付資料 3 - 3 参照</del>			

原規規発第1606104号 平成28年6月10日認可

その他発電用原子炉の付属施設

6 補機駆動用燃料設備 (非常用電源設備及び補助ボイラーに係るものを除く。)

1 燃料貯蔵設備に係る次の事項

(1) 容器の名称、種類、容量、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数及び  
取付箇所

・可搬型

			変 更 前	変 更 後
名 称				送水車燃料タンク (注1)
種 類	—			鋼製容器
容 量	ℓ/個			113 以上 (125 (注2))
最 高 使 用 圧 力 (注3)	—			大気圧
最 高 使 用 温 度 (注3)	℃			40
主 要 寸 法	た て	mm		830 (注2)
	横	mm		930 (注2)
	高 さ	mm		235 (注2)
材 料	—			AISI304 (SUS304相当)
個 数	—			1 (注4)
取 付 箇 所	—			送水車

(注1) 送水車の附属機器である。

(注2) 公称値

(注3) 重大事故等時における使用時の値

(注4) 送水車1台当たりの個数を示す。



## 設 備 概 要

その他発電用原子炉の附属施設

6 補機駆動用燃料設備（非常用電源設備及び補助ボイラーに係るものを除く。）

1 燃料設備に係る次の事項

(2) 容器の名称、種類、容量、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数及び取付箇所

・可搬型

名 称			変 更 前	変 更 後
			送水車燃料タンク (注1, 2, 3)	
種 類	-		鋼製容器	変更なし
容 量 (注4)	ℓ/個		113 以上 (125 (注5))	
最 高 使 用 圧 力 (注4)	-		大気圧	
最 高 使 用 温 度 (注4)	℃		40	
主 要 寸 法	た て	mm	830 (注5)	
	横	mm	930 (注5)	
	高 さ	mm	235 (注5)	
材 料	-		AISI304 (SUS304相当)	
個 数	-		1 (注6)	
取 付 箇 所	-		送水車	

(注1) 送水車の附属機器である。

(注2) 予備の明確化を行う。既工事計画書（平成28年6月10日付け原規規発第1606104号にて認可）に記載の送水車燃料タンク3台（2台（予備1台））のうち、1台を予備とする。

(注3) 本設備は記載の適正化のみを行うものであり、手続き対象外である。

(注4) 重大事故等時における使用時の値

(注5) 公称値

(注6) 送水車1台当たりの個数を示す。

・可搬型

			変更前	変更後
名称			送水車燃料タンク (1・2号機共用) <small>(注1,2)</small>	送水車燃料タンク (1・2・3・4号機共用) <small>(注1)</small>
種類	—		鋼製容器	変更なし
容量 <small>(注3)</small>	ℓ/個		113 以上 (125 <small>(注4)</small> )	
最高使用圧力 <small>(注3)</small>	—		大気圧	
最高使用温度 <small>(注3)</small>	℃		40	
主要寸法	た	mm	830 <small>(注4)</small>	
	横	mm	930 <small>(注4)</small>	
	高さ	mm	235 <small>(注4)</small>	
材料	—		AISI304 (SUS304相当)	
個数	—		1 <small>(注5)</small>	
取付箇所	—		送水車	

(注1) 送水車の附属機器である。

(注2) 予備の明確化を行う。既工事計画書(平成30年8月6日付け原規規発第1808063号にて認可)に記載の送水車燃料タンク3台(2台(予備1台))のうち、1台を予備とする。

(注3) 重大事故等時における使用時の値

(注4) 公称値

(注5) 送水車1台当たりの個数を示す。

6 補機駆動用燃料設備 (非常用電源設備及び補助ボイラーに係るものを除く。)

1 燃料貯蔵設備に係る次の事項

(1) 容器の名称、種類、容量、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数及び取付箇所

・可搬型

			変更前	変更後
名 称				(注1) 大容量ポンプ燃料タンク (1・2号機共用)
種 類	—			角形
容 量	ℓ/個			446 以上 (495 (注2))
最 高 使 用 圧 力 (注3)	—			大気圧
最 高 使 用 温 度 (注3)	℃			40
主 要 寸 法	た て	mm		1,480 (注3)
	横	mm		540 (注3)
	高 さ	mm		640 (注4)
材 料	—			AISI304 (SUS304相当)
個 数	—			2 (注4)
取 付 箇 所	—			大容量ポンプ

(注1) 大容量ポンプの附属機器である。

(注2) 公称値

(注3) 重大事故等時における使用時の値

(注4) 大容量ポンプ1台当たりの個数を示す。

・可搬型

			変更前	変更後
名 称				(注1) 大容量ポンプ（放水砲用）燃料タンク （1・2号機共用）
種 類		—		角形
容 量		ℓ/個		446 以上 (495 (注2))
最 高 使 用 圧 力 (注3)		—		大気圧
最 高 使 用 温 度 (注3)		℃		40
主 要 寸 法	た て	mm		1,480 (注2)
	横	mm		540 (注2)
	高 さ	mm		640 (注2)
材 料		—		AISI304 (SUS304相当)
個 数		—		2 (注4)
取 付 箇 所		—		大容量ポンプ（放水砲用）

(注1) 大容量ポンプ（放水砲用）の附属機器である。

(注2) 公称値

(注3) 重大事故等時における使用時の値

(注4) 大容量ポンプ（放水砲用）1台当たりの個数を示す。

## 検査結果一覧表

成績書管理番号：1-27-4

検査年月日	検査結果	原子力施設検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
令和 3 年 1 月 13 日	良	増本 豊	登実用原子力印 主任技術者 辰上 章 ボイラー・タービン主任技術者 安東 一	無し

5

## 関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：1-27-4

検査年月日：令和3年 / 月 13日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

## 検査前確認事項

## 使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・—	

関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録  
(三号検査)

成績書管理番号: 1-27-4

検査年月日: 令和3年 / 月 / 日

検査場所: 関西電力株式会社高浜発電所

## 検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	良・一	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	良・一	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	良・一	
系統構成が完了していること。	立会/ 記録確認	良・一	

## 関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-27-4

検査年月日：令和3年 7 月 13 日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

## 検査結果

検査対象			
その他発電用原子炉の附属施設 非常用電源設備 非常用発電装置 内燃機関  <div style="text-align: center;">別添1参照</div>			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
系統機能検査 ・容量確認検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px 5px; display: inline-block;">記録確認</div>
<b>備考</b> ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：T1-3-0917（その2） <del>・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照</del>			



工事計画本文（原規規発第1606104号（平成28年6月10日認可））

その他発電用原子炉の附属施設

1 非常用電源設備

2 非常用発電装置に係る次の事項

(2) 内燃機関に係る次の事項

ホ 燃料デイトンク又はサービスタンクの名称、種類、容量、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数及び取付箇所

・可搬型

(電源車)

		変更前	変更後
名	称	—	燃料タンク <sup>(注1)</sup>
種	類	—	角形
容	量	ℓ/個	441 以上 (490 <sup>(注2)</sup> )
最	高 使 用 圧 力 <sup>(注3)</sup>	—	大気圧
最	高 使 用 温 度 <sup>(注3)</sup>	℃	40
主 要 寸 法	た	て	mm
	横		mm
	高	さ	mm
材	料	—	SPCC
個	数	—	1 <sup>(注4)</sup>
取	付 箇 所	—	電源車

(注1) 電源車の附属機器である。

(注2) 公称値

(注3) 重大事故等時における使用時の値

(注4) 電源車1台当たりの個数を示す。

・可搬型

(電源車 (可搬式代替低圧注水ポンプ用))

			変更前	変更後
名 称				燃料タンク (注1)
種 類	—			、角形
容 量	ℓ/個			441 以上 (490 (注2))
最 高 使 用 圧 力 (注3)	—			大気圧
最 高 使 用 温 度 (注3)	℃			40
主 要 寸 法	た て	mm	—	1,200 (注2)
	横	mm		880 (注2)
	高 さ	mm		500 (注2)
材 料	—			SPCC
個 数	—			1 (注4)
取 付 箇 所	—			電源車 (可搬式代替低圧注水ポンプ用)

(注1) 電源車 (可搬式代替低圧注水ポンプ用) の附属機器である。

(注2) 公称値

(注3) 重大事故等時における使用時の値

(注4) 電源車 (可搬式代替低圧注水ポンプ用) 1台当たりの個数を示す。

関西電力株式会社  
高浜発電所第1号機

発電用原子炉に燃料体を挿入することが  
できる状態になった時に係る  
使用前検査成績書

施設名 : その他発電用原子炉の附属施設

系統名 : 火災防護設備

火災区域構造物及び火災区画構造物

要領書番号 : 原規規収第1610071号1-28-1




令和元年7月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

- 1 発電所名 関西電力株式会社高浜発電所第1号機
- 2 検査の種類 発電用原子炉に燃料体を挿入することができる状態になった時に係る  
使用前検査
- 3 検査申請 使用前検査申請番号  
関原発第 299号 (平成28年10月7日)  
関原発第 434号 (平成30年3月20日)  
関原発第 46号 (平成30年4月20日)  
関原発第 202号 (平成30年7月4日)  
関原発第 259号 (平成30年8月20日)  
関原発第 415号 (平成30年12月5日)  
関原発第 504号 (平成31年2月1日)  
関原発第 512号 (平成31年2月6日)  
関原発第 582号 (平成31年3月18日)  
関原発第 3号 (平成31年4月4日)  
関原発第 68号 (令和元年5月16日)  
関原発第 115号 (令和元年6月24日)
- 4 検査期日 自 平成31年1月15日  
至 令和元年7月19日
- 5 検査場所 関西電力株式会社高浜発電所  
福井県大飯郡高浜町田ノ浦
- 6 検査範囲 高浜発電所第1号機  
発電用原子炉施設  
その他発電用原子炉の附属施設  
火災防護設備  
火災区域構造物及び火災区画構造物 一式
- 7 検査結果 検査実施者及び検査結果一覧表のとおり

## 検査実施者及び検査結果一覧表

検査項目	検査結果	原子力施設検査官	検査立会責任者
性能検査 材料検査 寸法検査 外観検査 組立て及び据付け状態を確認する検査	良	平成31年1月 <sup>15</sup> / <sub>16</sub> 日	平成31年1月 <sup>15</sup> / <sub>16</sub> 日
		奥本昭治   中田 聡 	発電用原子力主任技術者  国政武史 

8 特記事項




なし

9 添付資料

使用前検査記録

- 1 検査前確認事項
- 2 性能検査記録
  - (1) 材料検査
  - (2) 寸法検査
  - (3) 外観検査
  - (4) 組立て及び据付け状態を確認する検査
- 3 検査用計器一覧表

## 検査実施者及び検査結果一覧表

検査項目	検査結果	原子力施設検査官	検査立会責任者
性能検査 材料検査 寸法検査 外観検査 組立て及び据付け状態を確認する検査	良	令和元年7月18日	令和元年7月18日
		平井隆 	発電用原子炉主任技術者 国政武史 
		河田拓也 	

8 特記事項

なし

9 添付資料

使用前検査記録

- 1 検査前確認事項
- 2 性能検査記録
  - (1) 材料検査
  - (2) 寸法検査
  - (3) 外観検査
  - (4) 組立て及び据付け状態を確認する検査
- 3 検査用計器一覧表

## 高浜発電所第1号機 使用前検査記録 検査前確認事項

### 共通事項

#### 使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	平成31年 1月15日	良	使用前検査成績書の「3 検査申請」に申請番号（変更申請番号を含む。）を記載する。
		年 月 日		
		年 月 日		
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	平成31年 1月15日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		

## 高浜発電所第1号機 使用前検査記録 検査前確認事項

### 共通事項

#### 使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	令和元年 7月19日	良	使用前検査成績書の「3 検査申請」に申請番号（変更申請番号を含む。）を記載する。
		年 月 日		
		年 月 日		
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	令和元年 7月19日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	令和元年 7月19日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		



## 高浜発電所第1号機 使用前検査記録

### 検査前確認事項

性能検査

材料検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	平成31年 1月15日	良	
		令和元年 7月18日	良	
		年 月 日		
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	平成31年 1月15日	良	
		令和元年 7月18日	良	
		年 月 日		

## 高浜発電所第1号機 使用前検査記録

## 検査前確認事項

性能検査

寸法検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	平成31年 1月16日	良	
		令和元年 7月18日	良	
		年 月 日		
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	平成31年 1月16日	良	
		令和元年 7月18日	良	
		年 月 日		
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	平成31年 1月16日	良	
		令和元年 7月18日	良	
		年 月 日		

## 高浜発電所第1号機 使用前検査記録

## 検査前確認事項

性能検査

外観検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	平成31年 1月16日	良	
		令和元年 7月18日	良	
		年 月 日		
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	平成31年 1月16日	良	
		令和元年 7月18日	良	
		年 月 日		

## 高浜発電所第1号機 使用前検査記録

## 検査前確認事項

## 性能検査

組立て及び据付け状態を確認する検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	令和元年 7月18日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	令和元年 7月18日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		

高浜発電所第1号機				
性能検査記録 (材料検査)				
検査場所：関西電力株式会社高浜発電所				
検査範囲：その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備 火災区域構造物及び火災区画構造物：一式				
判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。				
検査対象	材料	検査年月日	検査結果	検査方法
燃料油貯油そうエリア <sup>※1</sup>	鉄筋コンクリート	平成31年 1月15日	良	記録確認
備 考				
・記録確認は、申請者の品質記録（※）による。				
※：適合性確認検査成績書の識別番号：T1-3-2003				
※1：別紙に示す対象範囲のうち、以下を除く範囲について確認 2BLの構造体コンクリートの圧縮強度				

高浜発電所第1号機				
性能検査記録 (材料検査)				
検査場所：関西電力株式会社高浜発電所				
検査範囲：その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備 火災区域構造物及び火災区画構造物：一式				
判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。				
検査対象	材料	検査年月日	検査結果	検査方法
燃料油貯油そうエリア	鉄筋コンクリート	令和元年 7月18日	良	記録確認
備 考				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・記録確認は、申請者の品質記録（※）による。</li> <li>※：適合性確認検査成績書の識別番号：T1-3-2003</li> </ul>				

高浜発電所第1号機						
性能検査記録 (寸法検査)						
検査場所：関西電力株式会社高浜発電所						
検査範囲：その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備 火災区域構造物及び火災区画構造物：一式						
判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。						
検査対象	主要寸法 (mm)	許容値 <sup>※1</sup> (mm)	測定値 (mm)	検査年月日	検査 結果	検査方法
※4 燃料油貯油そうエリア	150 以上 (450 <sup>※2</sup> )	440 以上	1,500 ? 1,515	平成31年 1月16日	良	目視 記録確認
備 考						
※1：許容値は工事計画による。						
※2：公称値のうち最小のもの						
<del>記録確認は、申請者の品質記録(※3)による。</del>						
<del>※3：適合性確認検査成績書の識別番号</del>						
※4：別紙に示す対象範囲について確認						

高浜発電所第1号機						
性能検査記録 (寸法検査)						
検査場所：関西電力株式会社高浜発電所						
検査範囲：その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備 火災区域構造物及び火災区画構造物：一式						
判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。						
検査対象	主要寸法 (mm)	許容値 <sup>※1</sup> (mm)	測定値 (mm)	検査年月日	検査 結果	検査方法
燃料油貯油そうエリア	150 以上 (450 <sup>※2</sup> )	440 以上	450	令和元年 7月18日	良	目視/ 記録確認
備 考						
※1：許容値は工事計画による。						
※2：公称値のうち最小のもの						
・記録確認は、申請者の品質記録（※3）による。						
※3：適合性確認検査成績書の識別番号：T1-3-2003						



高浜発電所第1号機			
性能検査記録 (外観検査)			
検査場所：関西電力株式会社高浜発電所			
検査範囲：その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備 火災区域構造物及び火災区画構造物：一式			
判定基準：有害な欠陥（表面に機能・性能に影響を及ぼすおそれのある傷、割れ、変形、腐食、浸食）がないこと。			
検査対象	検査年月日	検査結果	検査方法
燃料油貯油そうエリア <sup>※1</sup>	平成31年 1月16日	良	(目視) 記録確認
備考			
<del>記録確認は、申請者の品質記録(※)による。</del> <del>※：適合性確認検査成績書の識別番号。</del> ※1：別紙に示す対象範囲について確認			

高浜発電所第1号機			
性能検査記録 (外観検査)			
検査場所：関西電力株式会社高浜発電所			
検査範囲：その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備 火災区域構造物及び火災区画構造物：一式			
判定基準：有害な欠陥（表面に機能・性能に影響を及ぼすおそれのある傷、割れ、変形、腐食、浸食）がないこと。			
検査対象	検査年月日	検査結果	検査方法
燃料油貯油そうエリア	令和元年 7月18日	良	目視/ 記録確認
備考 ・記録確認は、申請者の品質記録（※）による。 ※：適合性確認検査成績書の識別番号：T1-3-2003			

高浜発電所第1号機

## 性能検査記録 (組立て及び据付け状態を確認する検査)

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査範囲：その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備  
火災区域構造物及び火災区画構造物：一式

判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。


検査対象	検査年月日	検査結果	検査方法
燃料油貯油そうエリア <sup>※1</sup>	令和元年 7月18日	良	目視/ 記録確認

備考

- 記録確認は、申請者の品質記録(※)による。

※：適合性確認検査成績書の識別番号：T1-3-2003

※1：燃料油貯油そう基礎について記録確認

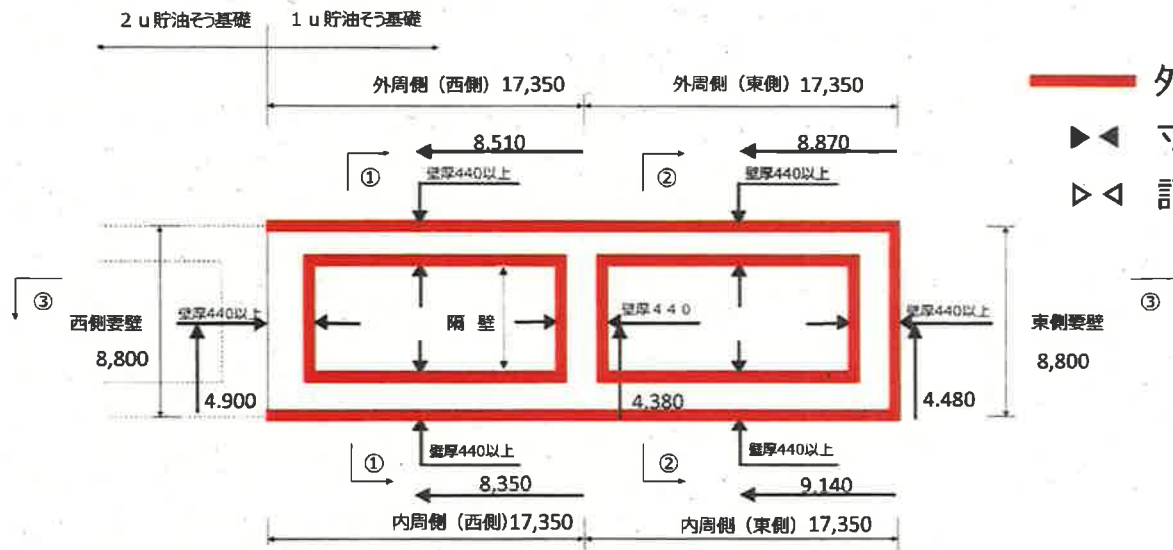
高浜発電所第1号機			
<b>性能検査記録</b> <b>(組立て及び据付け状態を確認する検査)</b>			
検査場所：関西電力株式会社高浜発電所			
検査範囲：その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備 火災区域構造物及び火災区画構造物：一式			
判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。			
検査対象	検査年月日	検査結果	検査方法
燃料油貯油そうエリア※1	令和元年 7月19日	良	
備考 ・記録確認は、申請者の品質記録(※)による。 ※：適合性確認検査成績書の識別番号 ※1：別紙1に示す対象範囲について確認			

高浜発電所第1号機 使用前検査記録  
検査用計器一覧表

検査年月日：平成31年1月16日

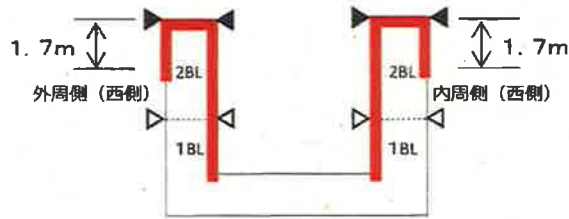
検査項目	検査用計器	管理番号	測定範囲	測定精度	校正年月日 有効期限	備考
寸法検査	コンパックス	525	0mm ~ 5,500mm	JIS1級 $\pm(0.2+0.1L)$ mm	2018年4月3日 2019年4月3日	L:測定長 (m)

# 別紙

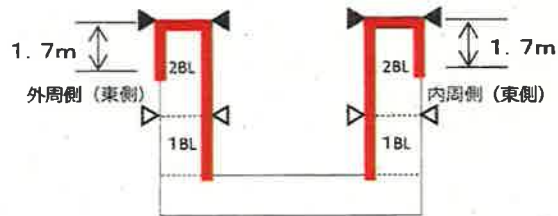


- ▬ 外観検査可能範囲
- ▶◀ 寸法確認実施
- ▷◁ 記録確認のみ実施

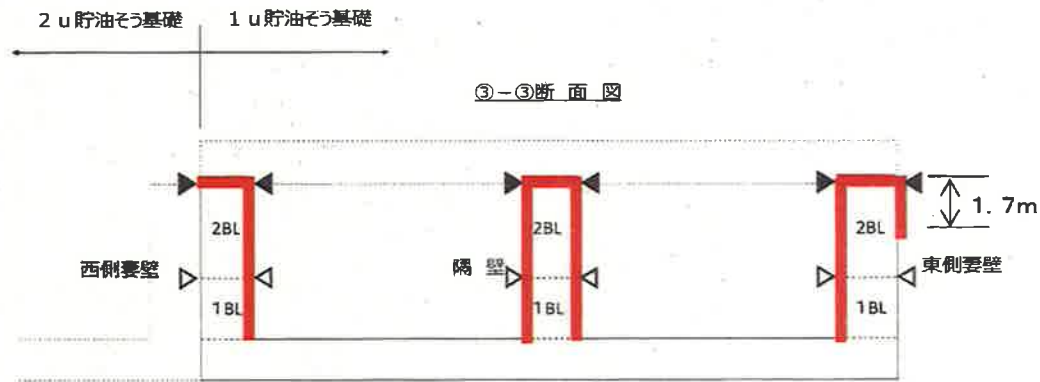
①-①断面図



②-②断面図



③-③断面図

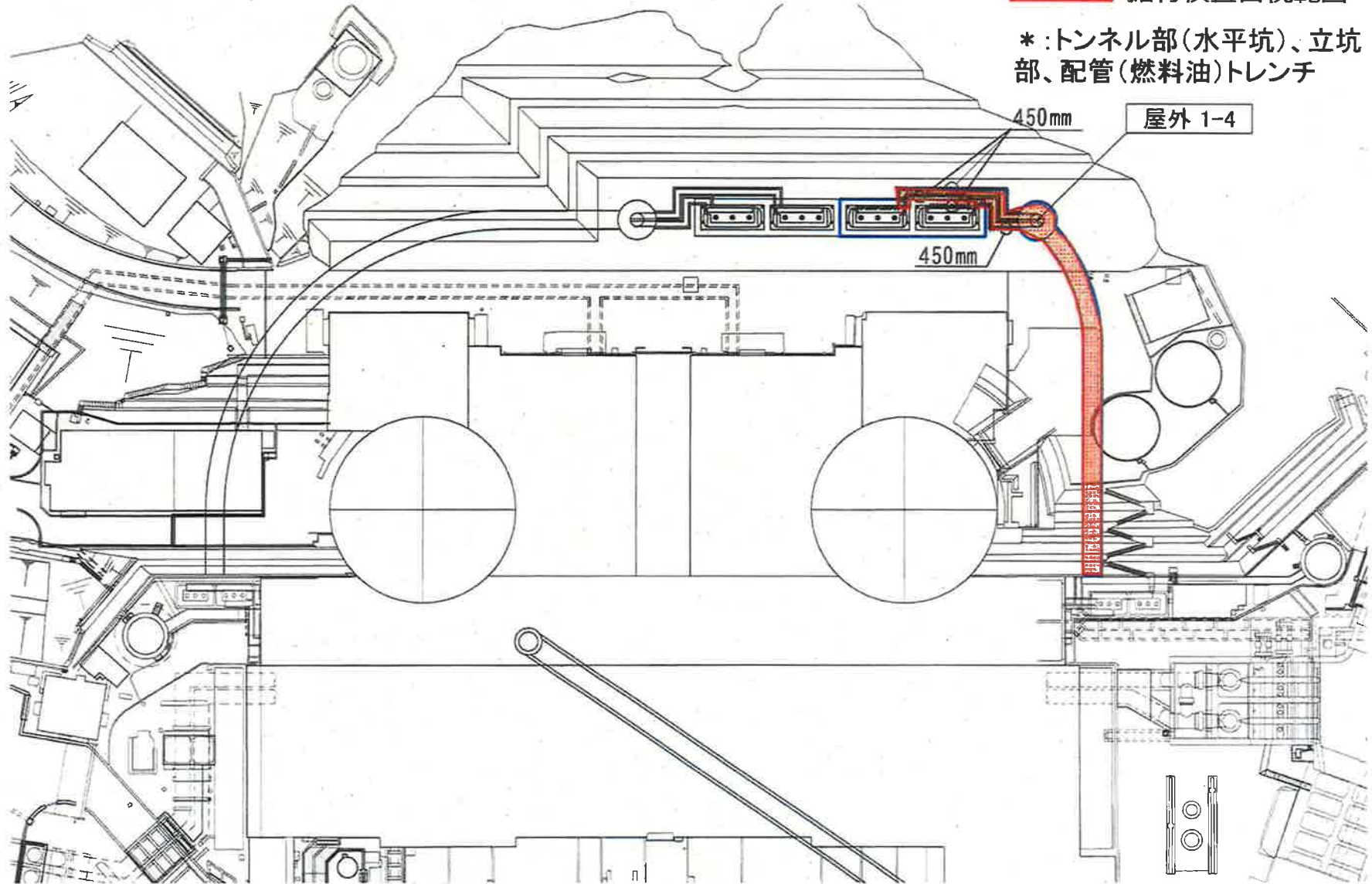


19

別紙1

据付検査目視範囲\*

\*:トンネル部(水平坑)、立坑部、配管(燃料油)トレンチ



20/E

関西電力株式会社  
高浜発電所第1号機

発電用原子炉に燃料体を挿入することが  
できる状態になった時に係る  
使用前検査成績書

施設名：その他発電用原子炉の附属施設

系統名：火災防護設備  
火災区域構造物及び火災区画構造物

要領書番号：原規規収第1610071号1-28-2

令和元年6月




原子力規制委員会



使用前検査成績書

- 1 発電所名 関西電力株式会社高浜発電所第1号機
- 2 検査の種類 発電用原子炉に燃料体を挿入することができる状態になった時に係る  
使用前検査
- 3 検査申請 使用前検査申請番号
- 関原発第299号(平成28年10月7日)  
関原発第434号(平成30年3月20日)  
関原発第46号(平成30年4月20日)  
関原発第202号(平成30年7月4日)  
関原発第259号(平成30年8月20日)  
関原発第415号(平成30年12月5日)  
関原発第504号(平成31年2月1日)  
関原発第512号(平成31年2月6日)  
関原発第582号(平成31年3月18日)  
関原発第3号(平成31年4月4日)  
関原発第68号(令和元年5月16日)
- 4 検査期日 自 令和元年6月5日  
至 令和元年6月6日
- 5 検査場所 関西電力株式会社高浜発電所  
福井県大飯郡高浜町田ノ浦
- 6 検査範囲 高浜発電所第1号機  
発電用原子炉施設  
その他発電用原子炉の附属施設  
火災防護設備  
火災区域構造物及び火災区画構造物  
緊急時対策所建屋  
緊急時対策所(1・2・3・4号機共用) 一式
- 7 検査結果 検査実施者及び検査結果一覧表のとおり

## 検査実施者及び検査結果一覧表

検査項目	検査結果	原子力施設検査官	検査立会責任者
性能検査 材料検査 寸法検査 外観検査 組立て及び据付け状態を確認する検査	良	令和元年6月5.6日	令和元年6月5.6日
		中田 聡 	発電用原子炉主任技術者 国政武史 
		高橋 和宏 	

8 特記事項

なし

9 添付資料

使用前検査記録

- 1 検査前確認事項
- 2 性能検査記録
  - (1) 材料検査
  - (2) 寸法検査
  - (3) 外観検査
  - (4) 組立て及び据付け状態を確認する検査

## 高浜発電所第1号機 使用前検査記録 検査前確認事項

### 共通事項

#### 使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	令和元年 6月5、6日	良	使用前検査成績書の「3 検査申請」に申請番号（変更申請番号を含む。）を記載する。
		年 月 日		
		年 月 日		
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	令和元年 6月5、6日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	令和元年 6月5、6日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		

## 高浜発電所第1号機 使用前検査記録

### 検査前確認事項

性能検査

材料検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	令和元年 6月5.6日	良	
		<del>年 月 日</del>	<del>/</del>	
		<del>年 月 日</del>	<del>/</del>	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	令和元年 6月5.6日	良	
		<del>年 月 日</del>	<del>/</del>	
		<del>年 月 日</del>	<del>/</del>	

## 高浜発電所第1号機 使用前検査記録

## 検査前確認事項

性能検査

寸法検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	令和元年 6月5.6日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	令和元年 6月5.6日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	令和元年 6月5.6日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		

## 高浜発電所第 1 号機 使用前検査記録

### 検査前確認事項

性能検査

外観検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	令和元年 6月5日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	令和元年 6月5日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		

## 高浜発電所第 1 号機 使用前検査記録

## 検査前確認事項

## 性能検査

組立て及び据付け状態を確認する検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	令和元年 6月5.6日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	令和元年 6月5.6日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		

高浜発電所第1号機

## 性能検査記録 (材料検査)

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査範囲：その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備 火災区域構造物及び火災区画構造物  
緊急時対策所建屋 緊急時対策所（1・2・3・4号機共用）：一式

判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。

検査対象	材料	検査年月日	検査結果	検査方法
緊急時対策所 (1・2・3・4号機共用)	鉄筋コンクリート	令和元年 6月5日	良	記録確認

## 備 考

- ・記録確認は、申請者の品質記録（※）による。

※：適合性確認検査成績書の識別番号：T1-3-1303



高浜発電所第1号機

## 性能検査記録 (寸法検査)

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査範囲：その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備 火災区域構造物及び火災区画構造物  
緊急時対策所建屋 緊急時対策所（1・2・3・4号機共用）：一式

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

検査対象	主要寸法 (mm)	許容値 <sup>※1</sup> (mm)	測定値 (mm)	検査年月日	検査 結果	検査方法
緊急時対策所 (1・2・3・4号機共用)	150 以上 (950 <sup>※2</sup> )	945 以上	948	令和元年 6月5日	良	記録確認

## 備 考

※1：許容値は工事計画による。

※2：公称値のうち最小のもの

・記録確認は、申請者の品質記録（※3）による。

※3：適合性確認検査成績書の識別番号：T1-3-1303

高浜発電所第1号機			
性能検査記録 (外観検査)			
検査場所：関西電力株式会社高浜発電所			
検査範囲：その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備 火災区域構造物及び火災区画構造物 緊急時対策所建屋 緊急時対策所（1・2・3・4号機共用）：一式			
判定基準：有害な欠陥（表面に機能・性能に影響を及ぼすおそれのある傷、割れ、変形、腐食、浸食）がないこと。			
検査対象	検査年月日	検査結果	検査方法
緊急時対策所（1・2・3・4号機共用）	令和元年 6月5日	良 <sup>※1</sup>	目視 <sup>✓</sup> 記録確認
備 考			
<del>記録確認は、申請者の品質記録（※）による。</del> <del>※ 適合性確認検査成績書の識別番号</del>			
※1：以下の個所について確認 1階 西壁-2（詳細は別紙参照）			

高浜発電所第1号機			
性能検査記録 (外観検査)			
検査場所：関西電力株式会社高浜発電所			
検査範囲：その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備 火災区域構造物及び火災区画構造物 緊急時対策所建屋 緊急時対策所（1・2・3・4号機共用）：一式			
判定基準：有害な欠陥（表面に機能・性能に影響を及ぼすおそれのある傷、割れ、変形、腐食、浸食）がないこと。			
検査対象	検査年月日	検査結果	検査方法
緊急時対策所（1・2・3・4号機共用）	令和元年 6月5日	良	目視/ 記録確認
備 考			
・記録確認は、申請者の品質記録（※）による。			
※：適合性確認検査成績書の識別番号：T1-3-1303			
※1・以下の個所について確認			

高浜発電所第1号機

### 性能検査記録 (組立て及び据付け状態を確認する検査)

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査範囲：その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備 火災区域構造物及び火災区画構造物  
緊急時対策所建屋 緊急時対策所（1・2・3・4号機共用）：一式

判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。

検査対象	検査年月日	検査結果	検査方法
緊急時対策所（1・2・3・4号機共用）	令和元年 6月5日	良	(目視)✓ 記録確認

備考

・記録確認は、申請者の品質記録(※)による。

※~~適合性確認検査成績書の識別番号~~：

※1：以下の個所について確認

1階 西壁-2(詳細は別紙参照)

高浜発電所第1号機

## 性能検査記録 (組立て及び据付け状態を確認する検査)

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査範囲：その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備 火災区域構造物及び火災区画構造物  
緊急時対策所建屋 緊急時対策所（1・2・3・4号機共用）：一式

判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。

検査対象	検査年月日	検査結果	検査方法
緊急時対策所（1・2・3・4号機共用）	令和元年 6月5日	良	目視/ <u>記録確認</u>

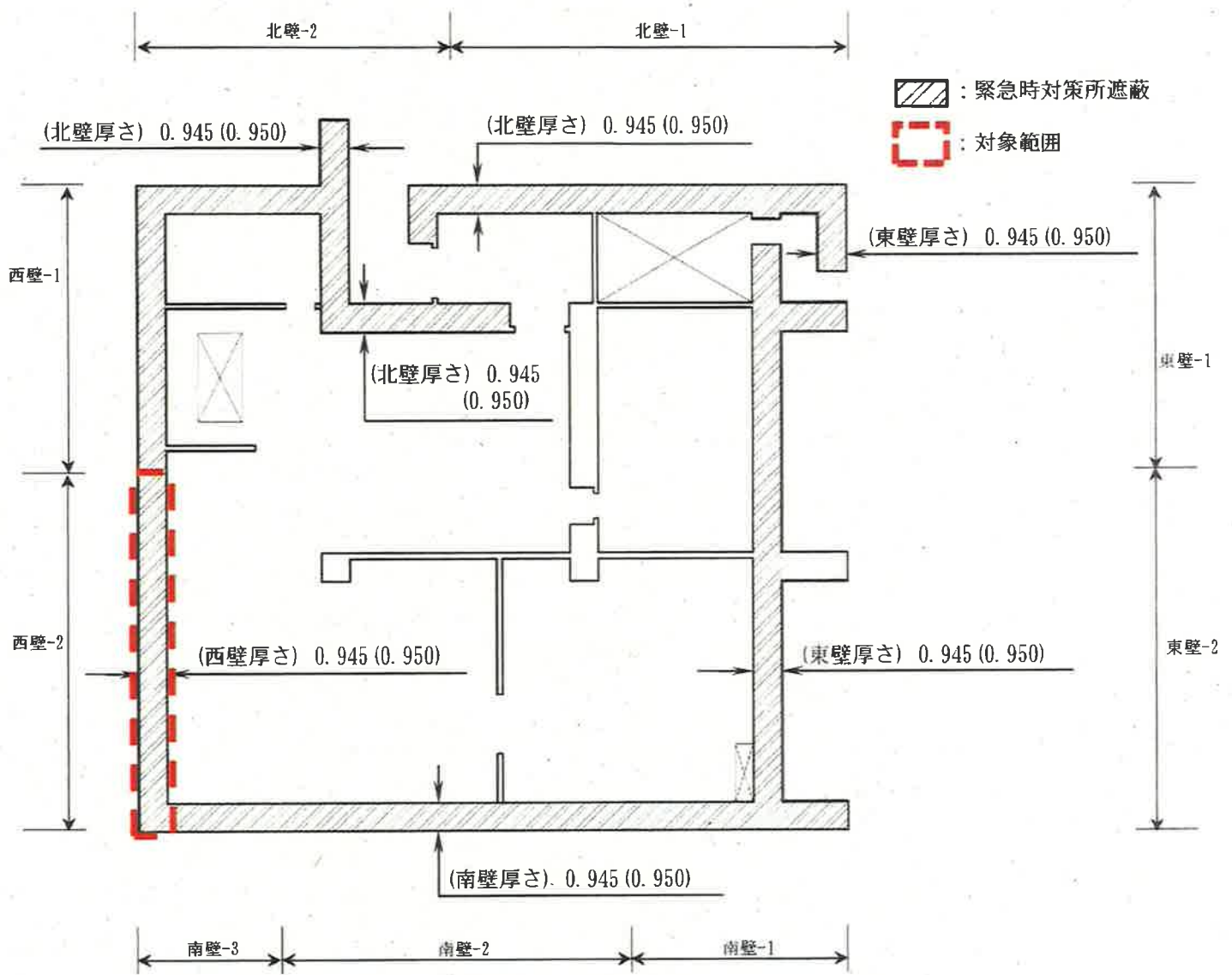
## 備考

- 記録確認は、申請者の品質記録（※）による。

※：適合性確認検査成績書の識別番号：T1-3-1303

~~※1-1以下の個所について確認~~

14/E



A-A  
E. L. +25.3m (1階)

別紙

関西電力株式会社  
高浜発電所第1号機  
使用前検査成績書

要領書番号：原規規収第1610071号99

成績書管理番号：1-28-3

令和 3 年 / 月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：1-28-3

- 1 発電所名 関西電力株式会社高浜発電所第1号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和2年12月17日  
至 令和3年1月18日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録



## 検査申請一覧表

検査申請書番号 (申請年月日)	関原発第299号(平成28年10月7日) 関原発第434号(平成30年3月20日) 関原発第 46号(平成30年4月20日) 関原発第202号(平成30年7月4日) 関原発第259号(平成30年8月20日) 関原発第415号(平成30年12月5日) 関原発第504号(平成31年2月1日) 関原発第512号(平成31年2月6日) 関原発第582号(平成31年3月18日) 関原発第 3号(平成31年4月4日) 関原発第 68号(2019年5月16日) 関原発第115号(2019年6月24日) 関原発第204号(2019年8月23日) 関原発第478号(2020年1月23日) 関原発第510号(2020年1月31日) 関原発第542号(2020年2月26日) 関原発第609号(2020年3月24日) 関原発第 20号(2020年4月 7日) 関原発第236号(2020年8月21日)
--------------------	---

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

# 検査結果一覧表

成績書管理番号：1-28-3

検査年月日	検査結果	原子力検査官	検査立会責任者	特記事項
令和2年 12月17日	良	須貝 実	合同原子力 主任技術者 辰 工 彰	なし

関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録  
共通事項

成績書管理番号：1-28-3

検査年月日：令和 2 年 12 月 17 日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

## 検査前確認事項

## 使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
検査をする工事の工程、期口及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・—	

関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録  
(三号検査)

成績書管理番号：1-28-3

検査年月日：令和2年12月17日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

## 検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	良・—	
系統構成が完了していること。	立会/ 記録確認	良・⊖	

関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録  
(三号検査)

成績書管理番号：1-28-3

検査年月日：令和 2 年 12 月 17 日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

## 検査結果

検査対象			
その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備 火災区域構造物及び火災区画構造物 別添1参照			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
性能検査 材料検査 寸法検査 外観検査 組立て及び据付け状態を確認する検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 記録確認
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：T1-3-0351、T1-3-1308 ・目視で確認した範囲・			

4 火災防護設備

- 1 火災区域構造物及び火災区画構造物の名称、種類、主要寸法及び材料  
 ・原子炉補助建屋、燃料取扱建屋

(1/2)

変更前					変更後 (注1)				
名称		種類	主要寸法 (mm)	材料	名称		種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名称	区分 番号				区分	番号			
					火災区域(区画)名称	区分	番号		
					A余熱除去ポンプ室	火災区画	A/B 1-1		
					B余熱除去ポンプ室	火災区画	A/B 1-3		
					A、B内部スプレポンプ室	火災区画	A/B 1-5		
					C、D内部スプレポンプ室	火災区画	A/B 1-7		
					原子炉補助建屋 E.L.-1.6m通路	火災区画	A/B 1-9		
					RHR及びスプレ再循環弁室	火災区画	A/B 1-11		
					RHR及びスプレ配管室	火災区画	A/B 1-13		
					原子炉補助建屋 E.L.+5.3m通路	火災区画	A/B 1-15		
					A余熱除去クーラ室	火災区画	A/B 2-1		
					B余熱除去クーラ室	火災区画	A/B 2-3		
					内部スプレクーラ室	火災区画	A/B 2-5		
					原子炉補助建屋 E.L.+9.7m共用通路(1・2号機共用)	火災区画	A/B 2-7		
					廃液ホールドアップタンク室	火災区画	A/B 2-9	壁 150以上 (250 <sup>(注2)</sup> )	鉄筋コンクリート
					ケーブルチェイス室	火災区画	A/B 2-11		
					パイプチェイス室	火災区画	A/B 2-13		
					原子炉補助建屋 E.L.+9.7m通路	火災区画	A/B 2-15		
					A充てん/高圧注入ポンプ室	火災区画	A/B 3-1		
					B充てん/高圧注入ポンプ室	火災区画	A/B 3-3		
					C充てん/高圧注入ポンプ室	火災区画	A/B 3-5		
					充てん/高圧注入ポンプ配管室	火災区画	A/B 3-7		
					原子炉補助建屋 E.L.+17m通路1	火災区画	A/B 3-9		
					封水及び非再生クーラ室	火災区画	A/B 3-11		
					原子炉補助建屋 E.L.+17m通路2	火災区画	A/B 3-13		
					ほう酸回収装置室・廃液蒸発装置室	火災区画	A/B 3-15		
					ホールドアップタンクポンプ室	火災区画	A/B 3-17		
					ホールドアップタンク室	火災区画	A/B 3-19		
					廃樹脂タンク室	火災区画	A/B 3-21		
					ガス減衰タンク室	火災区画	A/B 4-1		
					ガス圧縮機室	火災区画	A/B 4-3		

(令和2年12月17日)  
別添1(1/7)

   : 検査対象範囲

変更前					変更後 <sup>(注1)</sup>						
名称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
									壁	150 以上 (250 <sup>(注2)</sup> )	鉄筋コンクリート
					ほう酸濃縮液タンク室	火災区画	A/B 4-5				
					原子炉補助建屋 E.L.+24m通路1	火災区画	A/B 4-7				
					原子炉補助建屋 E.L.+24m通路2	火災区画	A/B 4-9				
					脱塩塔及びフィルタエリア	火災区画	A/B 4-11				
					体積制御タンク室	火災区画	A/B 4-13				
					洗浄排水処理装置室(1・2号機共用)	火災区画	A/B 4-16				
					原子炉補助建屋 E.L.+27m通路	火災区画	A/B 4-17				
					使用済燃料ピット・新燃料貯蔵庫	火災区画	A/B 5-1				
					原子炉補助建屋 E.L.+32m通路	火災区画	A/B 5-3				
					ドラム詰室	火災区画	A/B 5-7				
					ほう酸タンク室	火災区画	A/B 5-9				
					ドラミングバッチタンク室(1・2号機共用)	火災区画	A/B 5-12				
					原子炉補助建屋 E.L.+24m通路1	火災区画	A/B 4-7		12 <sup>(注3)</sup>	けい酸カルシウム 板	
					原子炉補助建屋 E.L.+27m通路	火災区画	A/B 4-17				
					使用済燃料ピット・新燃料貯蔵庫	火災区画	A/B 5-1		5 <sup>(注3)</sup>	フレキシブルボード	
					原子炉補助建屋 E.L.+32m通路	火災区画	A/B 5-3				
					原子炉補助建屋 E.L.+24m通路1	火災区画	A/B 4-7		9 <sup>(注3)</sup>	鋼板	
					原子炉補助建屋 E.L.+27m通路	火災区画	A/B 4-17				

(注1) 本設備は既存の設備である。

(注2) 公称値のうち最小のもの

(注3) 公称値

・制御建屋

変更前					変更後 <sup>(注1)</sup>						
名称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
									壁	150 以上 (300 <sup>(注2)</sup> )	鉄筋コンクリート
					Bスイッチギヤ室	火災区画	C/T 1-1				
					中央制御室外原子炉停止盤室(1・2号機共用)	火災区画	C/T 1-5				
					1次系リレー室	火災区画	C/T 2-1				
					ケーブル処理室(1・2号機共用)	火災区画	C/T 2-4				
					中央制御室(1・2号機共用)	火災区画	C/T 3-1				
					制御建屋 階段室(1・2号機共用)	火災区画	C/T 1-3				

   : 検査対象範囲

(令和2年12月17日)  
別添1 (2/7)

変更前				変更後 <sup>(注1)</sup>							
名称		種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料	
火災区域(区画)名称		区分	番号		種類	主要寸法 (mm)	材料				
2次系リレー室(1・2号機共用)		火災区画	C/T 2-3		壁	150 以上 (300 <sup>(注2)</sup> )	鉄筋コンクリート				
出入管理室(1・2号機共用)		火災区画	C/T 4-1								
制御建屋 階段室(1・2号機共用)		火災区画	C/T 1-3			120 以上 (120 <sup>(注2)</sup> )		鉄筋コンクリート			
出入管理室(1・2号機共用)		火災区画	C/T 4-1								

(注1) 本設備は既存の設備である。

(注2) 公称値のうち最小のもの

・中間建屋、ディーゼル発電建屋

変更前				変更後 <sup>(注1)</sup>						
名称		種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名称		区分	番号		種類	主要寸法 (mm)	材料			
火災区域(区画)名称		区分	番号		壁	150 以上 (200 <sup>(注2)</sup> )	鉄筋コンクリート			
Aディーゼル発電機室		火災区画	I/B 1-1							
Bディーゼル発電機室		火災区画	I/B 1-3							
Aスイッチギヤ室		火災区画	I/B 1-9							
Aバッテリー室		火災区画	I/B 2-9							
Bバッテリー室		火災区画	I/B 2-11							
1次系冷却水クーラ室		火災区画	I/B 1-5							
タービン動補助給水ポンプ室		火災区画	I/B 1-7							
主蒸気管ヘッド室		火災区画	I/B 2-1							
1次系冷却水ポンプ室		火災区画	I/B 2-3							
主給水管室		火災区画	I/B 2-5							
補助建屋よう素除去排気フィルタユニット室		火災区画	I/B 2-7							
中間建屋 E.L.+10.1m通路		火災区画	I/B 2-13							
換気空調設備室		火災区画	I/B 3-1							
アニュラス循環フィルタユニット室		火災区画	I/B 3-3							
主蒸気主給水配管室1		火災区画	I/B 3-5							
中間建屋 E.L.+24.0m通路		火災区画	I/B 4-1							
制御棒駆動装置制御室		火災区画	I/B 4-3							
主蒸気主給水配管室2		火災区画	I/B 4-5							
中間建屋 E.L.+24.0m通路		火災区画	I/B 4-1			壁	12 <sup>(注3)</sup>	けい酸カルシウム板		
制御棒駆動装置制御室		火災区画	I/B 4-3		壁	5 <sup>(注3)</sup>	フレキシブルボード			
1次系冷却水ポンプ室		火災区画	I/B 2-3		壁					

6

(令和2年12月17日) 別添1 (3/7)

□: 検査対象範囲



変更前				変更後 <sup>(注1)</sup>					
名称	種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
				火災区域(区画)名称	区分	番号			
				中間建屋 E.L.+10.1m通路	火災区画	I/B 2-13		5 <sup>(注3)</sup>	フレキシブルボード
				換気空調設備室	火災区画	I/B 3-1	壁	9 <sup>(注3)</sup>	鋼板
				主蒸気主給水配管室1	火災区画	I/B 3-5			
				中間建屋 E.L.+24.0m通路	火災区画	I/B 4-1			
				主蒸気主給水配管室2	火災区画	I/B 4-5			

(注1) 本設備は既存の設備である。

(注2) 公称値のうち最小のもの

(注3) 公称値

・原子炉格納容器

変更前				変更後 <sup>(注1)</sup>					
名称	種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
				火災区域(区画)名称	区分	番号			
				アニュラスエリア	火災区画	C/V 1-1	壁	150 以上 (1,100 <sup>(注2)</sup> )	鉄筋コンクリート
				格納容器内	火災区画	C/V 1-3	鋼板	(上部鏡部) 19.0 <sup>(注3)</sup>	ASTM A516 Gr. 70 A300 (JIS SB49相当材)

(注1) 本設備は既存の設備である。

(注2) 公称値のうち最小のもの

(注3) 公称値

・屋外タンク

変更前				変更後 <sup>(注1)</sup>					
名称	種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
				火災区域(区画)名称	区分	番号			
				タンクエリア(1・2号機共用)	火災区域	屋外 1-1	壁	150 以上 (1,000 <sup>(注2)</sup> )	鉄筋コンクリート

(注1) 本設備は既存の設備である。

(注2) 公称値のうち最小のもの

   : 検査対象範囲

(令和2年12月17日)  
別添1(4/7)

10

・海水ポンプ室、海水管トレンチ室

変更前					変更後 <sup>(注1)</sup>						
名称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
									壁	150 以上 (300 <sup>(注2)</sup> )	鉄筋コンクリート
					海水ポンプ室ケーブルトレンチ	火災区域	S/W 1-3				
					海水管トレンチ	火災区域	S/W 1-5				

(注1) 本設備は既存の設備である。

(注2) 公称値のうち最小のもの

・燃料油貯油そう

変更前					変更後						
名称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
					燃料油貯油そうエリア	火災区域	屋外 1-4		壁	150 以上 (450 <sup>(注1)</sup> )	鉄筋コンクリート

(注1) 公称値のうち最小のもの

・固体廃棄物処理建屋

(1/2)

変更前					変更後 <sup>(注1)</sup>						
名称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
					床ドレンタンク、機器ドレンタンク室(1・2号機共用)	火災区画	固体廃 0-1		壁	150 以上 (200 <sup>(注2)</sup> )	鉄筋コンクリート
					固化廃液受入タンク室(1・2号機共用)	火災区画	固体廃 0-2				
					固化廃液供給タンク室(1・2号機共用)	火災区画	固体廃 0-3				
					固化廃液供給ポンプ室(1・2号機共用)	火災区画	固体廃 0-4				
					増設タンク室(1・2号機共用)	火災区画	固体廃 0-5				
					固化廃液受入タンクポンプ室(1・2号機共用)	火災区画	固体廃 0-6				
					空気圧縮機室(1・2号機共用)	火災区画	固体廃 0-7				
					固体廃棄物処理建屋 A階段室(1・2号機共用)	火災区画	固体廃 0-8				
					固体廃棄物処理建屋 B階段室(1・2号機共用)	火災区画	固体廃 0-9				
					温水復水タンク室(1・2号機共用)	火災区画	固体廃 1-2				
					廃液受入配管室(1・2号機共用)	火災区画	固体廃 1-3				
					計器用空気ドライア室(1・2号機共用)	火災区画	固体廃 1-4				
					Aパイプチェイス(1・2号機共用)	火災区画	固体廃 1-5				
					Bパイプチェイス(1・2号機共用)	火災区画	固体廃 1-6				

□: 検査対象範囲

(令和2年12月17日)  
別添1 (5/7)

変更前				変更後 <sup>(注2)</sup>						
名称		種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名称	区分 番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
					熱媒ドレンタンク室(1・2号機共用)	火災区画	固体廃	1-7	壁 150 以上 (200 <sup>(注2)</sup> ) 鉄筋コンクリート	
					固化装置充填室(1・2号機共用)	火災区画	固体廃	2-2		
					固化ドラム搬出エリア(1・2号機共用)	火災区画	固体廃	2-3		
					固化建屋制御室(1・2号機共用)	火災区画	固体廃	2-4		
					薬注タンク室(1・2号機共用)	火災区画	固体廃	2-5		
					熱媒ヒータ室(1・2号機共用)	火災区画	固体廃	2-6		
					出入管理室(1・2号機共用)	火災区画	固体廃	2-7		
					蒸発缶室(1・2号機共用)	火災区画	固体廃	3-2		
					固化装置固化ドラム一次貯蔵室(1・2号機共用)	火災区画	固体廃	3-3		
					電気室(1・2号機共用)	火災区画	固体廃	3-4		
					熱媒サージタンク室(1・2号機共用)	火災区画	固体廃	3-5		
					直流電源盤室(1・2号機共用)	火災区画	固体廃	3-6		
					モニタ室(1・2号機共用)	火災区画	固体廃	3-7		
					コールドメンテナンスエリア(1・2号機共用)	火災区画	固体廃	3-8		
					計器調整室(1・2号機共用)	火災区画	固体廃	4-2		
					補機冷却機室(1・2号機共用)	火災区画	固体廃	4-3		
					固化建屋排気フィルタ室(1・2号機共用)	火災区画	固体廃	5-2		
					固化建屋給気フィルタ室(1・2号機共用)	火災区画	固体廃	5-3		

(注1) 本設備は既存の設備である。

(注2) 公称値のうち最小のもの

   : 検査対象範囲

1/2

(令和2年12月17日)  
別添1(6/7)

・ 廃樹脂貯蔵庫、廃樹脂処理建屋

変更前					変更後 <sup>(注1)</sup>						
名称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
						サンプタンク室(1・2号機共用)	火災区画	廃樹脂 1-1	壁	150 以上 (200 <sup>(注2)</sup> )	鉄筋コンクリート
						廃液処理装置室(1・2号機共用)	火災区画	廃樹脂 1-2			
						濃縮液タンク室(1・2号機共用)	火災区画	廃樹脂 1-3			
						廃樹脂処理建屋 階段室(1・2号機共用)	火災区画	廃樹脂 1-4			
						廃樹脂処理建屋 E.L.+10.2m通路(1・2号機共用)	火災区画	廃樹脂 1-5			
						パッチングタンク室(1・2号機共用)	火災区画	廃樹脂 1-6			
						廃樹脂処理建屋 E.L.+13.2m通路(1・2号機共用)	火災区画	廃樹脂 2-1			
						廃樹脂処理空調機械室(1・2号機共用)	火災区画	廃樹脂 2-2			
						廃樹脂供給タンク室(1・2号機共用)	火災区画	廃樹脂 3-1			
						配管室(1・2号機共用)	火災区画	廃樹脂 3-2			
						ドラム貯蔵エリア(1・2号機共用)	火災区画	廃樹脂 3-3			
						ドラム詰装置室(1・2号機共用)	火災区画	廃樹脂 3-4			
						廃樹脂貯蔵タンクエリア-1(1・2号機共用)	火災区画	廃樹脂 3-5			
						廃樹脂貯蔵タンクエリア-2(1・2号機共用)	火災区画	廃樹脂 3-6			
						Aサンプタンク室(1・2号機共用)	火災区画	廃樹脂 3-7			
						廃樹脂処理建屋 E.L.+17.2m通路(1・2号機共用)	火災区画	廃樹脂 3-8			
						廃樹脂貯蔵建屋 E.L.+17.2m通路(1・2号機共用)	火災区画	廃樹脂 3-9			
						ドラム詰室(1・2号機共用)	火災区画	廃樹脂 3-10			
						放射線管理室(1・2号機共用)	火災区画	廃樹脂 3-11			
						廃樹脂処理建屋 E.L.+20.2m通路(1・2号機共用)	火災区画	廃樹脂 4-1			
						廃樹脂貯蔵空調機械室(1・2号機共用)	火災区画	廃樹脂 4-2			
						廃樹脂処理建屋 給気ファン室(1・2号機共用)	火災区画	廃樹脂 5-1			
						廃樹脂処理建屋 排気ファン室(1・2号機共用)	火災区画	廃樹脂 5-2			

(注1) 本設備は既存の設備である。

(注2) 公称値のうち最小のもの

   : 検査対象範囲

13

(令和2年12月17日)  
別添1 (7/7)

# 検査結果一覧表

成績書管理番号：1-28-3

検査年月日	検査結果	原子力検査官	検査立会責任者	特記事項
令和3年 1月18日	良	増本 豊	柴田 原 功 主任技術者 辰 工 章	なし

21

## 関西電力株式会社高浜発電所第 1 号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：1-28-3

検査年月日：令和 3 年 / 月 / 日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

## 検査前確認事項

## 使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・—	

関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録  
(三号検査)

成績書管理番号：1-28-3

検査年月日：令和 3 年 / 月 18 日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

## 検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	良・一	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	良・一	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	良・一	
系統構成が完了していること。	立会/ 記録確認	良・⊖	

## 関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-28-3

検査年月日：令和 3 年 / 月 / 日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

## 検査結果

検査対象			
その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備 火災区域構造物及び火災区画構造物 別添1参照			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
性能検査 材料検査 寸法検査 外観検査 組立て及び据付け状態を確認する検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視  <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">記録確認</span>
<b>備考</b> ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：T1-3-1911  ・目視で確認した範囲・			



工事計画 文 (原規規発第1606104号 (平成28年6月 日認可))

その他発電用原子炉の付属施設

4 火災防護設備

1 火災区域構造物及び火災区画構造物の名称、種類、主要寸法及び材料

・原子炉補助建屋、燃料取扱建屋

(1/2)

変更前					変更後 <sup>(2)</sup>						
名称	区分	番号	種類	主要寸法 (mm)	材料	名称	区分	番号	種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名称						火災区域(区画)名称					
						A余熱除去ポンプ室	火災区画	A/B 1-1	壁	150 以上 (250 <sup>(注2)</sup> )	鉄筋コンクリート
						B余熱除去ポンプ室	火災区画	A/B 1-3			
						A、B内部スプレポンプ室	火災区画	A/B 1-5			
						C、D内部スプレポンプ室	火災区画	A/B 1-7			
						原子炉補助建屋 E.L.-1.6m通路	火災区画	A/B 1-9			
						RHR及びスプレ再循環弁室	火災区画	A/B 1-11			
						RHR及びスプレ配管室	火災区画	A/B 1-13			
						原子炉補助建屋 E.L.+5.3m通路	火災区画	A/B 1-15			
						A余熱除去クーラ室	火災区画	A/B 2-1			
						B余熱除去クーラ室	火災区画	A/B 2-3			
						内部スプレクーラ室	火災区画	A/B 2-5			
						原子炉補助建屋 E.L.+9.7m共用通路(1・2号機共用)	火災区画	A/B 2-7			
						廃液ホールドアップタンク室	火災区画	A/B 2-9			
						ケーブルチェイス室	火災区画	A/B 2-11			
						パイプチェイス室	火災区画	A/B 2-13			
						原子炉補助建屋 E.L.+9.7m通路	火災区画	A/B 2-15			
						A充てん/高圧注入ポンプ室	火災区画	A/B 3-1			
						B充てん/高圧注入ポンプ室	火災区画	A/B 3-3			
						C充てん/高圧注入ポンプ室	火災区画	A/B 3-5			
						充てん/高圧注入ポンプ配管室	火災区画	A/B 3-7			
						原子炉補助建屋 E.L.+17m通路1	火災区画	A/B 3-9			
						封水及び非再生クーラ室	火災区画	A/B 3-11			
						原子炉補助建屋 E.L.+17m通路2	火災区画	A/B 3-13			
						ほう酸回収装置室・廃液蒸発装置室	火災区画	A/B 3-15			
						ホールドアップタンクポンプ室	火災区画	A/B 3-17			
						ホールドアップタンク室	火災区画	A/B 3-19			
						腐樹脂タンク室	火災区画	A/B 3-21			
						ガス減衰タンク室	火災区画	A/B 4-1			
						ガス圧縮機室	火災区画	A/B 4-3			

変更前					変更後 (注1)						
名称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
						ほう酸濃縮液タンク室	火災区画	A/B 4-5	壁	150 以上 (250 (注2))	鉄筋コンクリート
						原子炉補助建屋 E.L.+24m通路1	火災区画	A/B 4-7			
						原子炉補助建屋 E.L.+24m通路2	火災区画	A/B 4-9			
						脱塩塔及びフィルタエリア	火災区画	A/B 4-11			
						体積制御タンク室	火災区画	A/B 4-13			
						洗浄排水処理装置室(1・2号機共用)	火災区画	A/B 4-16			
						原子炉補助建屋 E.L.+27m通路	火災区画	A/B 4-17			
						使用済燃料ピット・新燃料貯蔵庫	火災区画	A/B 5-1			
						原子炉補助建屋 E.L.+32m通路	火災区画	A/B 5-3			
						ドラム詰室	火災区画	A/B 5-7			
						ほう酸タンク室	火災区画	A/B 5-9			
						ドラミングバッチタンク室(1・2号機共用)	火災区画	A/B 5-12			
						原子炉補助建屋 E.L.+24m通路1	火災区画	A/B 4-7			
						原子炉補助建屋 E.L.+27m通路	火災区画	A/B 4-17			
						使用済燃料ピット・新燃料貯蔵庫	火災区画	A/B 5-1			
						原子炉補助建屋 E.L.+32m通路	火災区画	A/B 5-3			
						原子炉補助建屋 E.L.+24m通路1	火災区画	A/B 4-7	12 (注3)	けい酸カルシウム板	
						原子炉補助建屋 E.L.+27m通路	火災区画	A/B 4-17	5 (注3)	フレキシブルボード	
						原子炉補助建屋 E.L.+24m通路1	火災区画	A/B 4-7	9 (注3)	鋼板	
						原子炉補助建屋 E.L.+27m通路	火災区画	A/B 4-17			

(注1) 本設備は既存の設備である。

(注2) 公称値のうち最小のもの

(注3) 公称値



: 検査範囲

・制御建屋

変更前					変更後 (注1)						
名称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
						Bスイッチギヤ室	火災区画	C/T 1-1	壁	150 以上 (300 (注2))	鉄筋コンクリート
						中央制御室外原子炉停止盤室(1・2号機共用)	火災区画	C/T 1-5			
						1次系リレー室	火災区画	C/T 2-1			
						ケーブル処理室(1・2号機共用)	火災区画	C/T 2-4			
						中央制御室(1・2号機共用)	火災区画	C/T 3-1			
						制御建屋 階段室(1・2号機共用)	火災区画	C/T 1-3			

変更前				変更後 (注1)					
名称	種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
				火災区域(区画)名称	区分	番号			
				2次系リレー室(1・2号機共用)	火災区画	C/T 2-3	壁	150 以上 (300 (注2))	鉄筋コンクリート
				出入管理室(1・2号機共用)	火災区画	C/T 4-1			
				制御建屋 階段室(1・2号機共用)	火災区画	C/T 1-3		120 以上 (120 (注2))	鉄筋コンクリート
				出入管理室(1・2号機共用)	火災区画	C/T 4-1			

(注1) 本設備は既存の設備である。

(注2) 公称値のうち最小のもの

## ・中間建屋、ディーゼル発電建屋

変更前				変更後 (注1)							
火災区域(区画)名称	区分	番号	種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
						火災区域(区画)名称	区分	番号			
						Aディーゼル発電機室	火災区画	I/B 1-1	壁	150 以上 (200 (注2))	鉄筋コンクリート
						Bディーゼル発電機室	火災区画	I/B 1-3			
						Aスイッチギヤ室	火災区画	I/B 1-9			
						Aバッテリー室	火災区画	I/B 2-9			
						Bバッテリー室	火災区画	I/B 2-11			
						1次系冷却水クーラ室	火災区画	I/B 1-5			
						タービン動補助給水ポンプ室	火災区画	I/B 1-7			
						主蒸気管ヘッド室	火災区画	I/B 2-1			
						1次系冷却水ポンプ室	火災区画	I/B 2-3			
						主給水管室	火災区画	I/B 2-5			
						補助建屋よう素除去排気フィルタユニット室	火災区画	I/B 2-7			
						中間建屋 E.L.+10.1m通路	火災区画	I/B 2-13			
						換気空調設備室	火災区画	I/B 3-1			
						アニュラス循環フィルタユニット室	火災区画	I/B 3-3			
						主蒸気主給水配管室1	火災区画	I/B 3-5			
						中間建屋 E.L.+24.0m通路	火災区画	I/B 4-1			
						制御棒駆動装置制御室	火災区画	I/B 4-3			
						主蒸気主給水配管室2	火災区画	I/B 4-5			
						中間建屋 E.L.+24.0m通路	火災区画	I/B 4-1	壁	12 (注3)	けい酸カルシウム板
						制御棒駆動装置制御室	火災区画	I/B 4-3			
						1次系冷却水ポンプ室	火災区画	I/B 2-3	壁	5 (注3)	フレキシブルボード

変更前				変更後 <sup>(注1)</sup>					
名称	種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
				火災区域(区画)名称	区分	番号			
				中間建屋 E.L.+10.1m通路	火災区画	I/B 2-13		5 <sup>(注3)</sup>	フレキシブルボード
				換気空調設備室	火災区画	I/B 3-1	壁	9 <sup>(注3)</sup>	鋼板
				主蒸気主給水配管室1	火災区画	I/B 3-5			
				中間建屋 E.L.+24.0m通路	火災区画	I/B 4-1			
				主蒸気主給水配管室2	火災区画	I/B 4-5			

(注1) 本設備は既存の設備である。

(注2) 公称値のうち最小のもの

(注3) 公称値

 : 検査範囲

## ・原子炉格納容器

変更前				変更後 <sup>(注1)</sup>					
名称	種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
				火災区域(区画)名称	区分	番号			
				アニュラスエリア	火災区画	C/V 1-1	壁	150 以上 (1,100 <sup>(注2)</sup> )	鉄筋コンクリート
				格納容器内	火災区画	C/V 1-3	鋼板	(上部鏡部) 19.0 <sup>(注3)</sup>	ASTM A516 Gr. 70 A300 (JIS SB49相当材)

(注1) 本設備は既存の設備である。

(注2) 公称値のうち最小のもの

(注3) 公称値

## ・屋外タンク

変更前				変更後 <sup>(注1)</sup>					
名称	種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
				火災区域(区画)名称	区分	番号			
				タンクエリア(1・2号機共用)	火災区域	屋外 1-1	壁	150 以上 (1,000 <sup>(注2)</sup> )	鉄筋コンクリート

(注1) 本設備は既存の設備である。

(注2) 公称値のうち最小のもの

・海水ポンプ室、海水管トレンチ室

変更前					変更後 <sup>(注1)</sup>						
名称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-					海水ポンプ室ケーブルトレンチ	火災区域	S/W 1-3	壁	150 以上 (300 <sup>(注2)</sup> )	鉄筋コンクリート	
-					海水管トレンチ	火災区域	S/W 1-5				

(注1) 本設備は既存の設備である。

(注2) 公称値のうち最小のもの

・燃料油貯油そう

変更前					変更後						
名称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-					燃料油貯油そうエリア	火災区域	屋外 1-4	壁	150 以上 (450 <sup>(注1)</sup> )	鉄筋コンクリート	

(注1) 公称値のうち最小のもの

・固体廃棄物処理建屋

(1/2)

変更前					変更後 <sup>(注1)</sup>						
名称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-					床ドレンタンク、機器ドレンタンク室(1・2号機共用)	火災区画	固体廃 0-1	壁	150 以上 (200 <sup>(注2)</sup> )	鉄筋コンクリート	
-					固化廃液受入タンク室(1・2号機共用)	火災区画	固体廃 0-2				
-					固化廃液供給タンク室(1・2号機共用)	火災区画	固体廃 0-3				
-					固化廃液供給ポンプ室(1・2号機共用)	火災区画	固体廃 0-4				
-					増設タンク室(1・2号機共用)	火災区画	固体廃 0-5				
-					固化廃液受入タンクポンプ室(1・2号機共用)	火災区画	固体廃 0-6				
-					空気圧縮機室(1・2号機共用)	火災区画	固体廃 0-7				
-					固体廃棄物処理建屋 A階段室(1・2号機共用)	火災区画	固体廃 0-8				
-					固体廃棄物処理建屋 B階段室(1・2号機共用)	火災区画	固体廃 0-9				
-					溢水復水タンク室(1・2号機共用)	火災区画	固体廃 1-2				
-					廃液受入配管室(1・2号機共用)	火災区画	固体廃 1-3				
-					計器用空気ドライア室(1・2号機共用)	火災区画	固体廃 1-4				
-					Aパイプチェイス(1・2号機共用)	火災区画	固体廃 1-5				
-					Bパイプチェイス(1・2号機共用)	火災区画	固体廃 1-6				

変更前					変更後 <sup>(注1)</sup>						
名称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
						熱媒ドレンタンク室(1・2号機共用)	火災区画	固体廃 1-7	壁	150 以上 (200 <sup>(注2)</sup> )	鉄筋コンクリート
						固化装置充填室(1・2号機共用)	火災区画	固体廃 2-2			
						固化ドラム搬出エリア(1・2号機共用)	火災区画	固体廃 2-3			
						固化建屋制御室(1・2号機共用)	火災区画	固体廃 2-4			
						薬注タンク室(1・2号機共用)	火災区画	固体廃 2-5			
						熱媒ヒータ室(1・2号機共用)	火災区画	固体廃 2-6			
						出入管理室(1・2号機共用)	火災区画	固体廃 2-7			
						蒸発缶室(1・2号機共用)	火災区画	固体廃 3-2			
						固化装置固化ドラム一次貯蔵室(1・2号機共用)	火災区画	固体廃 3-3			
						電気室(1・2号機共用)	火災区画	固体廃 3-4			
						熱媒サージタンク室(1・2号機共用)	火災区画	固体廃 3-5			
						直流電源盤室(1・2号機共用)	火災区画	固体廃 3-6			
						モニタ室(1・2号機共用)	火災区画	固体廃 3-7			
						コールドメンテナンスエリア(1・2号機共用)	火災区画	固体廃 3-8			
						計器調整室(1・2号機共用)	火災区画	固体廃 4-2			
						補機冷却機室(1・2号機共用)	火災区画	固体廃 4-3			
						固化建屋排気フィルタ室(1・2号機共用)	火災区画	固体廃 5-2			
						固化建屋給気フィルタ室(1・2号機共用)	火災区画	固体廃 5-3			

(注1) 本設備は既存の設備である。

(注2) 公称値のうち最小のもの

・ 廃樹脂貯蔵庫、廃樹脂処理建屋

変更前					変更後(注1)						
名称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
						サンブタンク室(1・2号機共用)	火災区画	廃樹脂 1-1	壁	150 以上 (200 <sup>(注2)</sup> )	鉄筋コンクリート
						廃液処理装置室(1・2号機共用)	火災区画	廃樹脂 1-2			
						濃縮液タンク室(1・2号機共用)	火災区画	廃樹脂 1-3			
						廃樹脂処理建屋 階段室(1・2号機共用)	火災区画	廃樹脂 1-4			
						廃樹脂処理建屋 E.L.+10.2m通路(1・2号機共用)	火災区画	廃樹脂 1-5			
						バッティングタンク室(1・2号機共用)	火災区画	廃樹脂 1-6			
						廃樹脂処理建屋 E.L.+13.2m通路(1・2号機共用)	火災区画	廃樹脂 2-1			
						廃樹脂処理空調機械室(1・2号機共用)	火災区画	廃樹脂 2-2			
						廃樹脂供給タンク室(1・2号機共用)	火災区画	廃樹脂 3-1			
						配管室(1・2号機共用)	火災区画	廃樹脂 3-2			
						ドラム貯蔵エリア(1・2号機共用)	火災区画	廃樹脂 3-3			
						ドラム詰装置室(1・2号機共用)	火災区画	廃樹脂 3-4			
						廃樹脂貯蔵タンクエリア-1(1・2号機共用)	火災区画	廃樹脂 3-5			
						廃樹脂貯蔵タンクエリア-2(1・2号機共用)	火災区画	廃樹脂 3-6			
						Aサンブタンク室(1・2号機共用)	火災区画	廃樹脂 3-7			
						廃樹脂処理建屋 E.L.+17.2m通路(1・2号機共用)	火災区画	廃樹脂 3-8			
						廃樹脂貯蔵建屋 E.L.+17.2m通路(1・2号機共用)	火災区画	廃樹脂 3-9			
						ドラム詰室(1・2号機共用)	火災区画	廃樹脂 3-10			
						放射線管理室(1・2号機共用)	火災区画	廃樹脂 3-11			
						廃樹脂処理建屋 E.L.+20.2m通路(1・2号機共用)	火災区画	廃樹脂 4-1			
						廃樹脂貯蔵空調機械室(1・2号機共用)	火災区画	廃樹脂 4-2			
						廃樹脂処理建屋 給気ファン室(1・2号機共用)	火災区画	廃樹脂 5-1			
						廃樹脂処理建屋 排気ファン室(1・2号機共用)	火災区画	廃樹脂 5-2			

(注1) 本設備は既存の設備である。

(注2) 公称値のうち最小のもの。

2X/E

関西電力株式会社  
高浜発電所第1号機  
使用前検査成績書

要領書番号 : 原規規収第1610071号99

成績書管理番号 : 1-29-1

令和2年12月

原子力規制委員会



## 使用前検査成績書

成績書管理番号：1-29-1

- 1 発電所名 関西電力株式会社高浜発電所第1号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和 2 年 12 月 16 日  
至 令和 2 年 12 月 16 日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録

## 検査申請一覧表

検査申請書番号 (申請年月日)	関原発第299号(平成28年10月7日) 関原発第434号(平成30年 3月20日) 関原発第 46号(平成30年 4月20日) 関原発第202号(平成30年 7月 4日) 関原発第259号(平成30年 8月20日) 関原発第415号(平成30年12月 5日) 関原発第504号(平成31年 2月 1日) 関原発第512号(平成31年 2月 6日) 関原発第582号(平成31年 3月18日) 関原発第 3号(平成31年 4月 4日) 関原発第 68号(2019年 5月16日) 関原発第115号(2019年 6月24日) 関原発第204号(2019年 8月23日) 関原発第478号(2020年 1月23日) 関原発第510号(2020年 1月31日) 関原発第542号(2020年 2月26日) 関原発第609号(2020年3月24日) 関原発第 20号(2020年4月 7日) 関原発第236号(2020年8月21日)
--------------------	--

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

# 検査結果一覧表

成績書管理番号：1-29-1

検査年月日	検査結果	原子力施設検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
令和 2 年 12 月 16 日	良	須貝 実	ボロ---ターゼン 主任技術者 清水 輝樹	なし

ω

関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録  
共通事項

成績書管理番号：1-29-1

検査年月日：令和 2 年 12 月 16 日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

## 検査前確認事項

## 使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・—	

## 関西電力株式会社高浜発電所第 1 号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-29-1

検査年月日：令和 2 年 12 月 16 日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

## 検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	◎良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	◎良・—	
系統構成が完了していること。	立会 記録確認	◎良・—	

# 関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-29-1

検査年月日：令和 2 年 12 月 16 日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

## 検査結果

検 査 対 象			
その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備 消火設備 ポンプ 別添 1 参照			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
性能検査 ・運転性能検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	<span style="font-size: 2em;">良</span>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 30px; height: 30px; margin: 5px auto; display: flex; align-items: center; justify-content: center;">目視</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 30px; height: 30px; margin: 5px auto; display: flex; align-items: center; justify-content: center;">記録確認</div>
<b>備考</b> ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：T1-3-0106 (その 3)、T1-3-0412 ・目視で確認した範囲：添付資料 3-3 参照			

関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録  
(三号検査)  
(立会検査)

成績書管理番号：1-29-1

検査年月日：令和 2 年 12 月 16 日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

## 検査結果

検査対象設備名	項目	測定値等	検査結果	検査方法
A 消火水バックアップポンプ (1・2号機共用)	性能検査 ・運転性能検査	別紙1参照	良	目視
備考				

関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録  
検査用計器一覧表

成績書管理番号：1-29-1

検査年月日：令和2年12月16日

検査項目	検査用計器	管理番号	測定範囲	測定精度	校正年月日 有効期限	備考
運転性能検査	圧力計 (出口圧力)	12PI-2602A	0~1.6MPa	±1.6%F.S.	2018.10.17 次回定期事業者検査	
運転性能検査	流量計	23887715	0~3m/s (流速換算)	0~2.00m/s ±0.03 m/s 2~3.00m/s ±1.5 % (流速換算)	2020.10.29 2021.10.31	
運転性能検査	鋼製巻尺	TCFQMI0025	0~5.5m	±1.0mm	2019.12.26 2022.12.25	
運転性能検査	温度計	134706	0~100℃	±2℃	2020.3.4 2021.3.31	
以下余白						



工事計画本文(原規規発第1606104号(平成28年6月10日認可))

その他発電用原子炉の附属施設

4 火災防護設備

2 消火設備に係る次の事項

(1) ポンプの名称、種類、容量、揚程又は吐出圧力、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数及び取付箇所並びに原動機の種類、出力、個数及び取付箇所

・常設

(1/2)

名 称			変 更 前	変 更 後	
ポンプ	種 類	—	—	消火水バックアップポンプ (1・2号機共用)	
	容 量	m <sup>3</sup> /h/個		うず巻形	64.8以上 (64.8 (注1))
	揚 程	m		58以上 (73.8 (注1))	
	最 高 使 用 圧 力	MPa		1.5	
	最 高 使 用 温 度	℃		40	
	主 要 寸 法	吸 込 口 径		mm	100 (注1)
		吐 出 口 径		mm	80 (注1)
		た て		mm	550 (注1)
		横		mm	705 (注1)
		高 さ		mm	330 (注1)
	材 料	ケーシング		—	SCPH1
	個 数	—		2	

□:検査対象範囲

			変 更 前	変 更 後		
ポンプ	取付箇所	系 統 名 (ライン名)	—	—	A消火水バックアップポンプ 消火水バックアップライン	B消火水バックアップポンプ 消火水バックアップライン
		設 置 床	—		【2号機】 燃料取扱建屋 E.L.+32.3m	【2号機】 燃料取扱建屋 E.L.+32.3m
		溢水防護上の 区画番号	—		—	
		溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—		—	
原動機		種 類	—	三相誘導電動機		
		出 力	kW/個	30		
		個 数	—	2		
		取 付 箇 所	—	ポンプと同じ		

(注1) 公称値

・常設

(1/2)

名 称			変 更 前	変 更 後
種 類		-		No.1ディーゼル消火ポンプ (注1) (1・2号機共用) うず巻形
容 量	m <sup>3</sup> /h/個			332 以上 (450 (注2))
揚 程	m			63 以上 (100 (注2))
最 高 使 用 圧 力	MPa			1.4
最 高 使 用 温 度	℃			40
主 要 寸 法 ポンプ	吸 込 口 径	mm		250 (注2)
	吐 出 口 径	mm		150 (注2)
	た て 横	mm		870 (注2)
		mm		1,145 (注2)
	高 さ	mm		470 (注2)
材 料	ケーシング	-		FC20
個 数		-		1
取 付 箇 所	系 統 名 (ライン名)	-		水消火ライン
	設 置 床	-		淡水ポンプ室 E.L.+7.0m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	-		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	-		

□:検査対象範囲

(2/2)

			変更前	変更後
原 動 機	種	類	—	陸用立形無気噴射ディーゼル機関
	出	力	kW/個	
	個	数	—	
	取	付	箇	
				228
				1
				ポンプと同じ

(注1) 本設備は既存の設備である。

(注2) 公称値

・常設

(1/2)

			変更前	変更後		
名称				No.1電動消火ポンプ <sup>(注1)</sup> (1・2号機共用)		
種	類	-		うず巻形		
容	量	m <sup>3</sup> /h/個		332 以上 (450 <sup>(注2)</sup> )		
揚	程	m		63 以上 (100 <sup>(注2)</sup> )		
最高使用圧力			MPa	1.4		
最高使用温度			℃	40		
ポンプ 主要寸法	吸	込	口	径	mm	250 <sup>(注2)</sup>
	吐	出	口	径	mm	150 <sup>(注2)</sup>
	た	て			mm	870 <sup>(注2)</sup>
	横				mm	1,145 <sup>(注2)</sup>
	高		さ		mm	470 <sup>(注2)</sup>
材	料		ケーシング	-	FC20	
個			数	-	1	
取付箇所	系		統	名	-	水消火ライン
	(ライン名)					
	設		置	床	-	淡水ポンプ室 E.L.+7.0m
溢水防護上の						
区			画	番	号	-

□:検査対象範囲

13

(2/2)

				変更前	変更後
原 動 機	種	類	-		三相誘導電動機
	出	力	kW/個		200
	個	数	-		1
	取	付	箇		所

(注1) 本設備は既存の設備である。

(注2) 公称値

容量 (m <sup>3</sup> /h/個)			揚程 (m)		
工事計画 記載値	許容値 <sup>※2</sup>	測定値	工事計画 記載値	許容値 <sup>※2</sup>	測定値
64.8 以上 (64.8 <sup>※1</sup> )	64.8 以上	70.1	58 以上 (73.8 <sup>※1</sup> )	58 以上	75
<p>備考</p> <p>※1 : 公称値</p> <p>※2 : 許容値は工事計画による。</p>					

関西電力株式会社  
高浜発電所第1号機

発電用原子炉に燃料体を挿入することが  
できる状態になった時に係る  
使用前検査成績書

施設名 : その他発電用原子炉の附属施設

系統名 : 火災防護設備

消火設備

主配管 (常設)

要領書番号 : 原規規収第 1610071 号 1-29-2

令和2年12月

原子力規制委員会



使用前検査成績書

- 1 発電所名 関西電力株式会社 高浜発電所第1号機
- 2 検査の種類 発電用原子炉に燃料体を挿入することができる状態になった時に係る  
使用前検査
- 3 検査申請 使用前検査申請番号  
関原発第299号(平成28年10月7日) 関原発第478号(2020年1月23日)  
関原発第434号(平成30年3月20日) 関原発第510号(2020年1月31日)  
関原発第46号(平成30年4月20日) 関原発第542号(2020年2月26日)  
関原発第202号(平成30年7月4日) 関原発第609号(2020年3月24日)  
関原発第259号(平成30年8月20日) 関原発第20号(2020年4月7日)  
関原発第415号(平成30年12月5日) 関原発第236号(2020年8月21日)  
関原発第504号(平成31年2月1日)  
関原発第512号(平成31年2月6日)  
関原発第582号(平成31年3月18日)  
関原発第3号(平成31年4月4日)  
関原発第68号(2019年5月16日)  
関原発第115号(2019年6月24日)  
関原発第204号(2019年8月23日)
- 4 検査期日 自平成31年3月26日  
至令和2年12月16日
- 5 検査場所 関西電力株式会社 高浜発電所  
福井県大飯郡高浜町田ノ浦
- 6 検査範囲 高浜発電所第1号機  
発電用原子炉施設  
その他発電用原子炉の附属施設  
火災防護設備  
消火設備  
主配管(常設) 一式
- 7 検査結果 検査実施者及び検査結果一覧表のとおり

## 検査実施者及び検査結果一覧表

検査項目	検査結果	原子力施設検査官	検査立会責任者
系統機能検査 通水検査	良	平成31年3月26日	平成31年3月26日
		前田 周 平川 圭	ポラ--9-セン 主任技術者

8 特記事項


なし

9 添付資料

使用前検査記録

- 1 検査前確認事項
- 2 通水検査記録

## 検査実施者及び検査結果一覧表

検査項目	検査結果	原子力施設検査官	検査立会責任者
系統機能検査 通水検査	良	令和2年12月16日	令和2年12月16日
		須貝 実 印	杉本 一之丞 主任技術者  印

8 特記事項

なし

9 添付資料

使用前検査記録

- 1 検査前確認事項
- 2 通水検査記録

## 高浜発電所第1号機 使用前検査記録

## 検査前確認事項

## 共通事項

## 使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	平成31年 3月26日	良	使用前検査成績書の「3 検査申請」に申請番号（変更申請番号を含む。）を記載する。
		令和2年 12月16日	良	
		年 月 日		
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであることを確認する。	記録確認	平成31年 3月26日	良	
		令和2年 12月16日	良	
		年 月 日		
工事計画の認可番号の記載が適切であることを確認する。	記録確認	平成31年 3月26日	良	
		令和2年 12月16日	良	
		年 月 日		

高浜発電所第1号機 使用前検査記録

検査前確認事項

系統機能検査

通水検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	平成31年 3月26日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	平成31年 3月26日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		
系統構成が完了していること。	立会 記録確認	平成31年 3月26日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		

## 高浜発電所第1号機 使用前検査記録

## 検査前確認事項

系統機能検査

通水検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	令和2年 12月16日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	令和2年 12月16日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		
系統構成が完了していること。	立会/ 記録確認	令和2年 12月16日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		

高浜発電所第1号機			
<b>通水検査記録</b>			
検査場所：関西電力株式会社 高浜発電所			
検査範囲：その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備 消火設備 主配管（常設）：一式			
判定基準：異常なく通水できること。			
検査対象	検査年月日	検査結果	検査方法
弁(1V-6913C)～格納容器内第1分岐点	年 月 日		目視/ 記録確認
A、B 淡水タンク～No.1 電動消火ポンプ、No.1 ディーゼル消火ポンプ (1・2号機共用)	平成31年 3月26日	良*	(目視) 記録確認**
No.1 電動消火ポンプ、No.1 ディーゼル消火ポンプ～1号機、2号機 火災区画供給ライン分岐点(1・2号機共用)	平成31年 3月26日	良*	(目視) 記録確認**
1号機、2号機火災区画供給ライン分岐点～A、B 消火水バックアップ 供給ライン消火水配管合流点	平成31年 3月26日	良*	(目視) 記録確認
アニュラス供給ライン分岐点～アニュラス内第1分岐点	年 月 日		目視/ 記録確認
格納容器供給ライン分岐点～弁(1V-6913A)	年 月 日		目視/ 記録確認
No.1～No.4 消火水バックアップタンク～A、B 消火水バックアップポンプ (1・2号機共用)	年 月 日		目視/ 記録確認
A、B 消火水バックアップポンプ～A、B 消火水バックアップ供給ライン消 火水配管合流点(1・2号機共用)	年 月 日		目視/ 記録確認
備 考			
・記録確認は、申請者の品質記録(※)による。 ※：適合性確認検査成績書の識別番号：T1-3-0402(その2) *：別紙1の図示範囲について確認 **：別紙1参照			

高浜発電所第1号機			
通水検査記録			
検査場所：関西電力株式会社 高浜発電所			
検査範囲：その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備 消火設備 主配管（常設）：一式			
判定基準：異常なく通水できること。			
検査対象	検査年月日	検査結果	検査方法
弁 (IV-6913C) ~ 格納容器内第1分岐点	令和2年 12月16日	良	目視/ 記録確認 *2
A、B 淡水タンク ~ No.1 電動消火ポンプ、No.1 デイゼル消火ポンプ (1・2号機共用)	令和2年 12月16日	良	目視/ 記録確認 *1
No.1 電動消火ポンプ、No.1 デイゼル消火ポンプ ~ 1号機、2号 機火災区画供給ライン分岐点 (1・2号機共用)	令和2年 12月16日	良	目視/ 記録確認 *1
1号機、2号機火災区画供給ライン分岐点 ~ A、B 消火水バックア ップ供給ライン消火水配管合流点	令和2年 12月16日	良	目視/ 記録確認 *1 *2
アニュラス供給ライン分岐点 ~ アニュラス内第1分岐点	令和2年 12月16日	良	目視/ 記録確認 *2
格納容器供給ライン分岐点 ~ 弁 (IV-6913A)	令和2年 12月16日	良	目視/ 記録確認 *2
No.1~No.4 消火水バックアップタンク ~ A、B 消火水バックアップポン プ (1・2号機共用)	令和2年 12月16日	良	目視/ 記録確認 *2
A、B 消火水バックアップポンプ ~ A、B 消火水バックアップ供給ライン消 火水配管合流点 (1・2号機共用)	令和2年 12月16日	良	目視/ 記録確認 *2
備 考			
・記録確認は、申請者の品質記録（※）による。			
※：適合性確認検査成績書の識別番号：T1-3-0205(ㄨの2)、T1-3-0411、T1-3-0414(ㄨの2) T1-3-0207(ㄨの2)、T1-3-0201(ㄨの2)、T1-3-0206(ㄨの2)			
*1：別紙1の図示範囲以外について確認			
*2：別紙2の図示範囲について確認			



検査範囲図 (配管図 1/4)

その他発電原子炉の附属施設  
(火災防護設備に係る機器の  
配置を明示した図面  
(消火設備) (1/15))



検査範囲図 (配管図 2/4)

その他発電用原子炉の附属施設  
(火災防護設備)に係る機器の  
配置を明示した図面  
(消火設備) (2/15)

別紙1-2

検査範囲図 (配管図 3/4)  
その他発電用原子炉の附属施設  
(火災防護設備)に係る機器の  
配置を明示した図面  
(消火設備) (3/15)



検査範囲図 (配管図 4/4)

その他発電用原子炉の附属施設  
(火災防護設備)に係る機器の  
配置を示した図面  
(消火設備) (4/15)

13

工事計画認可申請 第10-1-46図

高浜発電所第1号機

その他発電用原子炉の附属施設  
(火災防護設備)に係る機器の  
配置を明示した図面  
(消火設備)(5/15)

関西電力株式会社

別紙2-1

14

工事計画認可申請	第10-1-47図
高浜発電所第1号機	
その他発電用原子炉の附属施設 (火災防護設備)に係る機器の 配置を明示した図面 (消火設備)(6/15)	
関西電力株式会社	

81802-2

15

工事計画認可申請	第10-1-48図
高浜発電所第1号機	
その他発電用原子炉の附属施設 (火災防護設備)に係る機器の 配置を明示した図面 (消火設備) (7/15)	
関西電力株式会社	

別添2-3

16



工事計画認可申請	第10-1-49図
高浜発電所第1号機	
その他発電用原子炉の附属施設 (火災防護設備)に係る機器の 配置を明示した図面 (消火設備)(8/15)	
関西電力株式会社	

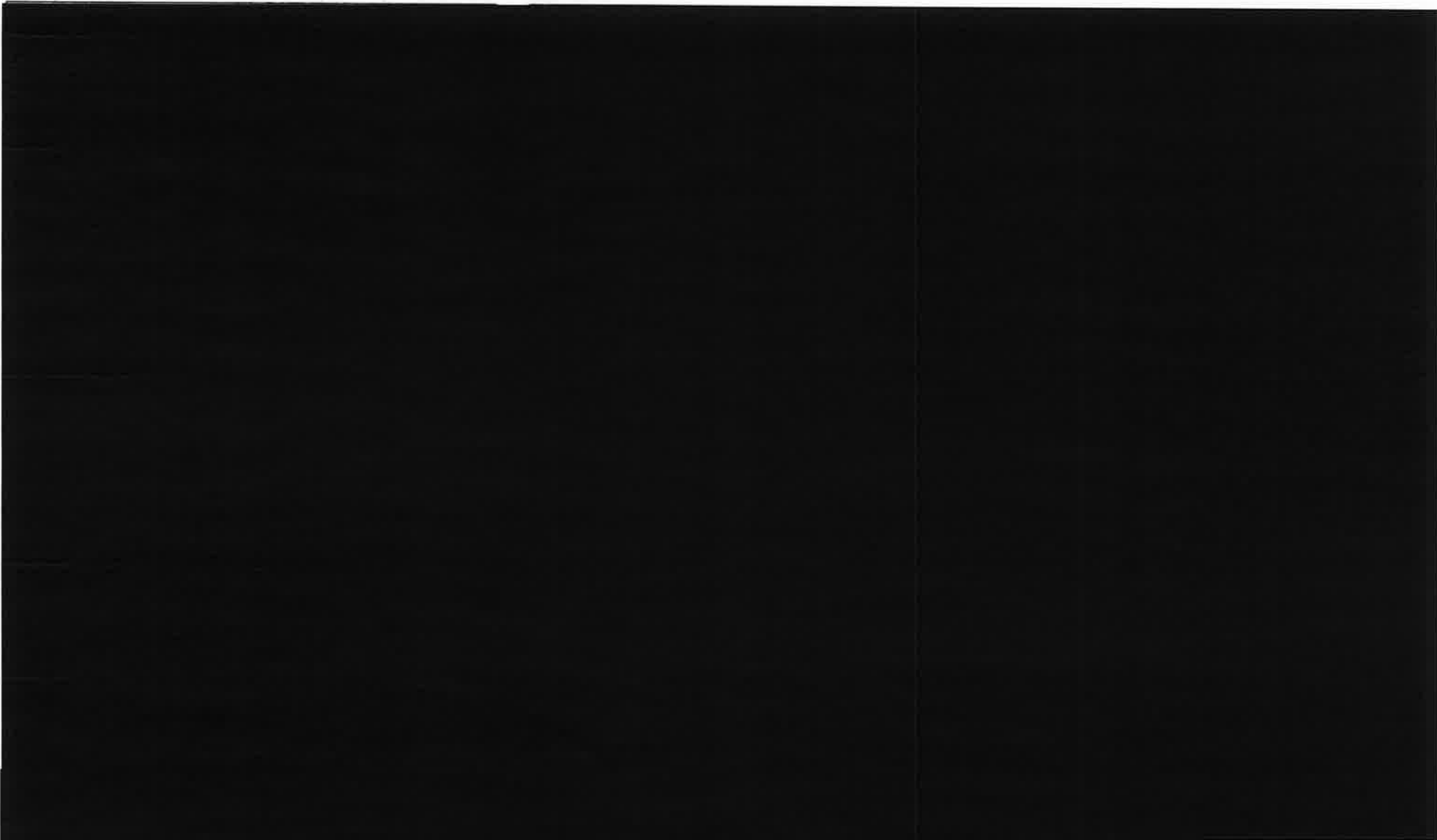
別紙2-4



工事計画認可申請	第10-1-50図
高浜発電所 第1号機	
その他発電用原子炉の附属施設 (火災防護設備)に係る機器の 配置を明示した図面 (消火設備)(9/15)	
関西電力株式会社	



18



工事計画認可申請	第10-1-51図
高 浜 発 電 所 第 1 号 機	
その他発電用原子炉の附属施設 (火災防護設備)に係る機器の 配置を明示した図面 (消火設備)(10/15)	
関西電力株式会社	

別紙2-6

工事計画認可申請	第10-1-52図
高圧発電所第1号機	
その他発電用原子炉の附属施設 (火災防護設備)に係る線路の 配置を明示した図面 (消火設備)(1/16)	
関西電力株式会社	



工事計画認可申請	第10-1-53図
高浜発電所第1号機	
その他発電用原子炉の附属施設 (火災防護設備)に係る機器の 配置を明示した図面 (消火設備)(12/15)	
関西電力株式会社	

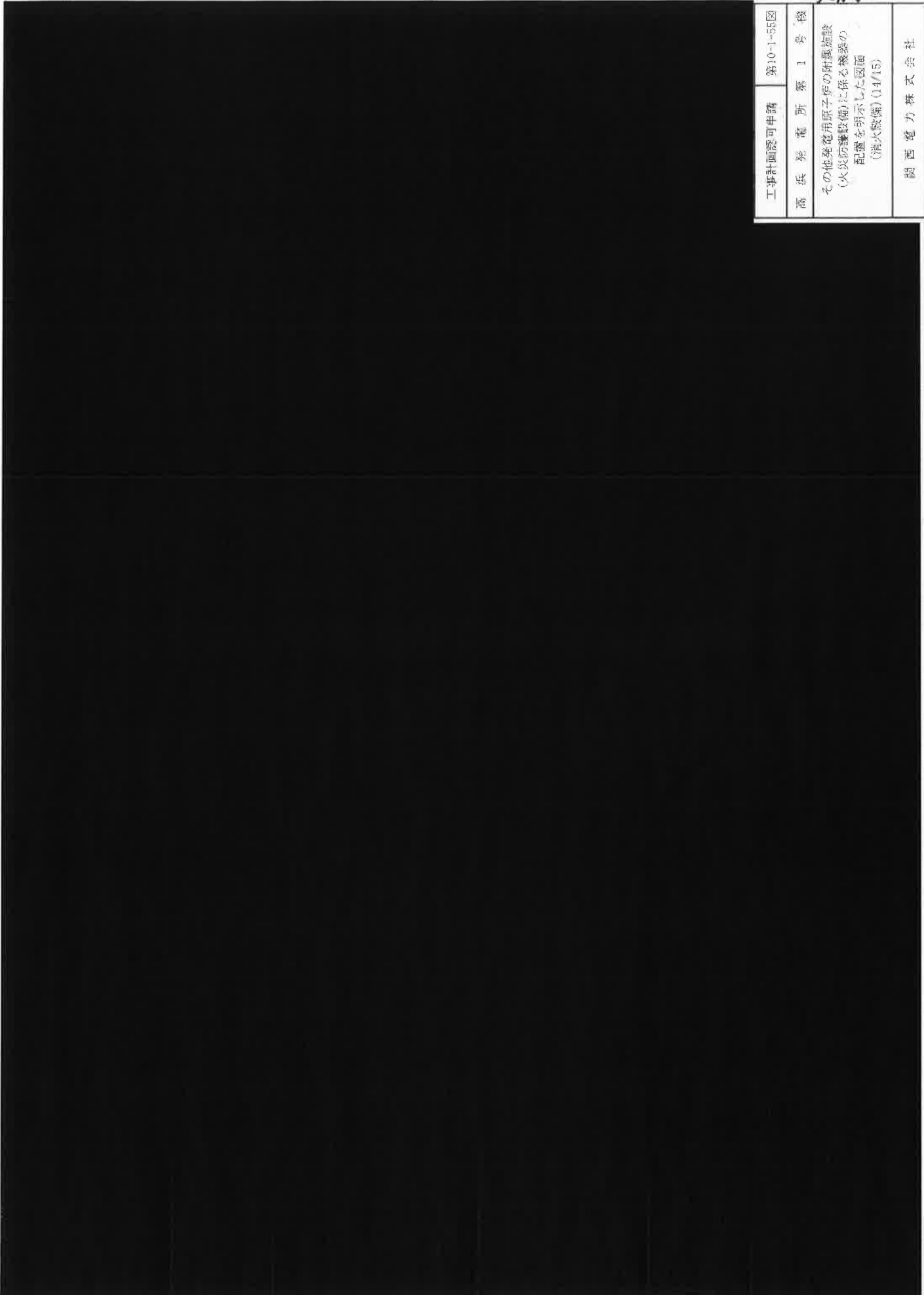
別紙2-8

21

工事計画認可申請	第10-1-54図
高 浜 発 電 所 第 1 号 機	
その他発電用原子炉の附属施設 (火災防護設備)に係る機器の 配置を明示した図面 (消火設備)(13/15)	
関西電力株式会社	

別紙2-9

工事計画認可申請	第10-1-55図
高 圧 電 力 第 1 号 機	
その他発電用原子炉の附属施設 (火災防護設備)に係る機器の 配置を明示した図面 (消火設備)(14/15)	
関西電力株式会社	



23/E

工事計画認可申請	第10-1-56図
高浜発電所第1号機	
その他発電用原子炉の附属施設 (火災防護設備)に係る機器の 配置を明示した図面 (消火設備) (15/15)	
関西電力株式会社	

別紙2-11

関西電力株式会社  
高浜発電所第1号機

発電用原子炉に燃料体を挿入することが  
できる状態になった時に係る  
使用前検査成績書

施設名 : その他発電用原子炉の附属施設

系統名 : 浸水防護施設

外郭浸水防護設備

循環水ポンプ室浸水防止蓋

海水ポンプ室浸水防止蓋

要領書番号 : 原規規収第 1610071 号 1-30

令和元年 8 月

原子力規制委員会



使用前検査成績書

- 1 発電所名 関西電力株式会社 高浜発電所第1号機
- 2 検査の種類 発電用原子炉に燃料体を挿入することができる状態になった時に係る  
使用前検査

- 3 検査申請 使用前検査申請番号
- 関原発第299号(平成28年10月7日)
  - 関原発第434号(平成30年3月20日)
  - 関原発第46号(平成30年4月20日)
  - 関原発第202号(平成30年7月4日)
  - 関原発第259号(平成30年8月20日)
  - 関原発第415号(平成30年12月5日)
  - 関原発第504号(平成31年2月1日)
  - 関原発第512号(平成31年2月6日)
  - 関原発第582号(平成31年3月18日)
  - 関原発第3号(平成31年4月4日)
  - 関原発第68号(令和元年5月16日)
  - 関原発第115号(令和元年6月24日)

- 4 検査期日 自 令和元年5月29日  
至 令和元年8月8日

- 5 検査場所 関西電力株式会社 高浜発電所  
福井県大飯郡高浜町田ノ浦

6 検査範囲 高浜発電所第1号機  
発電用原子炉施設  
その他発電用原子炉の附属施設  
浸水防護施設  
外郭浸水防護設備  
循環水ポンプ室浸水防止蓋 5個  
海水ポンプ室浸水防止蓋 14個

7 検査結果 検査実施者及び検査結果一覧表のとおり

## 検査実施者及び検査結果一覧表

検査項目	検査結果	原子力施設検査官	検査立会責任者
性能検査 材料検査 寸法検査 外観検査 組立て及び据付け状態を確認する検査	良	令和元年5月29日	令和元年5月29日
		上田 洋 環境技官 河田 拓也	ポイラー・タービン主任技術者 <div style="background-color: black; height: 20px; width: 100%;"></div>

8 特記事項

なし

9 添付資料

使用前検査記録

- 1 検査前確認事項
- 2 性能検査記録
  - (1) 材料検査
  - (2) 寸法検査
  - (3) 外観検査
  - ~~(4) 組立て及び据付け状態を確認する検査~~
- 3 検査用計器一覧表

### 検査実施者及び検査結果一覧表

検査項目	検査結果	原子力施設検査官	検査立会責任者
性能検査 材料検査 寸法検査 外観検査 組立て及び据付け状態を確認する検査	良	令和元年8月8日	令和元年8月8日
		須貝 実 環境技官 増本 豊	ポイラー-タービン 主任技術者

8 特記事項

なし

9 添付資料

使用前検査記録

- 1 検査前確認事項
- 2 性能検査記録
  - ~~(1) 材料検査~~
  - (2) 寸法検査
  - (3) 外観検査
  - (4) 組立て及び据付け状態を確認する検査
- ~~3 検査用計器一覧表~~

## 高浜発電所第1号機 使用前検査記録

## 検査前確認事項

## 共通事項

## 使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	令和元年 5月29日	良	使用前検査成績書の「3 検査申請」に申請番号（変更申請番号を含む。）を記載する。
		令和元年 8月8日	良	
		年 月 日		
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	令和元年 5月29日	良	
		令和元年 8月8日	良	
		年 月 日		
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	令和元年 5月29日	良	
		令和元年 8月8日	良	
		年 月 日		

## 高浜発電所第 1 号機 使用前検査記録

## 検査前確認事項

性能検査

材料検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	令和元年 5月29日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	令和元年 5月29日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		

## 高浜発電所第 1 号機 使用前検査記録

### 検査前確認事項

性能検査

寸法検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	令和元年 5月29日	良	
		令和元年 8月8日	良	
		年 月 日		
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	令和元年 5月29日	良	
		令和元年 8月8日	良	
		年 月 日		
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	令和元年 5月29日	良	
		令和元年 8月8日	良	
		年 月 日		

## 高浜発電所第1号機 使用前検査記録

## 検査前確認事項

性能検査

外観検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	令和元年 5月29日	良	
		令和元年 8月8日	良	
		年 月 日		
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	令和元年 5月29日	良	
		令和元年 8月8日	良	
		年 月 日		



## 高浜発電所第 1 号機 使用前検査記録

## 検査前確認事項

## 性能検査

組立て及び据付け状態を確認する検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	令和元年 8月8日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	令和元年 8月8日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		

高浜発電所第1号機				
性能検査記録 (材料検査)				
検査場所：関西電力株式会社 高浜発電所				
検査範囲：その他発電用原子炉の附属施設 浸水防護施設 外郭浸水防護設備 循環水ポンプ室浸水防止蓋：5個 海水ポンプ室浸水防止蓋：14個				
判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。				
検査対象	材料	検査年月日	検査結果	検査方法
循環水ポンプ室浸水防止蓋	SUS316	令和元年 5月29日	良	記録確認
海水ポンプ室浸水防止蓋	SUS316	令和元年 5月29日	良	
備考 ・記録確認は、申請者の品質記録(※)による。 ※：適合性確認検査成績書の識別番号：T1-3-0404				

高浜発電所第1号機

## 性能検査記録 (寸法検査)

検査場所：関西電力株式会社 高浜発電所

検査範囲：その他発電用原子炉の附属施設

浸水防護施設

外郭浸水防護設備

循環水ポンプ室浸水防止蓋：5個

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

検査対象		主要寸法 (mm)	許容値 <sup>※1</sup> (mm)	測定値 (mm)	検査年月日	検査 結果	検査方法
循環水ポンプ室 浸水防止蓋1	たて	290 <sup>※2</sup>	288.8 ~ 291.2	289.70 ~ 290.30	令和元年 8月8日	良	目視 / 記録確認
	横	340 <sup>※2</sup>	338.8 ~ 341.2	339.65 ~ 340.00	令和元年 8月8日	良	目視 / 記録確認
	厚さ	19.5 (20 <sup>※2</sup> )	19.5 ~ 20.5	20.44 ~ 20.48	令和元年 8月8日	良	目視 / 記録確認
循環水ポンプ室 浸水防止蓋2	たて	290 <sup>※2</sup>	288.8 ~ 291.2	290.15 ~ 290.30	令和元年 8月8日	良	目視 / 記録確認
	横	1460 <sup>※2</sup>	1457 ~ 1463	1460 ~ 1460	令和元年 8月8日	良	目視 / 記録確認
	厚さ	21.5 (22 <sup>※2</sup> )	21.5 ~ 22.5	21.77 ~ 21.92	令和元年 8月8日	良	目視 / 記録確認

## 備 考

※1：許容値は工事計画による。

※2：公称値

・記録確認は、申請者の品質記録（※3）による。

※3：適合性確認検査成績書の識別番号：T1-3-0404

高浜発電所第1号機							
性能検査記録 (寸法検査)							
検査場所：関西電力株式会社 高浜発電所							
検査範囲：その他発電用原子炉の附属施設 浸水防護施設 外郭浸水防護設備 循環水ポンプ室浸水防止蓋：5個							
判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。							
検査対象		主要寸法 (mm)	許容値 <sup>※1</sup> (mm)	測定値 (mm)	検査年月日	検査 結果	検査方法
循環水ポンプ室 浸水防止蓋3	たて	290 <sup>※2</sup>	288.8 ～ 291.2	290.20 ~ 290.35	令和元年 8月8日	良	目視 / 記録確認
	横	1460 <sup>※2</sup>	1457 ～ 1463	1460 ~ 1461	令和元年 8月8日	良	目視 / 記録確認
	厚さ	21.5 (22 <sup>※2</sup> )	21.5 ～ 22.5	21.78 ~ 21.92	令和元年 8月8日	良	目視 / 記録確認
循環水ポンプ室 浸水防止蓋4	たて	290 <sup>※2</sup>	288.8 ～ 291.2	289.80 ~ 289.85	令和元年 8月8日	良	目視 / 記録確認
	横	340 <sup>※2</sup>	338.8 ～ 341.2	339.85 ~ 340.00	令和元年 8月8日	良	目視 / 記録確認
	厚さ	19.5 (20 <sup>※2</sup> )	19.5 ～ 20.5	20.43 ~ 20.47	令和元年 8月8日	良	目視 / 記録確認
備 考							
※1：許容値は工事計画による。							
※2：公称値							
・記録確認は、申請者の品質記録（※3）による。							
※3：適合性確認検査成績書の識別番号：T1-3-0404							

高浜発電所第1号機							
性能検査記録 (寸法検査)							
検査場所：関西電力株式会社 高浜発電所							
検査範囲：その他発電用原子炉の附属施設 浸水防護施設 外郭浸水防護設備 循環水ポンプ室浸水防止蓋：5個							
判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。							
検査対象		主要寸法 (mm)	許容値 <sup>※1</sup> (mm)	測定値 (mm)	検査年月日	検査 結果	検査方法
循環水ポンプ室 浸水防止蓋5	たて	290 <sup>※2</sup>	288.8 ～ 291.2	289.75～290.05	令和元年 5月29日	良	(目視) / 記録確認
	横	340 <sup>※2</sup>	338.8 ～ 341.2	339.75～339.95	令和元年 5月29日	良	(目視) / 記録確認
	厚さ	19.5 (20 <sup>※2</sup> )	19.5 ～ 20.5	20.26～20.46	令和元年 5月29日	良	(目視) / 記録確認
備 考							
※1：許容値は工事計画による。							
※2：公称値							
※3：記録確認は、申請者の品質記録（※3）による。							
※3：適合性確認検査成績書の識別番号：							

高浜発電所第1号機						
性能検査記録 (寸法検査)						
検査場所：関西電力株式会社 高浜発電所						
検査範囲：その他発電用原子炉の附属施設 浸水防護施設 外郭浸水防護設備 海水ポンプ室浸水防止蓋 : 14個						
判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。						
検査対象	主要寸法 (mm)	許容値*1 (mm)	測定値 (mm)	検査年月日	検査 結果	検査方法
海水ポンプ室 浸水防止蓋1	外径	600*2	598 ~ 602	599.85 ~ 599.85	令和元 年 8月8日	良  目視 / 記録確認
	厚さ	17.5 (18*2)	17.5 ~ 18.5	18.37 ~ 18.43	令和元 年 8月8日	良  目視 / 記録確認
海水ポンプ室 浸水防止蓋2	外径	600*2	598 ~ 602	599.95 ~ 599.95	令和元 年 8月8日	良  目視 / 記録確認
	厚さ	17.5 (18*2)	17.5 ~ 18.5	18.27 ~ 18.41	令和元 年 8月8日	良  目視 / 記録確認
海水ポンプ室 浸水防止蓋3	外径	600*2	598 ~ 602	599.75 ~ 600.10	令和元 年 8月8日	良  目視 / 記録確認
	厚さ	17.5 (18*2)	17.5 ~ 18.5	18.41 ~ 18.48	令和元 年 8月8日	良  目視 / 記録確認
備 考						
※1：許容値は工事計画による。						
※2：公称値						
・記録確認は、申請者の品質記録（※3）による。						
※3：適合性確認検査成績書の識別番号：T1-3-0404						

高浜発電所第1号機

### 性能検査記録 (寸法検査)

検査場所：関西電力株式会社 高浜発電所

検査範囲：その他発電用原子炉の附属施設

浸水防護施設

外郭浸水防護設備

海水ポンプ室浸水防止蓋：14個

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

検査対象		主要寸法 (mm)	許容値*1 (mm)	測定値 (mm)	検査年月日	検査 結果	検査方法
海水ポンプ室 浸水防止蓋4	外径	660*2	658 ~ 662	659.95 ~ 660.00	令和元年 5月29日	良	目視 / 記録確認
	厚さ	17.5 (18*2)	17.5 ~ 18.5	18.38 ~ 18.44	令和元年 5月29日	良	目視 / 記録確認
海水ポンプ室 浸水防止蓋5	外径	640*2	638 ~ 642	639.75 ~ 639.95	令和元年 8月8日	良	目視 / 記録確認
	厚さ	17.5 (18*2)	17.5 ~ 18.5	18.42 ~ 18.45	令和元年 8月8日	良	目視 / 記録確認
海水ポンプ室 浸水防止蓋6	外径	960*2	958 ~ 962	960.20 ~ 960.30	令和元年 8月8日	良	目視 / 記録確認
	厚さ	14.5 (15*2)	14.5 ~ 15.5	15.36 ~ 15.44	令和元年 8月8日	良	目視 / 記録確認

## 備 考

※1：許容値は工事計画による。

※2：公称値

・記録確認は、申請者の品質記録（※3）による。

※3：適合性確認検査成績書の識別番号：T1-3-0404

高浜発電所第1号機							
性能検査記録 (寸法検査)							
検査場所：関西電力株式会社 高浜発電所							
検査範囲：その他発電用原子炉の附属施設 浸水防護施設 外郭浸水防護設備 海水ポンプ室浸水防止蓋：14個							
判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。							
検査対象		主要寸法 (mm)	許容値 <sup>※1</sup> (mm)	測定値 (mm)	検査年月日	検査 結果	検査方法
海水ポンプ室 浸水防止蓋7	たて	815 <sup>※2</sup>	813 ~ 817	815.10 ~ 815.40	令和元年 8月8日	良	目視 / 記録確認
	横	3735 <sup>※2</sup>	3731 ~ 3739	3732 ~ 3732	令和元年 8月8日	良	目視 / 記録確認
	厚さ	15.5 (16 <sup>※2</sup> )	15.5 ~ 16.5	16.17 ~ 16.43	令和元年 8月8日	良	目視 / 記録確認
海水ポンプ室 浸水防止蓋8	たて	820 <sup>※2</sup>	818 ~ 822	820.45 ~ 820.50	令和元年 5月29日	良	目視 / 記録確認
	横	1410 <sup>※2</sup>	1407 ~ 1413	1411 ~ 1411	令和元年 5月29日	良	目視 / 記録確認
	厚さ	15.5 (16 <sup>※2</sup> )	15.5 ~ 16.5	16.26 ~ 16.45	令和元年 5月29日	良	目視 / 記録確認
備 考							
※1：許容値は工事計画による。							
※2：公称値							
・記録確認は、申請者の品質記録（※3）による。							
※3：適合性確認検査成績書の識別番号：T1-3-0404							



高浜発電所第1号機

### 性能検査記録 (寸法検査)

検査場所：関西電力株式会社 高浜発電所

検査範囲：その他発電用原子炉の附属施設

浸水防護施設

外郭浸水防護設備

海水ポンプ室浸水防止蓋 : 14個

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

検査対象		主要寸法 (mm)	許容値 <sup>※1</sup> (mm)	測定値 (mm)	検査年月日	検査 結果	検査方法
海水ポンプ室 浸水防止蓋 9	たて	810 <sup>※2</sup>	808 ~ 812	810.00 ~ 810.80	令和元 年 8月8日	良	目視 / 記録確認
	横	3700 <sup>※2</sup>	3696 ~ 3704	3699 ~ 3699	令和元 年 8月8日	良	目視 / 記録確認
	厚さ	15.5 (16 <sup>※2</sup> )	15.5 ~ 16.5	16.20 ~ 16.42	令和元 年 8月8日	良	目視 / 記録確認
海水ポンプ室 浸水防止蓋 10	たて	820 <sup>※2</sup>	818 ~ 822	819.80 ~ 820.30	令和元 年 8月8日	良	目視 / 記録確認
	横	3710 <sup>※2</sup>	3706 ~ 3714	3708 ~ 3708	令和元 年 8月8日	良	目視 / 記録確認
	厚さ	15.5 (16 <sup>※2</sup> )	15.5 ~ 16.5	16.40 ~ 16.47	令和元 年 8月8日	良	目視 / 記録確認

備考

※1：許容値は工事計画による。

※2：公称値

・記録確認は、申請者の品質記録（※3）による。

※3：適合性確認検査成績書の識別番号：T1-3-0404

高浜発電所第1号機							
性能検査記録 (寸法検査)							
検査場所：関西電力株式会社 高浜発電所							
検査範囲：その他発電用原子炉の附属施設 浸水防護施設 外郭浸水防護設備 海水ポンプ室浸水防止蓋 : 14個							
判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。							
検査対象	主要寸法 (mm)	許容値 <sup>※1</sup> (mm)	測定値 (mm)	検査年月日	検査 結果	検査方法	
海水ポンプ室 浸水防止蓋 11	たて	310 <sup>※2</sup>	308.8 ~ 311.2	310.05 ~ 310.10	令和元年 5月29日	良	目視 / 記録確認
	横	310 <sup>※2</sup>	308.8 ~ 311.2	310.05 ~ 310.50	令和元年 5月29日	良	目視 / 記録確認
	厚さ	11.5 (12 <sup>※2</sup> )	11.5 ~ 12.5	12.18 ~ 12.26	令和元年 5月29日	良	目視 / 記録確認
海水ポンプ室 浸水防止蓋 12	たて	310 <sup>※2</sup>	308.8 ~ 311.2	309.95 ~ 309.95	令和元年 8月8日	良	目視 / 記録確認
	横	310 <sup>※2</sup>	308.8 ~ 311.2	309.75 ~ 309.80	令和元年 8月8日	良	目視 / 記録確認
	厚さ	11.5 (12 <sup>※2</sup> )	11.5 ~ 12.5	12.30 ~ 12.34	令和元年 8月8日	良	目視 / 記録確認
備 考							
※1：許容値は工事計画による。							
※2：公称値							
・記録確認は、申請者の品質記録（※3）による。							
※3：適合性確認検査成績書の識別番号：T1-3-0404							

高浜発電所第1号機

## 性能検査記録 (寸法検査)

検査場所：関西電力株式会社 高浜発電所

検査範囲：その他発電用原子炉の附属施設

浸水防護施設

外郭浸水防護設備

海水ポンプ室浸水防止蓋 : 14個

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

検査対象		主要寸法 (mm)	許容値 <sup>※1</sup> (mm)	測定値 (mm)	検査年月日	検査 結果	検査方法
海水ポンプ室 浸水防止蓋 13	たて	350 <sup>※2</sup>	348.8 ~ 351.2	349.85 ~ 349.90	令和元年 8月8日	良	目視 / 記録確認
	横	310 <sup>※2</sup>	308.8 ~ 311.2	309.80 ~ 309.90	令和元年 8月8日	良	目視 / 記録確認
	厚さ	11.5 (12 <sup>※2</sup> )	11.5 ~ 12.5	12.30 ~ 12.34	令和元年 8月8日	良	目視 / 記録確認
海水ポンプ室 浸水防止蓋 14	たて	330 <sup>※2</sup>	328.8 ~ 331.2	329.80 ~ 330.10	令和元年 8月8日	良	目視 / 記録確認
	横	380 <sup>※2</sup>	378.8 ~ 381.2	380.00 ~ 380.05	令和元年 8月8日	良	目視 / 記録確認
	厚さ	11.5 (12 <sup>※2</sup> )	11.5 ~ 12.5	12.16 ~ 12.29	令和元年 8月8日	良	目視 / 記録確認

備考

※1：許容値は工事計画による。

※2：公称値

・記録確認は、申請者の品質記録（※3）による。

※3：適合性確認検査成績書の識別番号：T1-3-0404

高浜発電所第1号機			
性能検査記録 (外観検査)			
検査場所：関西電力株式会社 高浜発電所			
検査範囲：その他発電用原子炉の附属施設 浸水防護施設 外郭浸水防護設備 循環水ポンプ室浸水防止蓋：5個			
判定基準：有害な欠陥（表面に機能・性能に影響を及ぼすおそれのある傷、割れ、変形、腐食、浸食）がないこと。			
検査対象	検査年月日	検査結果	検査方法
循環水ポンプ室浸水防止蓋1	令和元年 8月8日	良	目視/ 記録確認
循環水ポンプ室浸水防止蓋2	令和元年 8月8日	良	目視/ 記録確認
循環水ポンプ室浸水防止蓋3	令和元年 8月8日	良	目視/ 記録確認
循環水ポンプ室浸水防止蓋4	令和元年 8月8日	良	目視/ 記録確認
循環水ポンプ室浸水防止蓋5	令和元年 5月29日	良	目視/ 記録確認
備 考			
・記録確認は、申請者の品質記録（※）による。			
※：適合性確認検査成績書の識別番号：T1-3-0404			

高浜発電所第1号機

## 性能検査記録 (外観検査)

検査場所：関西電力株式会社 高浜発電所

検査範囲：その他発電用原子炉の附属施設

浸水防護施設

外郭浸水防護設備

海水ポンプ室浸水防止蓋 : 14個

判定基準：有害な欠陥（表面に機能・性能に影響を及ぼすおそれのある傷、割れ、変形、腐食、浸食）がないこと。

検査対象	検査年月日	検査結果	検査方法
海水ポンプ室浸水防止蓋 1	令和元年 8月8日	良	目視/ 記録確認
海水ポンプ室浸水防止蓋 2	令和元年 8月8日	良	目視/ 記録確認
海水ポンプ室浸水防止蓋 3	令和元年 8月8日	良	目視/ 記録確認
海水ポンプ室浸水防止蓋 4	令和元年 5月29日	良	目視/ 記録確認
海水ポンプ室浸水防止蓋 5	令和元年 8月8日	良	目視/ 記録確認
海水ポンプ室浸水防止蓋 6	令和元年 8月8日	良	目視/ 記録確認
海水ポンプ室浸水防止蓋 7	令和元年 8月8日	良	目視/ 記録確認

備考

・記録確認は、申請者の品質記録（※）による。

※：適合性確認検査成績書の識別番号：T1-3-0404

高浜発電所第1号機			
性能検査記録 (外観検査)			
検査場所：関西電力株式会社 高浜発電所			
検査範囲：その他発電用原子炉の附属施設 浸水防護施設 外郭浸水防護設備 海水ポンプ室浸水防止蓋 : 14個			
判定基準：有害な欠陥（表面に機能・性能に影響を及ぼすおそれのある傷、割れ、変形、腐食、浸食）がないこと。			
検査対象	検査年月日	検査結果	検査方法
海水ポンプ室浸水防止蓋 8	令和元年 5月29日	良	目視/ 記録確認
海水ポンプ室浸水防止蓋 9	令和元年 8月8日	良	目視/ 記録確認
海水ポンプ室浸水防止蓋 10	令和元年 8月8日	良	目視/ 記録確認
海水ポンプ室浸水防止蓋 11	令和元年 5月29日	良	目視/ 記録確認
海水ポンプ室浸水防止蓋 12	令和元年 8月8日	良	目視/ 記録確認
海水ポンプ室浸水防止蓋 13	令和元年 8月8日	良	目視/ 記録確認
海水ポンプ室浸水防止蓋 14	令和元年 8月8日	良	目視/ 記録確認
備 考			
・記録確認は、申請者の品質記録（※）による。			
※：適合性確認検査成績書の識別番号：T1-3-0404			

高浜発電所第1号機

**性能検査記録**  
(組立て及び据付け状態を確認する検査)

検査場所：関西電力株式会社 高浜発電所

検査範囲：その他発電用原子炉の附属施設

浸水防護施設

外郭浸水防護設備

循環水ポンプ室浸水防止蓋：5個

判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。

検査対象	検査年月日	検査結果	検査方法
循環水ポンプ室浸水防止蓋 1	令和元年 8月8日	良	目視 記録確認
循環水ポンプ室浸水防止蓋 2	令和元年 8月8日	良	目視 記録確認
循環水ポンプ室浸水防止蓋 3	令和元年 8月8日	良	目視 記録確認
循環水ポンプ室浸水防止蓋 4	令和元年 8月8日	良	目視 記録確認
循環水ポンプ室浸水防止蓋 5	令和元年 8月8日	良	目視 記録確認

備考

~~記録確認は、申請者の品質記録（※）による。~~~~※：適合性確認検査成績書の識別番号。~~

高浜発電所第1号機

### 性能検査記録 (組立て及び据付け状態を確認する検査)

検査場所：関西電力株式会社 高浜発電所

検査範囲：その他発電用原子炉の附属施設

浸水防護施設

外郭浸水防護設備

海水ポンプ室浸水防止蓋 : 14個

判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。

検査対象	検査年月日	検査結果	検査方法
海水ポンプ室浸水防止蓋 1	令和元年 8月8日	良	目視 記録確認
海水ポンプ室浸水防止蓋 2	令和元年 8月8日	良	目視 記録確認
海水ポンプ室浸水防止蓋 3	令和元年 8月8日	良	目視 記録確認
海水ポンプ室浸水防止蓋 4	令和元年 8月8日	良	目視 記録確認
海水ポンプ室浸水防止蓋 5	令和元年 8月8日	良	目視 記録確認
海水ポンプ室浸水防止蓋 6	令和元年 8月8日	良	目視 記録確認
海水ポンプ室浸水防止蓋 7	令和元年 8月8日	良	目視 記録確認

備考

~~記録確認は、申請者の品質記録(※)による。~~~~※：適合性確認検査成績書の識別番号~~



高浜発電所第1号機

性能検査記録  
(組立て及び据付け状態を確認する検査)

検査場所：関西電力株式会社 高浜発電所

検査範囲：その他発電用原子炉の附属施設

浸水防護施設

外郭浸水防護設備

海水ポンプ室浸水防止蓋 : 14個

判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。

検査対象	検査年月日	検査結果	検査方法
海水ポンプ室浸水防止蓋 8	令和元年 8月8日	良	目視 記録確認
海水ポンプ室浸水防止蓋 9	令和元年 8月8日	良	目視 記録確認
海水ポンプ室浸水防止蓋 10	令和元年 8月8日	良	目視 記録確認
海水ポンプ室浸水防止蓋 11	令和元年 8月8日	良	目視 記録確認
海水ポンプ室浸水防止蓋 12	令和元年 8月8日	良	目視 記録確認
海水ポンプ室浸水防止蓋 13	令和元年 8月8日	良	目視 記録確認
海水ポンプ室浸水防止蓋 14	令和元年 8月8日	良	目視 記録確認

備考

~~記録確認は、申請者の品質記録(※)による。~~~~※ 適合性確認検査成績書の識別番号~~

## 高浜発電所第 1 号機 使用前検査記録

## 検査用計器一覧表

検査年月日：令和元年 5月29日

検査項目	検査用計器	管理番号	測定範囲	測定精度	校正年月日 有効期限	備考
性能検査 (寸法検査)	ノギス	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	2017. 8. 21	
	コンベックス				2019. 8. 20	
					2018. 8. 22	
マイクロメータ	2020. 8. 21	2017. 10. 3	2019. 10. 2			

関西電力株式会社  
高浜発電所第1号機  
使用前検査成績書

要領書番号：原規規収第1610071号99

成績書管理番号：1-31

令和3年 / 月

原子力規制委員会

## 使用前検査成績書

成績書管理番号：1-31

- 1 発電所名 関西電力株式会社高浜発電所第1号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和2年10月22日  
至 令和3年1月12日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録


## 検査申請一覧表

検査申請書番号 (申請年月日)	関原発第299号(平成28年10月7日) 関原発第434号(平成30年3月20日) 関原発第46号(平成30年4月20日) 関原発第202号(平成30年7月4日) 関原発第259号(平成30年8月20日) 関原発第415号(平成30年12月5日) 関原発第504号(平成31年2月1日) 関原発第512号(平成31年2月6日) 関原発第582号(平成31年3月18日) 関原発第3号(平成31年4月4日) 関原発第68号(2019年5月16日) 関原発第115号(2019年6月24日) 関原発第204号(2019年8月23日) 関原発第478号(2020年1月23日) 関原発第510号(2020年1月31日) 関原発第542号(2020年2月26日) 関原発第609号(2020年3月24日) 関原発第20号(2020年4月7日) 関原発第236号(2020年8月21日)
--------------------	--

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

# 検査結果一覧表

成績書管理番号：1-31

検査年月日	検査結果	原子力検査官	検査立会責任者	特記事項
令和2年 10月22日	良	荒谷 徹	役員用原.子.力.主任技術者 	なし

関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録  
共通事項

成績書管理番号：1-31

検査年月日：令和2年10月22日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

## 検査前確認事項

## 使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・—	

## 関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-31

検査年月日：令和2年 10月 22日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

## 検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	良・—	
系統構成が完了していること。	立会/ 記録確認	良・⊖	



関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録  
(三号検査)

成績書管理番号：1-31

検査年月日：令和2年 10月 22日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

## 検査結果

検査対象			
・その他発電用原子炉の附属施設 浸水防護施設 内郭浸水防護設備 防水区画構造物			
別添1参照			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
性能検査 ・材料検査 ・寸法検査 ・外観検査 ・組立て及び据付け状態を確認する検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 記録確認
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録(※)による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：T1-3-1307  ・目視で確認した範囲：			

工事計画本文(原規規発第1606104号(平成28年6月10日認可))  
 その他発電用原子炉の附属施設

5 浸水防護施設

2 内部浸水防護設備に係る次の事項

(1) 防水区画構造物の名称、種類、主要寸法、材料及び取付箇所

			変更前	変更後
名 称				中間建屋管理区域外伝播防止壁(No.1)
種	類	-		壁
主要寸法 材料	高 さい	mm		450 以上 (注1)
	壁	-		鉄筋コンクリート
取付箇所	系 統 名 (ライン名)	-		
	設 置 床	-		
	浸水防護上の 区画番号	-		
	浸水防護上の 配慮が必要な高さ	-		

(注1) E.L. ■■■■■からの高さ

			変更前	変更後
名 称				中間建屋管理区域外伝播防止壁(No.4)
種	類	-		壁
主要寸法 材料	高 さい	mm		350 以上 (注1)
	壁	-		鉄筋コンクリート
取付箇所	系 統 名 (ライン名)	-		
	設 置 床	-		
	浸水防護上の 区画番号	-		
	浸水防護上の 配慮が必要な高さ	-		

(注1) E.L. ■■■■■からの高さ

名称			変更前	変更後
種 類				中間遊園管理区域外伝播防止堰 (No. 6)
種 類				堰
主要寸法	高 さ	mm		300 以上 (H1)
材料	堰			鉄筋コンクリート
取付箇所	系 統 名 (ライン名)			
	設 置 床			
	溢水防護上の号			
	溢水防護上の号 配慮が必要な高さ			

(注) E.L. ■■■■■からの高さ

名称			変更前	変更後
種 類				補助遊園管理区域外伝播防止堰 (No. 2)
種 類				堰
主要寸法	高 さ	mm		150 以上 (H1)
材料	堰			鉄筋コンクリート
取付箇所	系 統 名 (ライン名)			
	設 置 床			
	溢水防護上の号			
	溢水防護上の号 配慮が必要な高さ			

(注) E.L. ■■■■■からの高さ

名称			変更前	変更後
種	類	-		■ (E.L. ■) 浸水防止堰 (No. 1)
主要寸法材料	高さ	mm		堰
				350 以上 (注)
材料	堰	-		鉄筋コンクリート
取付箇所	系統名 (ライン名)	-		-
	設置床	-		-
	浸水防護上の 区画番号	-		-
	浸水防護上の 配慮が必要な高さ	-		-

(注) E.L. ■ からの高さ

名称			変更前	変更後
種	類	-		■ (E.L. ■) 浸水防止堰 (No. 2)
主要寸法材料	高さ	mm		堰
				450 以上 (注)
材料	堰	-		鉄筋コンクリート
取付箇所	系統名 (ライン名)	-		-
	設置床	-		-
	浸水防護上の 区画番号	-		-
	浸水防護上の 配慮が必要な高さ	-		-

(注) E.L. ■ からの高さ

名称			変更前	変更後
種	類	—	—	■■■■■ 普通(E.L. ■■■■■) 浸水防止壁 壁
主要寸法	高さ	mm		300 以上 (注1)
材料	種	—		鉄筋コンクリート
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		—
	設置床	—		—
	溢水防護上の 区分番号	—		—
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—		—

(注1) E.L. ■■■■■からの高さ

名称			変更前	変更後
種	類	—	—	■■■■■ 高圧機器室浸水防止壁 壁
主要寸法	高さ	mm		200 以上 (注1)
材料	種	—		鉄筋コンクリート
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		—
	設置床	—		—
	溢水防護上の 区分番号	—		—
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—		—

(注1) E.L. ■■■■■からの高さ

			変更前	変更後
名称			-	Bデーゼル発電機室浸水防止堰
種 類				堰
主要寸法材料	高さ	mm		300以上 <sup>(注1)</sup>
	堰	-		鉄筋コンクリート
取付箇所	系統名 (ライン名)	-		-
	設置床	-		
	溢水防護上の 区画番号	-		
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	-		

(注1) E.L. ■■■■■からの高さ

			変更前	変更後
名称			-	スイッチギヤ室浸水防止堰
種 類				堰
主要寸法材料	高さ	mm		300以上 <sup>(注1)</sup>
	堰	-		鉄筋コンクリート
取付箇所	系統名 (ライン名)	-		-
	設置床	-		
	溢水防護上の 区画番号	-		
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	-		

(注1) E.L. ■■■■■からの高さ

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-31

検査年月日	検査結果	原子力検査官	検査立会責任者	特記事項
令和3年 1月12日	良	増本 豊	茨城県原子力安全技術者 [Redacted] 原子力安全技術者 [Redacted]	なし

## 関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：1-31

検査年月日：令和3年 / 月 / 日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

## 検査前確認事項

## 使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・一	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・一	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・一	



## 関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-31

検査年月日：令和3年 / 月 / 2日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

## 検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	良・—	
系統構成が完了していること。	立会/ 記録確認	良・⊖	

## 関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-31

検査年月日：令和3年 / 月 / 2日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

## 検査結果

検査対象			
・その他発電用原子炉の附属施設 浸水防護施設 内郭浸水防護設備 防水区画構造物			
別添1参照			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
性能検査 ・材料検査 ・寸法検査 ・外観検査 ・組立て及び据付け状態を確認する検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 記録確認
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：T1-3-0215  ・目視で確認した範囲：			

その他発電用原子炉の附属施設

5 浸水防護施設

2 内郭浸水防護設備に係る次の事項

(1) 防水区画構造物の名称、種類、主要寸法、材料及び取付箇所

			変 更 前	変 更 後	
名 称			-	燃料取扱建屋管理区域外伝播防止堰 (No. 1)	
種	類	-		堰	
主要寸法	高	さ		mm	250 以上 (注1)
	材	料		堰	SS400
取付箇所	系	統		名	-
	(	ラ		イ	ン
	)	名			
	設	置	床	-	
	溢	水	防	護	
	区	画	番	号	
	溢	水	防	護	
	配	慮	が	必	
	慮	が	必	要	
	の	高	さ	-	

(注1) E.L. [ ] からの高さ

			変 更 前	変 更 後	
名 称			-	燃料取扱建屋管理区域外伝播防止堰 (No. 2)	
種	類	-		堰	
主要寸法	高	さ		mm	250 以上 (注1)
	材	料		堰	SS400
取付箇所	系	統		名	-
	(	ラ		イ	ン
	)	名			
	設	置	床	-	
	溢	水	防	護	
	区	画	番	号	
	溢	水	防	護	
	配	慮	が	必	
	慮	が	必	要	
	の	高	さ	-	

(注1) E.L. [ ] からの高さ

別添 1 (2/12)  
(令和3年1月12日)

			変更前	変更後
名称			-	補助建屋管理区域外伝播防止堰(No. 1)
種	類	-		堰
主要寸法	高さ	mm		150 以上 (注1)
材料	堰	-		SS400
取付箇所	系統名 (ライン名)	-		-
	設置床	-		
	溢水防護上の 区画番号	-		
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	-		

(注1) E.L. ■■■■■からの高さ

			変更前	変更後
名称			-	補助建屋管理区域外伝播防止堰(No. 2)
種	類	-		堰
主要寸法	高さ	mm		150 以上 (注1)
材料	堰	-		鉄筋コンクリート
取付箇所	系統名 (ライン名)	-		-
	設置床	-		
	溢水防護上の 区画番号	-		
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	-		

(注1) E.L. ■■■■■からの高さ

			変更前	変更後
名称			-	中間建屋管理区域外伝播防止堰(No. 1)
種	類	-		堰
主要寸法	高さ	mm		450 以上 (注1)
材料	堰	-		鉄筋コンクリート
取付箇所	系統名 (ライン名)	-		-
	設置床	-		
	溢水防護上の 区画番号	-		
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	-		

(注1) E.L. [ ]からの高さ

			変更前	変更後
名称			-	中間建屋管理区域外伝播防止堰(No. 2)
種	類	-		堰
主要寸法	高さ	mm		400 以上 (注1)
材料	堰	-		SS400
取付箇所	系統名 (ライン名)	-		-
	設置床	-		
	溢水防護上の 区画番号	-		
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	-		

(注1) E.L. [ ]からの高さ

別添1 (4/12)  
(令和3年1月12日)

			変更前	変更後
名称			-	中間建屋管理区域外伝播防止堰 (No. 3)
種	類	-		堰
主要寸法	高さ	mm		350 以上 (注1)
材料	堰	-		SS400
取付箇所	系統名 (ライン名)	-		-
	設置床	-		
	溢水防護上の 区画番号	-		
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	-		

(注1) E.L. [ ] からの高さ

			変更前	変更後
名称			-	中間建屋管理区域外伝播防止堰 (No. 4)
種	類	-		堰
主要寸法	高さ	mm		350 以上 (注1)
材料	堰	-		鉄筋コンクリート
取付箇所	系統名 (ライン名)	-		-
	設置床	-		
	溢水防護上の 区画番号	-		
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	-		

(注1) E.L. [ ] からの高さ

別添1 (5/12)  
(令和3年1月12日)

			変更前	変更後
名称			-	中間建屋管理区域外伝播防止堰(No. 5)
種	類	-		堰
主要寸法	高さ	mm		300 以上 <sup>(注1)</sup>
	材料	堰		SS400
取付箇所	系統名 (ライン名)	-		-
	設置床	-		
	溢水防護上の 区画番号	-		
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	-		

(注1) E.L. [ ] からの高さ

			変更前	変更後
名称			-	中間建屋管理区域外伝播防止堰(No. 6)
種	類	-		堰
主要寸法	高さ	mm		300 以上 <sup>(注1)</sup>
	材料	堰		鉄筋コンクリート
取付箇所	系統名 (ライン名)	-		-
	設置床	-		
	溢水防護上の 区画番号	-		
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	-		

(注1) E.L. [ ] からの高さ

別添1 (6/12)  
(令和3年1月12日)

			変更前	変更後
名称			-	アニュラス浸水防止堰
種	類	-		堰
主要寸法	高さ	mm		250 以上 (注1)
	材料	堰		SS400
取付箇所	系統名 (ライン名)	-		-
	設置床	-		
	溢水防護上の 区画番号	-		
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	-		

(注1) E.L. [ ] からの高さ

			変更前	変更後
名称			-	A1原子炉コントロールセンタ浸水防止堰
種	類	-		堰
主要寸法	高さ	mm		250 以上 (注1)
	材料	堰		SS400
取付箇所	系統名 (ライン名)	-		-
	設置床	-		
	溢水防護上の 区画番号	-		
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	-		

(注1) E.L. [ ] からの高さ



別添1 (7/12)  
 (令和3年1月12日)

			変更前	変更後
名称			-	A2/AB原子炉コントロールセンタ 浸水防止堰
種	類	-		堰
主要寸法	高さ	mm		250 以上 (注1)
	材料	堰		SS400
取付箇所	系統名 (ライン名)	-		-
	設置床	-		
	溢水防護上の 区画番号	-		
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	-		

(注1) E.L. [ ]からの高さ

			変更前	変更後
名称			-	B電動弁コントロールセンタ浸水防止堰
種	類	-		堰
主要寸法	高さ	mm		550 以上 (注1)
	材料	堰		SS400
取付箇所	系統名 (ライン名)	-		-
	設置床	-		
	溢水防護上の 区画番号	-		
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	-		

(注1) E.L. [ ]からの高さ

			変更前	変更後
名称			-	B1原子炉コントロールセンタ浸水防止堰
種	類	-		堰
主要寸法	高さ	mm		400 以上 (注1)
材料	堰	-		SS400
取付箇所	系統名 (ライン名)	-		-
	設置床	-		[Redacted]
	溢水防護上の 区画番号	-		
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	-		

(注1) E.L. [Redacted]からの高さ

			変更前	変更後
名称			-	B2原子炉コントロールセンタ浸水防止堰
種	類	-		堰
主要寸法	高さ	mm		400 以上 (注1)
材料	堰	-		SS400
取付箇所	系統名 (ライン名)	-		-
	設置床	-		[Redacted]
	溢水防護上の 区画番号	-		
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	-		

(注1) E.L. [Redacted]からの高さ

別添 1 (9/12)  
(令和3年1月12日)

			変更前	変更後	
名 称			-	燃料取替用水ポンプ浸水防止堰	
種	類	-		堰	
主要寸法	高	さ		mm	350 以上 (注1)
					堰
取付箇所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )			-	-
	設 置 床			-	[Redacted]
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号			-	
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ			-	

(注1) E.L. [Redacted] からの高さ

			変更前	変更後	
名 称			-	A/B原子炉トリップしゃ断器浸水防止堰	
種	類	-		堰	
主要寸法	高	さ		mm	400 以上 (注1)
					堰
取付箇所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )			-	-
	設 置 床			-	[Redacted]
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号			-	
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ			-	

(注1) E.L. [Redacted] からの高さ

			変更前	変更後
名称				■■■■建屋(E.L.■■■■)浸水防止堰
種	類		—	堰
主要寸法	高さ	mm		400 以上 (注1)
		材料	堰	SS400
取付箇所	系統名 (ライン名)		—	—
	設置床		—	■■■■
	溢水防護上の 区画番号		—	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ		—	

(注1) E.L.■■■■からの高さ

			変更前	変更後
名称				1次系冷却水ポンプ室冷却ファン 浸水防止堰
種	類		—	堰
主要寸法	高さ	mm		350 以上 (注1)
		材料	堰	SS400
取付箇所	系統名 (ライン名)		—	—
	設置床		—	■■■■
	溢水防護上の 区画番号		—	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ		—	

(注1) E.L.■■■■+11.0mからの高さ

			変更前	変更後
名称			-	中央制御室非常用循環ファン浸水防止堰
種	類	-		堰
主要寸法	高さ	mm		350 以上 (注1)
	材料	堰		SS400
取付箇所	系統名 (ライン名)	-		-
	設置床	-		
	溢水防護上の 区画番号	-		
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	-		

(注1) E.L. [ ] からの高さ

			変更前	変更後
名称			-	[ ] 建屋(E.L. [ ]) 浸水防止堰
種	類	-		堰
主要寸法	高さ	mm		300 以上 (注1)
	材料	堰		鉄筋コンクリート
取付箇所	系統名 (ライン名)	-		-
	設置床	-		
	溢水防護上の 区画番号	-		
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	-		

(注1) E.L. [ ] からの高さ

			変更前	変更後
名称			-	A/Bディーゼル発電機室冷却ファン 浸水防止堰
種	類	-		堰
主要寸法	高さ	mm		300 以上 (注1)
	材料	堰		SS400
取付箇所	系統名 (ライン名)	-		-
	設置床	-		
	溢水防護上の 区画番号	-		
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	-		

(注1) E.L. [ ] からの高さ

			変更前	変更後
名称			-	Aディーゼル発電機室浸水防止堰
種	類	-		堰
主要寸法	高さ	mm		200 以上 (注1)
	材料	堰		鉄筋コンクリート
取付箇所	系統名 (ライン名)	-		-
	設置床	-		
	溢水防護上の 区画番号	-		
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	-		

(注1) E.L. [ ] からの高さ

関西電力株式会社  
高浜発電所第1号機  
使用前検査成績書

要領書番号：原規規収第1610071号99

成績書管理番号：1-32

令和2年10月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：1-32

- 1 発電所名 関西電力株式会社高浜発電所第1号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和2年10月21日  
至 令和2年10月21日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録




## 検査申請一覧表

検査申請書番号 (申請年月日)	
	関原発第299号(平成28年10月7日)
	関原発第434号(平成30年3月20日)
	関原発第46号(平成30年4月20日)
	関原発第202号(平成30年7月4日)
	関原発第259号(平成30年8月20日)
	関原発第415号(平成30年12月5日)
	関原発第504号(平成31年2月1日)
	関原発第512号(平成31年2月6日)
	関原発第582号(平成31年3月18日)
	関原発第3号(平成31年4月4日)
	関原発第68号(2019年5月16日)
	関原発第115号(2019年6月24日)
	関原発第204号(2019年8月23日)
	関原発第478号(2020年1月23日)
	関原発第510号(2020年1月31日)
	関原発第542号(2020年2月26日)
	関原発第609号(2020年3月24日)
	関原発第20号(2020年4月7日)
	関原発第236号(2020年8月21日)

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

# 検査結果一覧表

成績書管理番号：1-32

検査年月日	検査結果	原子力施設検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
ω 令和2年 10月21日	良	山形英男	茨城県原子力庁 主任技術者 	なし

## 関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：1-32

検査年月日：令和2年 10月 21日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

## 検査前確認事項

## 使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・—	

## 関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-32

検査年月日：令和2年 10月 21日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

## 検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	◎良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	◎良・—	
系統構成が完了していること。	立会/ ◎記録確認	◎良・—	

# 関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-32

検査年月日：令和2年 10月 21日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

## 検査結果

検査対象			
その他発電用原子炉の付属施設 浸水防護施設 内郭浸水防護設備（水密扉） （別添1参照）			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
性能検査 ・材料検査 ・寸法検査 ・外観検査 ・組立て及び据付け状態を確認する検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px; display: inline-block;">記録確認</div>
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：T1-3-1311  ・目視で確認した範囲・			

工事計画本文(原規規発第1606104号(平成28年6月10日認可))

その他発電用原子炉の附属施設

5 浸水防護施設

2 内郭浸水防護設備に係る次の事項

(1) 防水区画構造物の名称、種類、主要寸法、材料及び取付箇所

			変更前	変更後	
名称			-	補助建屋水密扉 (No. 1)	
種	類	-		片開扉	
主要寸法	た	て		mm	1,830 (注1)
	横			mm	1,755 (注1)
材料	板	材		-	SS400
	補	強		材	SS400
取付箇所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )			-	-
	設 置 床			-	
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号			-	
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ			-	

(注1) 公称値

			変更前	変更後	
名称			-	中間建屋水密扉 (No. 1)	
種	類	-		片開扉	
主要寸法	た	て		mm	1,990 (注1)
	横			mm	1,290 (注1)
材料	板	材		-	SS400
	補	強		材	SS400
取付箇所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )			-	-
	設 置 床			-	
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号			-	
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ			-	

(注1) 公称値

			変更前	変更後
名称			-	中間建屋水密扉 (No. 2)
種	類	-		片開扉
主要寸法	たて	mm		1,990 (注1)
	横	mm		1,290 (注1)
材料	板材	-		SS400
	補強材	-		SS400
取付箇所	系統名 (ライン名)	-		-
	設置床	-		
	溢水防護上の 区画番号	-		
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	-		

(注1) 公称値

			変更前	変更後
名称			-	中間建屋水密扉 (No. 3)
種	類	-		片開扉
主要寸法	たて	mm		1,990 (注1)
	横	mm		1,290 (注1)
材料	板材	-		SS400
	補強材	-		SS400
取付箇所	系統名 (ライン名)	-		-
	設置床	-		
	溢水防護上の 区画番号	-		
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	-		

(注1) 公称値

			変更前	変更後	
名称			-	中間建屋水密扉 (No. 4)	
種	類	-		片開扉	
主要寸法	た	て		mm	1,970 (注1)
	横			mm	1,270 (注1)
材料	板	材		-	SS400
	補	強		材	SS400
取付箇所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )			-	-
	設 置 床			-	
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号			-	
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ			-	

(注1) 公称値

			変更前	変更後	
名称			-	中間建屋水密扉 (No. 5)	
種	類	-		片開扉	
主要寸法	た	て		mm	2,470 (注1)
	横			mm	2,070 (注1)
材料	板	材		-	SS400
	補	強		材	SS400
取付箇所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )			-	-
	設 置 床			-	
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号			-	
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ			-	

(注1) 公称値



			変 更 前	変 更 後	
名 称			-	中間建屋水密扉 (No. 6)	
種	類	-		片開扉	
主要寸法	た	て		mm	1,970 (注1)
	横			mm	870 (注1)
材料	板	材		-	SS400
	補	強		材	SS400
取付箇所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )			-	-
	設 置 床			-	
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号			-	
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ			-	

(注1) 公称値

			変 更 前	変 更 後	
名 称			-	ディーゼル建屋水密扉 (No. 1)	
種	類	-		片開扉	
主要寸法	た	て		mm	1,990 (注1)
	横			mm	890 (注1)
材料	板	材		-	SS400
	補	強		材	SS400
取付箇所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )			-	-
	設 置 床			-	
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号			-	
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ			-	

(注1) 公称値

			変更前	変更後		
名称			-	制御建屋水密扉 (No. 1) (1・2号機共用)		
種	類	-		片開扉		
主要寸法	た	て		mm	1,970 (注1)	
	横			mm	1,890 (注1)	
材料	板	材		-	SS400	
	補	強		材	SS400	
取付箇所	系			統	名	-
	(			ラ	イ	ン
	)			名		-
	設			置	床	-
溢		水	防	護	上	
区		画	番	号	-	
溢		水	防	護	上	
配		慮	が	必	要	
な		高	さ		-	

(注1) 公称値

			変更前	変更後		
名称			-	制御建屋水密扉 (No. 2) (1・2号機共用)		
種	類	-		片開扉		
主要寸法	た	て		mm	2,251 (注1)	
	横			mm	1,790 (注1)	
材料	板	材		-	SS400	
	補	強		材	SS400	
取付箇所	系			統	名	-
	(			ラ	イ	ン
	)			名		-
	設			置	床	-
溢		水	防	護	上	
区		画	番	号	-	
溢		水	防	護	上	
配		慮	が	必	要	
な		高	さ		-	

(注1) 公称値

			変更前	変更後	
名称			-	制御建屋水密扉 (No. 3) (1・2号機共用)	
種	類	-		片開扉	
主要寸法	た	て		mm	1,720 (注1)
	横			mm	920 (注1)
材料	板	材		-	SS400
	補強材	材		-	SS400
取付箇所	系統名 (ライン名)			-	-
	設置床			-	
	溢水防護上の 区画番号			-	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ			-	

(注1) 公称値

関西電力株式会社  
高浜発電所第1号機  
使用前検査成績書

要領書番号：原規規収第1610071号99

成績書管理番号：1-33

令和2年12月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：1-33

- 1 発電所名 関西電力株式会社高浜発電所第1号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和 2 年 12 月 14 日  
至 令和 2 年 12 月 16 日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録


## 検査申請一覧表

検査申請書番号 (申請年月日)	
	関原発第299号(平成28年10月7日)
	関原発第434号(平成30年3月20日)
	関原発第46号(平成30年4月20日)
	関原発第202号(平成30年7月4日)
	関原発第259号(平成30年8月20日)
	関原発第415号(平成30年12月5日)
	関原発第504号(平成31年2月1日)
	関原発第512号(平成31年2月6日)
	関原発第582号(平成31年3月18日)
	関原発第3号(平成31年4月4日)
	関原発第68号(2019年5月16日)
	関原発第115号(2019年6月24日)
	関原発第204号(2019年8月23日)
	関原発第478号(2020年1月23日)
	関原発第510号(2020年1月31日)
	関原発第542号(2020年2月26日)
	関原発第609号(2020年3月24日)
	関原発第20号(2020年4月7日)
	関原発第236号(2020年8月21日)

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

# 検査結果一覧表

成績書管理番号：1-33

検査年月日	検査結果	原子力検査官	検査立会責任者	特記事項
令和 2 年 12 月 14 日 15 16	良	大江 勇人	茨城県原子力庁 主任技術者 	なし

## 関西電力株式会社高浜発電所第 1 号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：1-33

検査年月日：令和 2 年 12 月 <sup>14</sup>/<sub>15</sub> 日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

## 検査前確認事項

## 使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・－	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・－	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・－	



## 関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-33

検査年月日：令和 2 年 12 月 <sup>14</sup>/<sub>15</sub> 日検査場所：関西電力株式会社高浜<sup>16</sup>発電所

## 検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	◎良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	◎良・—	
系統構成が完了していること。	立会/ 記録確認	良・⊖	

## 関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-33

検査年月日：令和 2 年 12 月 <sup>14</sup>/<sub>15</sub> 日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

## 検査結果

検査対象			
その他発電用原子炉の附属施設 浸水防護施設 内郭浸水防護設備 (別添1参照)			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
性能検査 ・材料検査 ・寸法検査 ・外観検査 ・組立て及び据付け状態を確認する検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視  <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">記録確認</span>
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録(※)による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：T1-3-1901  + 目視で確認した範囲 +			

その他発電用原子炉の附属施設

5 浸水防護施設

2 内郭浸水防護設備に係る次の事項

(1) 防水区画構造物の名称、種類、主要寸法、材料及び取付箇所

			変更前	変更後
名称			主蒸気配管・主給水配管 ■■■■建屋 区画壁(E.L.■■■■m)	変更なし
種類			区画壁	
主要寸法	鉄板	mm	9 (注1)	8.45 (注1)
	支持鉄骨	mm	200×200×8×12 (注1,2,3)	7.3×11 (注4) (200×200×8×12) (注1,2)
	補強リブ	mm	75×75×9 (注1,5,6) 97×150×6×9 (注1,5,7)	8.3 (注8) (75×75×9) (注1,5) 5.3×8 (注9) (97×150×6×9) (注1,5)
材料	鉄板		SM490	
	支持鉄骨		SM490	
	補強リブ		SM490	
取付箇所	系統名 (ライン名)		-	変更なし
	設置床			
	溢水防護上の 区画番号			
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ			

(注1) 公称値

(注2) 取付間隔は1,500mm以下とする。

(注3) H形鋼(厚さ「8×12」)の設計確認値は公称値と同じ)

(注4) H形鋼厚さ「8×12」の設計確認値

(注5) 取付間隔は500mm以下とする。

(注6) 等辺山形鋼(厚さ「9」)の設計確認値は公称値と同じ)

(注7) CT形鋼(厚さ「6×9」)の設計確認値は公称値と同じ)

(注8) 等辺山形鋼厚さ「9」の設計確認値

(注9) CT形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

(注10) 取付範囲は■■■■建屋E.L.■■■■m床から天井

		変更前	変更後
名称		主蒸気配管・主給水配管 ■■■■建屋 区画壁(E.L.■■■■m)	変更なし
種類		区画壁	
主要寸法	鉄板	mm 9 (注1)	8.45 (注1)
	支持鉄骨	mm 200×200×8×12 (注1,2,3)	7.3×11 (注4) (200×200×8×12) (注1,2)
	補強リブ	mm 90×90×13 (注1,5,6) 122×175×7×11 (注1,5,7)	12.2 (注8) (90×90×13) (注1,5) 6.3×10 (注9) (122×175×7×11) (注1,5)
材料	鉄板	SM490	
	支持鉄骨	SM490	
	補強リブ	SM490	
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	変更なし
	設置床	—	
	溢水防護上の 区画番号	—	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	

(注1) 公称値

(注2) 取付間隔は1,500mm以下とする。

(注3) H形鋼(厚さ「8×12」の設計確認値は公称値と同じ)

(注4) H形鋼厚さ「8×12」の設計確認値

(注5) 取付間隔は500mm以下とする。

(注6) 等辺山形鋼(厚さ「13」の設計確認値は公称値と同じ)

(注7) CT形鋼(厚さ「7×11」の設計確認値は公称値と同じ)

(注8) 等辺山形鋼厚さ「13」の設計確認値

(注9) CT形鋼厚さ「7×11」の設計確認値

(注10) 取付範囲は■■■■建屋E.L.■■■■m床から天井

			変更前	変更後
名称			主蒸気配管・主給水配管 ■■■■建屋 区画壁(E.L.■■■■m)	変更なし
種	類	—	区画壁	
主要寸法	鉄板	mm	9 (注1)	8.45 (注1)
	支持鉄骨	mm	200×200×8×12 (注1,2,3)	7.3×11 (注4) (200×200×8×12) (注1,2)
	補強リブ	mm	75×75×9 (注1,5,6) 97×150×6×9 (注1,5,7)	8.3 (注8) (75×75×9) (注1,5) 5.3×8 (注9) (97×150×6×9) (注1,5)
材料	鉄板	—	SM490	
	支持鉄骨	—	SM490	
	補強リブ	—	SM490	
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	—	変更なし
	設置床	—		
	溢水防護上の 区画番号	—		
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—		

(注1) 公称値

(注2) 取付間隔は1,500mm以下とする。

(注3) H形鋼(厚さ「8×12」の設計確認値は公称値と同じ)

(注4) H形鋼厚さ「8×12」の設計確認値

(注5) 取付間隔は500mm以下とする。

(注6) 等辺山形鋼(厚さ「9」の設計確認値は公称値と同じ)

(注7) CT形鋼(厚さ「6×9」の設計確認値は公称値と同じ)

(注8) 等辺山形鋼厚さ「9」の設計確認値

(注9) CT形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

(注10) 取付範囲は■■■■建屋E.L.■■■■m床から天井

			変更前	変更後
名称			主蒸気配管・主給水配管 ■■■■建屋 区画壁(E.L.■■■■m)	変更なし
種	類	—	区画壁	
主要寸法	鉄板	mm	9 (注1)	8.45 (注1)
	支持鉄骨	mm	200×200×8×12 (注1,2,3)	7.3×11 (注4) (200×200×8×12) (注1,2)
	補強リブ	mm	90×90×13 (注1,5,6) 122×175×7×11 (注1,5,7)	12.2 (注8) (90×90×13) (注1,5) 6.3×10 (注9) (122×175×7×11) (注1,5)
材料	鉄板	—	SM490	
	支持鉄骨	—	SM490	
	補強リブ	—	SM490	
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	—	変更なし
	設置床	—		
	溢水防護上の 区画番号	—		
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—		

(注1) 公称値

(注2) 取付間隔は1,500mm以下とする。

(注3) H形鋼(厚さ「8×12」の設計確認値は公称値と同じ)

(注4) H形鋼厚さ「8×12」の設計確認値

(注5) 取付間隔は500mm以下とする。

(注6) 等辺山形鋼(厚さ「13」の設計確認値は公称値と同じ)

(注7) CT形鋼(厚さ「7×11」の設計確認値は公称値と同じ)

(注8) 等辺山形鋼厚さ「13」の設計確認値

(注9) CT形鋼厚さ「7×11」の設計確認値

(注10) 取付範囲は■■■■建屋E.L.■■■■m床から天井



			変更前	変更後
名称			主蒸気配管・主給水配管 ■■■■建屋 区画床(E. L. ■■■■)	変更なし
種類	類	—	区画床	
主要寸法	床板	mm	9 (9 (注1))	4.05 (4.5 (注1,2)) 8.45 (9 (注1,3)) 15.35 (16 (注1,4))
	根太	mm	194×150×6×9 (注1,5,6)	4.05 (注7) (150×80×4.5) (注1,8) 4.05 (注7) (2-150×80×4.5) (注1,9) 4.05 (注7) (2-150×80×4.5) (注1,10) 4.05 (注11) (2-170×4.5) (注1,10)
	補強リブ	mm	75×75×9 (注1,12,13) 97×150×6×9 (注1,12,14)	—
	床板	—	SM490	変更なし
材料	根太	—	SM490	①STKR490, ②SM490
	補強リブ	—	SM490	—
	系統名 (ライン名)	—	—	
取付箇所	設置床	—		
	溢水防護上の 区画番号	—		
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—		

(注1) 公称値

(注2) 根太間隔333mm以下とする。

(注3) 根太間隔640mm以下とする。

(注4) 根太間隔1,120mm以下とする。

(注5) 取付間隔は1,200mm以下とする。

(注6) H形鋼(厚さ「6×9」の設計確認値は公称値と同じ)

(注7) 角形鋼管厚さ「4.5」の設計確認値

(注8) 取付間隔は333mm以下とする。



			変更前	変更後
名称			主蒸気配管・主給水配管 ■■■■建屋 区画床(E.L.■■■■m)	変更なし
種	類	—	区画床	
主要寸法	床板	mm	9 (注1)	4.05 (4.5 <sup>(注1,2)</sup> ) 8.45 (9 <sup>(注1,3)</sup> ) 15.35 (16 <sup>(注1,4)</sup> )
	根太	mm	194×150×6×9 <sup>(注1,5,6)</sup>	4.05 <sup>(注7)</sup> (150×80×4.5) <sup>(注1,8)</sup> 4.05 <sup>(注7)</sup> (2-150×80×4.5) <sup>(注1,9)</sup> 4.05 <sup>(注7)</sup> (2-150×80×4.5) <sup>(注1,10)</sup> 4.05 <sup>(注11)</sup> (2-170×4.5) <sup>(注1,10)</sup>
	補強リブ	mm	75×75×9 <sup>(注1,12,13)</sup> 97×150×6×9 <sup>(注1,12,14)</sup>	—
	床板	—	SM490	変更なし
材料	根太	—	SM490	①STKR490,②SM490
	補強リブ	—	SM490	—
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	—	
	設置床	—		
	溢水防護上の 区画番号	—		
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—		

(注1) 公称値

(注2) 根太間隔333mm以下とする。

(注3) 根太間隔640mm以下とする。

(注4) 根太間隔1,120mm以下とする。

(注5) 取付間隔は1,200mm以下とする。

(注6) H形鋼(厚さ「6×9」)の設計確認値は公称値と同じ)

(注7) 角形鋼管厚さ「4.5」の設計確認値

(注8) 取付間隔は333mm以下とする。

関西電力株式会社  
高浜発電所第1号機  
使用前検査成績書

要領書番号 : 原規規収第1610071号99

成績書管理番号 : 1-34

令和2年12月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：1-34

- 1 発電所名 関西電力株式会社高浜発電所第1号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和2年12月21日  
至 令和2年12月21日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録


## 検査申請一覧表

検査申請書番号 (申請年月日)	関原発第299号(平成28年10月7日) 関原発第434号(平成30年3月20日) 関原発第46号(平成30年4月20日) 関原発第202号(平成30年7月4日) 関原発第259号(平成30年8月20日) 関原発第415号(平成30年12月5日) 関原発第504号(平成31年2月1日) 関原発第512号(平成31年2月6日) 関原発第582号(平成31年3月18日) 関原発第3号(平成31年4月4日) 関原発第68号(2019年5月16日) 関原発第115号(2019年6月24日) 関原発第204号(2019年8月23日) 関原発第478号(2020年1月23日) 関原発第510号(2020年1月31日) 関原発第542号(2020年2月26日) 関原発第609号(2020年3月24日) 関原発第20号(2020年4月7日) 関原発第236号(2020年8月21日)
--------------------	--

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

# 検査結果一覧表

成績書管理番号：1-34

検査年月日	検査結果	原子力検査官	検査立会責任者	特記事項
令和2年 12月21日	良	上田 洋	茨城県原子炉 主任技術者 	乳

3

関西電力株式会社高浜発電所第 1 号機 使用前検査記録  
共通事項

成績書管理番号：1-34

検査年月日：令和 2 年 12 月 2 日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

## 検査前確認事項

## 使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	良・一	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	良・一	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	良・一	

## 関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-34

検査年月日：令和2年 12月 21日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

## 検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	良・一	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	良・一	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	良・一	
系統構成が完了していること。	立会/ 記録確認	良・〇	

# 関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-34

検査年月日：令和2年 12月 21日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

## 検査結果

検査対象			
その他発電用原子炉の附属施設 非常用取水設備 非常用海水路 海水ポンプ室			
別添1参照			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
性能検査 ・材料検査 ・寸法検査 ・外観検査 ・組立て及び据付け状態を確認する検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 記録確認
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：T1-3-1309  ・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照			



関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録  
 (三号検査)  
 (立会検査)

成績書管理番号：1-34

検査年月日：令和2年12月21日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

## 検査結果

検査対象設備名	項目	測定値等	検査結果	検査方法
海水ポンプ室	寸法検査	海水ポンプ室幅*1  21,502 mm	良	目視
	・外観検査 ・組立て及び据 付け状態を確 認する検査	-	良	目視*2

## 備考

\*1：許容範囲 21,500mm 最大+15mm 最小-10mm

\*2：可視範囲について確認

関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録  
検査用計器一覧表

成績書管理番号：1 - 3 4

検査年月日：令和2年12月21日

検査項目	検査用計器	管理番号	測定範囲	測定精度	校正年月日 有効期限	備考
寸法検査	トータルステーション				2020/7/3 2021/7/2	
以下余白						

\* 光波測距部(±3+3ppmD)mm、セオドライト部:水平角:20"以下、  
セオドライト部:鉛直角:20"以下

工事計画本文 (原規規発第 1606104 号 (平成 28 年 6 月 10 日認可))

7 非常用取水設備

1 取水設備の名称、種類、容量、主要寸法、材料及び個数

				変 更 前	変 更 後
名 称					非常用海水路 (1・2号機共用)
種	類	—			函梁
容	量	—			
主要寸法	幅		mm		2,000 (公称)
	高	さ	mm		2,000 (公称)
材	料	—			鉄筋コンクリート
個	数	—			1

(注1) 本設備は既存の設備である。

(注2) 基準津波に対する引波時において、海水ポンプの設計取水可能水位は下回らない。

(注3) 公称値

				変 更 前	変 更 後
名 称					海水ポンプ室 取水槽
種	類	—			
容	量	—			
主要寸法	幅		mm		21,500 (公称)
	高	さ	mm		15,000 (公称)
材	料	—			鉄筋コンクリート
個	数	—			1

(注1) 本設備は既存の設備である。

(注2) 基準津波に対する引波時において、海水ポンプの設計取水可能水位は下回らない。

(注3) 公称値

関西電力株式会社  
高浜発電所第1号機  
使用前検査成績書

要領書番号：原規規収第1610071号99  
成績書管理番号：1-35-1

令和2年 9月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：1-35-1

- 1 発電所名 関西電力株式会社高浜発電所第1号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和2年7月29日  
至 令和2年9月3日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録




## 検査申請一覧表

検査申請書番号 (申請年月日)	関原発第299号(平成28年10月7日) 関原発第434号(平成30年 3月20日) 関原発第 46号(平成30年 4月20日) 関原発第202号(平成30年 7月 4日) 関原発第259号(平成30年 8月20日) 関原発第415号(平成30年12月 5日) 関原発第504号(平成31年 2月 1日) 関原発第512号(平成31年 2月 6日) 関原発第582号(平成31年 3月18日) 関原発第 3号(平成31年 4月 4日) 関原発第 68号(2019年 5月16日) 関原発第115号(2019年 6月24日) 関原発第204号(2019年 8月23日) 関原発第478号(2020年 1月23日) 関原発第510号(2020年 1月31日) 関原発第542号(2020年 2月26日) 関原発第609号(2020年3月24日) 関原発第 20号(2020年4月 7日) 関原発第236号(2020年8月21日)
--------------------	--

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

### 検査結果一覧表

成績書管理番号：1-35-1

検査年月日	検査結果	原子力施設検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
<p>ω</p> <p>令和2年 7月29日</p>	<p>良</p>	<p>増本 豊 </p>	<p>発電用原子炉 主任技術者 </p> <p>ボイラー-タービン 主任技術者 </p>	<p>なし</p>

## 関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：1-35-1

検査年月日：令和2年 7月 29日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

## 検査前確認事項

## 使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	⊙・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	⊙・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	⊙・—	



関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録  
(三号検査)

成績書管理番号：1-35-1

検査年月日：令和2年 7月 29日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

## 検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	良・一	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	良・一	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	良・一	
系統構成が完了していること。	立会/ 記録確認	良・一	

# 関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-35-1

検査年月日：令和2年7月29日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

## 検査結果

検査対象			
原子炉冷却系統施設 原子炉補機冷却設備 容器 主配管                      別添1参照の太線枠内の範囲			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
適合性確認検査記録等の確認検査 ・材料検査 ・寸法検査 ・外観検査 ・組立て及び据付け状態を確認する検査 ・耐圧検査 ・漏えい検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	<span style="font-size: 2em;">良</span>	目視  <span style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px;">記録確認</span>
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：T1-3-0344、T1-3-0348 ・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照			

原子炉冷却系統施設

加圧水型発電用原子炉施設に係るもの（蒸気タービンに係るものを除く。）にあつては次の事項

9 原子炉補機冷却設備に係る次の事項

(5) 容器の名称、種類、容量、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数及び取付箇所

・可搬型

		変 更 前	変 更 後	
名 称			窒素ポンペ (1次系冷却水タンク加圧用)	
種 類	—		一般継目なし鋼製容器	
容 量 (注1)	ℓ/個			
最 高 使 用 圧 力 (注1)	MPa			
最 高 使 用 温 度 (注1)	℃			
主 要 寸 法	外 径	mm		
	高 さ	mm		
	胴 部 厚 さ	mm		
	底 部 厚 さ	mm		
材 料	—			
個 数	—			1 (予備1)
取 付 箇 所	—			保管場所： [redacted]
			取付箇所： [redacted]	

(注1) 重大事故等時における使用時の値

(注2) 公称値

原子炉冷却系統施設

加圧水型発電用原子炉施設に係るもの（蒸気タービンに係るものを除く。）にあつては次の事項

9 原子炉補機冷却設備に係る次の事項

(5) 主配管の名称、最高使用圧力、最高使用温度、外径、厚さ及び材料

・可搬型

変更前		変更後					取付箇所
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料		
原子炉補機冷却設備	窒素ポンベ (1次系冷却水タンク 加圧用)	(注1) 0.34	(注1) 50	(注10) 22.0	(注10) 5.0	C1220T	保管場所 (注11) : [Redacted]
	～	(注1) 17.16	(注1) 50	(注10) 8.0	(注10) 2.0	C1220T	取付箇所 : [Redacted]
	ホース先端			(注10) 22.0	(注10) 5.0	C1220T	

1

2

8

6

変更前		変更後					
名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	取付箇所	
原子炉補機冷却設備	1次系冷却水タンク	0.34	50	20A	—	SUS304	保管場所 (注9) : [Redacted]
	窒素供給用 [Redacted] m フレキシブルホース						取付箇所 : [Redacted]

3

# 検査結果一覧表

成績書管理番号：1-35-1

検査年月日	検査結果	原子力検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
令和2年 8月28日	良	須貝実	ボイラー-タービン 主任技術者	なし

10

## 関西電力株式会社高浜発電所第 1 号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：1-35-1

検査年月日：令和 2 年 8 月 28 日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

## 検査前確認事項

## 使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・—	

## 関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-35-1

検査年月日：令和2年 8月 28日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

## 検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	◎良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	◎良・—	
系統構成が完了していること。	立会/ ◎記録確認	◎良・—	



## 関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-35-1

検査年月日：令和2年 8月 28日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

## 検査結果

検査対象			
計測制御系統施設 制御用空気設備 安全弁                      別添2-1参照の太線枠内の範囲			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
適合性確認検査記録等の確認検査 ・材料検査 ・寸法検査 ・外観検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">記録確認</span>
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：T1-1-0714（その1） ・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照			

## 関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-35-1

検査年月日：令和2年8月28日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

## 検査結果

検査対象			
計測制御系統施設 制御用空気設備 容器 窒素ポンベ（加圧器逃がし弁作動用）			
別添2-2参照の太線枠内の範囲			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
適合性確認検査記録等の確認検査 ・材料検査 ・寸法検査 ・外観検査 ・耐圧検査 ・漏えい検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視  <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">記録確認</span>
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：T1-1-0714（その4） <del>・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照</del>			

計測制御系統施設

加圧水型発電用原子炉施設に係るもの（発電用原子炉の運転を管理するための制御装置に係るものを除く。）にあつては、次の事項

9 制御用空気設備に係る次の事項

(3) 安全弁の名称、種類、吹出圧力、吹出量、主要寸法、材料、個数及び取付箇所

・可搬型

			変 更 前	変 更 後
名 称				1V-N2V-400A、B
種	類	—		非平衡形
吹 出 圧 力		MPa		0.98
吹 出 量		kg/h/個		430 以上
主 要 寸 法	呼 び 径	mm	—	20 (注1)
	の ど 部 の 径	mm		13 (注1)
	弁 座 口 の 径	mm		
	リ フ ト	mm		
材 料 ( 弁 箱 )		—		SUSF316
個 数		—		2 (予備1)
取 付 箇 所		—		保管場所： [ ] 取付箇所： [ ]

(注1) 公称値

: 検査対象範囲

計測制御系統施設

加圧水型発電用原子炉施設に係るもの（発電用原子炉の運転を管理するための制御装置に係るものを除く。）にあつては、次の事項

9 制御用空気設備に係る次の事項

(2) 容器の名称、種類、容量、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数及び取付箇所

・可搬型

		変 更 前	変 更 後
名 称			窒素ポンベ (加圧器逃がし弁作動用)
種 類	—		一般継目なし鋼製容器
容 量 (注1)	ℓ		
	ℓ/個		
最 高 使 用 圧 力 (注1)	MPa		
最 高 使 用 温 度 (注1)	℃		
主 要 寸 法	外 径	mm	
	高 さ	mm	
	胴 部 厚 さ	mm	
	底 部 厚 さ	mm	
材 料	—		
個 数	—		
取 付 箇 所	—		

(注1) 重大事故等時における使用時の値

(注2) 重大事故等時に必要な容量は、窒素ポンベ2個を使用して、81.2ℓ以上とする。




(注3) 重大事故等時に必要な容量は、窒素ポンベ6個を使用して、241.6ℓ以上とする。

(注4) 公称値

: 検査対象範囲

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-35-1

検査年月日	検査結果	原子力  検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
令和2年 9月1日	良	増本 豊 	ボイラー・タービン主任技術者 	なし

17

## 関西電力株式会社高浜発電所第 1 号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：1-35-1

検査年月日：令和2年 9 月 / 日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

## 検査前確認事項

## 使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	⊙・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	⊙・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	⊙・—	

## 関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-35-1

検査年月日：令和2年 9月 / 日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

## 検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	良・一	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	良・一	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	良・一	
系統構成が完了していること。	立会/ 記録確認	良・一	

関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録  
(三号検査)

成績書管理番号：1-35-1

検査年月日：令和2年 9月 / 日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

## 検査結果

検査対象			
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備 主配管 スプレイヘッド 別添1参照の太線枠内の範囲			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
適合性確認検査記録等の確認検査 ・材料検査 ・寸法検査 ・外観検査 ・耐圧検査 ・漏えい検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">記録確認</span>
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：T1-1-1201 ・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照			



核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設

加圧水型発電用原子炉施設に係るものにあつては、次の事項



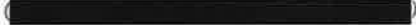

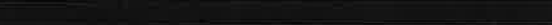

4 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備に係る次の事項

(7) 主配管の名称、最高使用圧力、最高使用温度、外径、厚さ及び材料

・可搬型

(工事の計画の認可 平成28年6月10日認可)

変更前	変更後						
	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	取付箇所
使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備	スプレイヘッド	(注2)	(注2)	(注3)			保管場所 <sup>(注16)</sup> ：  取付箇所： 

- (注1) 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）と兼用
- (注2) 重大事故等時における使用時の値
- (注3) メーカーにて規定する呼び径を示す。
- (注4) メーカー仕様によるものとし、完成品として一般産業品の規格及び基準に適合するものであつて、使用材料の特性を踏まえた上で、重大事故等時における使用圧力及び使用温度が負荷された状態において強度が確保できるものを使用する。
- (注5) 当該ホース  本（必要本数  ）以上を保管する。
- (注6) 本数については当該ルートで最長に敷設した場合の記載（  ）
- (注7) 当該ホース  本（必要本数  ）以上を保管する。
- (注8) 本数については当該ルートで最長に敷設した場合の記載（  ）
- (注9) 放水砲寸法（公称値）：たて 3,800mm、横 2,200mm、高さ 2,090mm

21

変更前		変更後					取付箇所
名称		最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材 料	
使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備	スプレイヘッダ	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	保管場所 <sup>(注1)</sup> ： [Redacted] 取付箇所： [Redacted]
		[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	

- (注1) 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）と兼用
- (注2) 重大事故等時における使用時の値
- (注3) メーカーにて規定する呼び径を示す。
- (注4) メーカー仕様によるものとし、完成品として一般産業品の規格及び基準に適合するものであって、使用材料の特性を踏まえた上で、重大事故等時における使用圧力及び使用温度が負荷された状態において強度が確保できるものを使用する。
- (注5) 当該ホース<sup>■</sup>本（必要本数<sup>■</sup>）以上を保管する。
- (注6) 本数については当該ルートで最長に敷設した場合の記載（<sup>■</sup>）
- (注7) 当該ホース<sup>■</sup>本（必要本数<sup>■</sup>）以上を保管する。
- (注8) 本数については当該ルートで最長に敷設した場合の記載（<sup>■</sup>）
- (注9) 放水砲寸法（公称値）：たて 3,800mm、横 2,200mm、高さ 2,090mm

### 検査結果一覧表

成績書管理番号：1-35-1

検査年月日	検査結果	原子力検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
<p>令和2年 9月1日</p>	<p>良</p>	<p>山形 英男</p>	<p>ボ行一・ターセン 主任技術者</p>	<p>なし</p>

## 関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：1-35-1

検査年月日：令和2年 9月 1日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

## 検査前確認事項

## 使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良 -	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良 -	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良 -	

関西電力株式会社高浜発電所第 1 号機 使用前検査記録  
(三号検査)

成績書管理番号：1-35-1

検査年月日：令和 2 年 9 月 1 日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

## 検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	◎良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	◎良・—	
系統構成が完了していること。	立会/ ◎記録確認	◎良・—	

# 関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-35-1

検査年月日：令和2年 9月 1日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

## 検査結果

検査対象			
計測制御系統施設 制御用空気設備 安全弁 (別添1参照の太線枠内の範囲)			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
適合性確認検査記録等の確認検査 ・材料検査 ・寸法検査 ・外観検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">記録確認</span>
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録(※)による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：T1-3-0113  ・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照			

・可搬型

			変更前	変更後
名称				1V-N2V-307
種類	類	—		非平衡形
吹出圧力	力	MPa		0.83
吹出量	量	kg/h/個		370以上
主要寸法	呼び径	mm		20 (注1)
	のど部の径	mm		13 (注1)
	弁座口の径	mm		
	リフト	mm		
材料（弁箱）		—		SUSF316
個数		—		1（予備1）
取付箇所		—		保管場所： [ ] 取付箇所： [ ]

(注1) 公称値

工事計画本文 (関原発第121号 (平成30年5月24日) にて軽微変更届出) 令和2年9月1日

・可搬型

			変更前	変更後
名称			1V-N2V-307	変更なし
種類	類	—	非平衡形	
吹出圧力	MPa		0.83	
吹出量	kg/h/個		370 以上	
主要寸法	呼び径	mm	20 (注1)	
	のど部の径	mm	13 (注1)	
	弁座口の径	mm		
	リフト	mm		
材料 (弁箱)	—		SUSF316	
個数	—		1 (予備1)	
取付箇所			保管場所:	保管場所:
			[Redacted]	
取付箇所			取付箇所:	取付箇所:
			[Redacted]	

(注1) 公称値



検査結果一覧表

成績書管理番号：1-35-1

検査年月日	検査結果	原子力検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
令和2年 9月3日	良	山形英男	奈良県原子力主任技術者 [Redacted]	なし

29

## 関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：1-35-1

検査年月日：令和2年 9月 3日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

## 検査前確認事項

## 使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・—	

関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録  
(三号検査)

成績書管理番号：1-35-1

検査年月日：令和2年 9月 3日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

## 検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	◎良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	◎良・—	
系統構成が完了していること。	立会/ ◎記録確認	◎良・—	



核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設

加圧水型発電用原子炉施設に係るものについては、次の事項

3 使用済燃料貯蔵設備に係る次の事項

軽微変更申請前（原規規発第 1606104 号 平成 28 年 6 月 10 日）

(6) 使用済燃料貯蔵槽の温度、水位及び漏えいを監視する装置の名称、種類、計測範囲、取付箇所及び個数

(1/2)

変更前					変更後																
名	称	種	類	計測範囲	取	付	箇	所	個	名	称	種	類	計測範囲	取	付	箇	所	個	数	
使用済燃料ピット温度	(注1)	測温抵抗体		0~100℃	系	統	名	使用済燃料ピット	1	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	
					(ライン名)	使用済燃料ピット 水冷却浄化系統															
					設	置	床														
使用済燃料ピット水位	(注1)	超音波式 水位検出器		E.L.+30.99m ~ E.L.+31.99m	系	統	名	使用済燃料ピット	1	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし
					(ライン名)	使用済燃料ピット 水冷却浄化系統															
					設	置	床														

33

(次ページに続く)

令和 2 年 9 月 3 日  
別添 1 (1/5)

変更前				変更後			
名	称	種	類	計測範囲	取付箇所	個数	
	使用済燃料ビット温度 (AM用)	测温抵抗体	0~100℃	系統名 (ライン名)	使用済燃料ビット 水冷却浄化系統	1	
				設置床			
				溢水防護上の 区画番号			
				溢水防護上の 配慮が必要な高さ			
	使用済燃料ビット水位 (広域)	電液式 水位検出器	E.L. +24.30m ~ E.L. +31.99m	系統名 (ライン名)	使用済燃料ビット 水冷却浄化系統	1	
				設置床			
				溢水防護上の 区画番号			
				溢水防護上の 配慮が必要な高さ			
	可搬型使用済燃料 ビット水位	フロート式 水位検出器	E.L. +21.0m ~ E.L. +32.0m	保管場所: [ ]		Y (予備1 (1・2号機 共用))	
				取付箇所: [ ]			

(注1) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

34



変更前					変更後						
名	称種	類	計測範囲	取付箇所	個数	名	称種	類	計測範囲	取付箇所	個数
使用済燃料ビット温度 (AM用)	测温抵抗体	0~100℃	系 統 名	使用済燃料ビット	1						
			(ライン名)	水冷却浄化系統							
			設 置 床								
			溢水防護上の 区画番号								
			溢水防護上の 配慮が必要な高さ								
使用済燃料ビット水位 (広域)	電波式 水位検出器	E.L.+24.30m ~ E.L.+31.99m	系 統 名	使用済燃料ビット	1						
			(ライン名)	水冷却浄化系統							
			設 置 床								
			溢水防護上の 区画番号								
			溢水防護上の 配慮が必要な高さ								
可搬型使用済燃料 ビット水位	フロート式 水位検出器	E.L.+21.0m ~ E.L.+32.0m	保管場所:		1 (予備1 (1・2号機 共用))						
			取付箇所:								

変更なし

36

(注1) 平成28年6月10日付け原規規発第1606104号にて認可された既工事計画書には変更前に記載

(注2) 本設備は既存の設備である。

別添1 (4/5)  
令和2年9月3日



設備概要 工事計画本文 (原規規発第 1606104 号 (平成 28 年 6 月 10 日認可))

計測制御系統施設

加圧水型発電用原子炉施設に係るもの (発電用原子炉の運転を管理するための制御装置に係るものを除く。) にあつては、次の事項

7 原子炉非常停止信号の種類、検出器の種類、個数及び取付箇所、原子炉非常停止に要する信号の個数及び設定値並びに原子炉非常停止信号を発信させない条件

・常設

(12/18)

変更前						変更後								
原子炉非常停止信号の種類	検出器及び作動条件					原子炉非常停止信号を発信させない条件	原子炉非常停止信号の種類	検出器及び作動条件					原子炉非常停止信号を発信させない条件	
	検出器の種類	個数	取付箇所	原子炉非常停止に要する信号の個数	設定値			検出器の種類	個数	取付箇所	原子炉非常停止に要する信号の個数	設定値		
(15.40) タービン油圧低	(16.41) タービン非常しゃ断油圧検出器	6 (3個で1系列)	系統名 (ライン名) 設置床	2 (1系列の内)	(13.42) 6.4~7.4MPa [gage]	(12.22) 出力領域中性子束及びタービン負荷が定格出力の10%以下の場合、自動で原子炉非常停止信号が阻止される。	変更なし	変更なし	3	変更なし	2	(13.42) 6.4MPa [gage] 以上	変更なし	
(15.40) タービントリップ	主蒸気止め弁全閉位置検出器	8 (4個で1系列)	系統名 (ライン名) 設置床	4 (1系列の内)		(12.22) 出力領域中性子束及びタービン負荷が定格出力の10%以下の場合、自動で原子炉非常停止信号が阻止される。	変更なし	主蒸気止め弁(#1)全閉位置検出器	2	変更なし	1		変更なし	
								主蒸気止め弁(#2)全閉位置検出器	2					
								主蒸気止め弁(#3)全閉位置検出器	2					溢水防護上の区画番号
								主蒸気止め弁(#4)全閉位置検出器	2					
		4回路の一致												

37/E

別添 1 (5/5)  
令和2年9月3日

関西電力株式会社  
高浜発電所第1号機

発電用原子炉に燃料体を挿入することが  
できる状態になった時に係る  
使用前検査成績書

施設名 : その他

系統名 : 総合設備検査

要領書番号 : 原規規収第1610071号1-35-2

平成28年11月

原子力規制委員会

## 使用前検査成績書

- 1 発電所名 関西電力株式会社高浜発電所第1号機
- 2 検査の種類 発電用原子炉に燃料体を挿入することができる状態になった時に係る  
使用前検査
- 3 検査申請 使用前検査申請番号  
関原発第299号(平成28年10月7日)
- 4 検査期日 自 平成28年11月17日  
至 平成28年11月17日
- 5 検査場所 関西電力株式会社高浜発電所  
福井県大飯郡高浜町田ノ浦
- 6 検査範囲 高浜発電所第1号機の発電用原子炉施設において、工事計画記載項目(基本  
設計方針除く。)のうち実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則第16  
条の表に基づく他の使用前検査で確認するもの以外の項目
- 7 検査結果 検査結果一覧表のとおり

## 検査結果一覧表

検査項目	検査結果	原子力施設検査官	検査立会責任者
検査記録の確認検査	良	平成 28年 11月 17日	平成 28年 11月 17日
		山元 義弘	ボイラー・タービン 主任技術者
		大和田 智	[Redacted]
		(環境技官) 北條 駿	[Redacted]

8 特記事項

なし

9 添付資料

使用前検査記録

- 1 検査前確認事項
- 2 検査記録の確認検査記録
- 3 兼用設備一覧表

## 高浜発電所第1号機 使用前検査記録

## 検査前確認事項

## 検査記録の確認検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録（必要に応じ保全実績の記録を含む。）が準備されていること。	記録確認	平成 28 年 11 月 17 日	良	
		平成 年 月 日		
		平成 年 月 日		
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	平成 28 年 11 月 17 日	良	
		平成 年 月 日		
		平成 年 月 日		

高浜発電所第1号機

## 検査記録の確認検査記録

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

施設名：原子炉冷却系統施設

判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。

検査対象	確認項目	検査年月日	検査結果	検査方法
原子炉補機冷却設備 ポンプ 大容量ポンプ(1・2・3・4号機共用)	保管場所確認検査	平成28年 11月17日	良	記録確認

## 備考

・記録確認は、申請者の品質記録(※)による。

※：適合性確認検査成績書の識別番号：T1-3-0401

## 兼用設備一覧表

主たる機能に関する設備	兼用する設備
原子炉冷却系統施設 ・原子炉補機冷却設備 ポンプ 大容量ポンプ（1・2・3・4号機共用）	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備 ポンプ 大容量ポンプ（放水砲用）（1・2号機共用）
	原子炉格納施設 圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備） ポンプ 大容量ポンプ（放水砲用）（1・2号機共用）

関西電力株式会社  
高浜発電所第1号機

発電用原子炉に燃料体を挿入することが  
できる状態になった時に係る  
使用前検査成績書

施設名 : その他

系統名 : 総合設備検査

要領書番号 : 原規規収第1610071号 35-3

令和元年 6月

原子力規制委員会



## 使用前検査成績書

- 1 発電所名 関西電力株式会社高浜発電所第1号機
- 2 検査の種類 発電用原子炉に燃料体を挿入することができる状態になった時に係る  
使用前検査
- 3 検査申請 使用前検査申請番号  
関原発第299号(平成28年10月7日)  
関原発第434号(平成30年3月20日)  
関原発第46号(平成30年4月20日)  
関原発第202号(平成30年7月4日)  
関原発第259号(平成30年8月20日)  
関原発第415号(平成30年12月5日)  
関原発第504号(平成31年2月1日)  
関原発第512号(平成31年2月6日)  
関原発第582号(平成31年3月18日)  
関原発第3号(平成31年4月4日)  
関原発第68号(令和元年5月16日)  
関原発第115号(令和元年6月24日)
- 4 検査期日 自令和元年5月29日  
至令和元年6月28日
- 5 検査場所 関西電力株式会社高浜発電所  
福井県大飯郡高浜町田ノ浦
- 6 検査範囲 高浜発電所第1号機の発電用原子炉施設において、工事計画記載項目(基本設計方針除く)のうち実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則第16条の表に基づく他の使用前検査で確認するもの以外の項目
- 7 検査結果 検査実施者及び検査結果一覧表のとおり




## 検査実施者及び検査結果一覧表

検査項目	検査結果	原子力施設検査官	検査立会責任者
検査記録の確認検査	良	令和元年5月29日	令和元年5月29日
		上田 洋 <span style="background-color: black; color: black;">[Redacted]</span> 環境技官 河田 拓也 <span style="background-color: black; color: black;">[Redacted]</span>	電気 主任技術者 <span style="background-color: black; color: black;">[Redacted]</span>

8 特記事項      なし

- 9 添付資料      使用前検査記録
- 1 検査前確認事項
  - 2 検査記録の確認検査記録

## 検査実施者及び検査結果一覧表

検査項目	検査結果	原子力施設検査官	検査立会責任者
検査記録の確認検査	良	令和元年6月11日	令和元年6月11日
		平川 至司   高橋 和宏 	電気 主任技術者  

8 特記事項

なし

9 添付資料

使用前検査記録

- 1 検査前確認事項
- 2 検査記録の確認検査記録

### 検査実施者及び検査結果一覧表

検査項目	検査結果	原子力施設検査官	検査立会責任者
検査記録の確認検査	良	令和元年 6月13日	令和元年 6月13日
		<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="text-align: center;">                     平川 圭 <span style="background-color: black; color: black;">[Redacted]</span> </div> <div style="text-align: center;">                     高橋 和宏 <span style="background-color: black; color: black;">[Redacted]</span> </div> </div>	オウラー ターゼ 主任技術者 <div style="background-color: black; width: 100%; height: 40px; margin-top: 10px;"></div>

8 特記事項



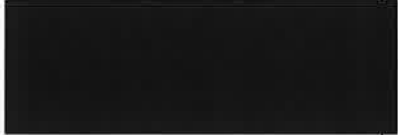
なし

9 添付資料

使用前検査記録

- 1 検査前確認事項
- 2 検査記録の確認検査記録

## 検査実施者及び検査結果一覧表

検査項目	検査結果	原子力施設検査官	検査立会責任者
検査記録の確認検査	良	令和元年 6月14日	令和元年 6月14日
		平川 圭司  高橋 和宏 	発電用原子炉 主任技術者 

8 特記事項

なし

9 添付資料

使用前検査記録

- 1 検査前確認事項
- 2 検査記録の確認検査記録

## 検査実施者及び検査結果一覧表

検査項目	検査結果	原子力施設検査官	検査立会責任者
検査記録の確認検査	良	令和元年6月17日	令和元年6月17日
		須貝 実	発電用原子炉主任技術者  ボイラー・タービン主任技師
		高橋 和宏	

8 特記事項

なし

9 添付資料

使用前検査記録

- 1 検査前確認事項
- 2 検査記録の確認検査記録

## 検査実施者及び検査結果一覧表

検査項目	検査結果	原子力施設検査官	検査立会責任者
検査記録の確認検査	良	令和元年6月28日	令和元年6月28日
		<p style="text-align: right;">高須 洋</p> <p style="text-align: right;">高橋 和男</p>	<p style="text-align: center;">発電用原子炉 主任技術者</p> <p style="text-align: center;">ボイラー・タービン主任技術者</p>

8 特記事項

なし

9 添付資料

使用前検査記録

- 1 検査前確認事項
- 2 検査記録の確認検査記録

## 高浜発電所第1号機 使用前検査記録

## 検査前確認事項

## 共通事項

## 使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	令和元年 5月29日	良	使用前検査成績書の「3.検査申請」に申請番号（変更申請番号を含む。）を記載する。
		令和元年 6月11日	良	
		令和元年 6月13日	良	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	令和元年 5月29日	良	
		令和元年 6月11日	良	
		令和元年 6月13日	良	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	令和元年 5月29日	良	
		令和元年 6月11日	良	
		令和元年 6月13日	良	



## 高浜発電所第1号機 使用前検査記録

## 検査前確認事項

## 共通事項

## 使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	令和元年 6月14日	良	使用前検査成績書の「3 検査申請」に申請番号（変更申請番号を含む。）を記載する。
		令和元年 6月17日	良	
		令和元年 6月28日	良	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	令和元年 6月14日	良	
		令和元年 6月17日	良	
		令和元年 6月28日	良	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	令和元年 6月14日	良	
		令和元年 6月17日	良	
		令和元年 6月28日	良	

## 高浜発電所第1号機 使用前検査記録

## 検査前確認事項

## 検査記録の確認検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	令和元年 5月29日	良	
		令和元年 6月11日	良	
		令和元年 6月13日	良	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	令和元年 5月29日	良	
		令和元年 6月11日	良	
		令和元年 6月13日	良	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	令和元年 5月29日	良	
		令和元年 6月11日	良	
		令和元年 6月13日	良	

## 高浜発電所第1号機 使用前検査記録

## 検査前確認事項

## 検査記録の確認検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	令和元年 6月14日	良	
		令和元年 6月17日	良	
		令和元年 6月28日	良	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	令和元年 6月14日	良	
		令和元年 6月17日	良	
		令和元年 6月28日	良	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	令和元年 6月14日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		

高浜発電所第1号機				
検査記録の確認検査記録				
検査場所：関西電力株式会社高浜発電所				
施設名：放射線管理施設				
判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。				
検査対象	確認項目	検査年月日	検査結果	検査方法
放射線管理用計測装置 エリアモニタリング設備 緊急時対策所の線量当量率を計測する装置 緊急時対策所外可搬型エリアモニタ (1・2・3・4号機共用)	外観検査	令和元年 6月14日	良	記録確認
	取付箇所確認検査			
	保管場所確認検査			
放射線管理用計測装置 エリアモニタリング設備 緊急時対策所の線量当量率を計測する装置 緊急時対策所内可搬型エリアモニタ (1・2・3・4号機共用)	外観検査	令和元年 6月14日	良	
	取付箇所確認検査			
	保管場所確認検査			
放射線管理用計測装置 移動式周辺モニタリング設備 可搬式モニタリングポスト (1・2・3・4号機共用)	保管場所確認検査	令和元年 6月28日	良	
	取付箇所確認検査			
放射線管理用計測装置 移動式周辺モニタリング設備 電離箱サーベイメータ (1・2・3・4号機共用)	保管場所確認検査	令和元年 6月28日	良	
備考 ・記録確認は、申請者の品質記録(※)による。 ※：適合性確認検査成績書の識別番号：T1-3-1106 T1-3-1111(その2)(再検査) T1-3-1109				

高浜発電所第1号機				
検査記録の確認検査記録				
検査場所：関西電力株式会社高浜発電所				
施設名：放射線管理施設				
判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。				
検査対象	確認項目	検査年月日	検査結果	検査方法
放射線管理用計測装置 移動式周辺モニタリング設備 NaIシンチレーションサーベイメータ (1・2・3・4号機共用)	保管場所確認検査	令和元年 6月28日	良	記録確認
放射線管理用計測装置 移動式周辺モニタリング設備 GM汚染サーベイメータ (1・2・3・4号機共用)	保管場所確認検査	令和元年 6月28日	良	
放射線管理用計測装置 移動式周辺モニタリング設備 ZnSシンチレーションサーベイメータ (1・2・3・4号機共用)	保管場所確認検査	令和元年 6月28日	良	
放射線管理用計測装置 移動式周辺モニタリング設備 β線サーベイメータ (1・2・3・4号機共用)	保管場所確認検査	令和元年 6月28日	良	
備考 ・記録確認は、申請者の品質記録(※)による。 ※：適合性確認検査成績書の識別番号：T1-3-1109				

高浜発電所第1号機				
検査記録の確認検査記録				
検査場所：関西電力株式会社高浜発電所				
施設名：放射線管理施設				
判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。				
検査対象	確認項目	検査年月日	検査結果	検査方法
換気設備 送風機 緊急時対策所非常用空気浄化ファン (1・2・3・4号機共用)	寸法検査	令和元年 6月17日	良	記録確認
	外観検査			
	取付箇所確認検査			
	保管場所確認検査			
換気設備 フィルター 緊急時対策所非常用空気浄化フィルタユニット (1・2・3・4号機共用)	寸法検査	令和元年 6月17日	良	
	外観検査			
	取付箇所確認検査			
	保管場所確認検査			
備 考 ・記録確認は、申請者の品質記録(※)による。 ※：適合性確認検査成績書の識別番号：T1-1-0104, T1-3-0104(その3)				

高浜発電所第1号機				
検査記録の確認検査記録				
検査場所：関西電力株式会社高浜発電所				
施設名：その他発電用原子炉の附属施設				
判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。				
検査対象	確認項目	検査年月日	検査結果	検査方法
非常用電源設備 非常用電源装置 内燃機関 機関並びに過給機 電源車（緊急時対策所用）内燃機関（1・2・3・4号機共用）	外観検査	令和元年 6月11日	良	記録確認
	取付箇所確認検査			
非常用電源設備 非常用電源装置 内燃機関 調速装置及び非常調速装置 調速装置（1・2・3・4号機共用） （電源車（緊急時対策所用））	外観検査	令和元年 6月11日	良	
非常用電源設備 非常用電源装置 内燃機関 調速装置及び非常調速装置 非常調速装置（1・2・3・4号機共用） （電源車（緊急時対策所用））	外観検査	令和元年 6月11日	良	
非常用電源設備 非常用電源装置 内燃機関 内燃機関に附属する冷却水設備 冷却水ポンプ（1・2・3・4号機共用） （電源車（緊急時対策所用））	外観検査	令和元年 6月11日	良	
	取付箇所確認検査			
備 考 ・記録確認は、申請者の品質記録（※）による。 ※：適合性確認検査成績書の識別番号：T1-3-0901(その1)				

高浜発電所第1号機				
検査記録の確認検査記録				
検査場所：関西電力株式会社高浜発電所				
施設名：その他発電用原子炉の附属施設				
判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。				
検査対象	確認項目	検査年月日	検査結果	検査方法
非常用電源設備 非常用電源装置 内燃機関 燃料デイトンク又はサービスタンク 燃料タンク（1・2・3・4号機 共用）（電源車（緊急時対策所 用））	材料検査	令和元年 6月11日	良	
	寸法検査			
	外観検査			
	耐圧検査、漏えい検査			
	取付箇所確認検査			
非常用電源設備 非常用電源装置 燃料設備 容器 タンクローリー（1・2・3・4 号機共用）	保管場所確認検査	令和元年 6月28日	良	記録確認
非常用電源設備 非常用電源装置 燃料設備 主配管 タンクローリー給油ライン接続用 30m ホース（1・2・3・4号機共 用）	取付箇所確認検査	令和元年 6月13日	良	
備 考 ・記録確認は、申請者の品質記録（※）による。 ※：適合性確認検査成績書の識別番号：T1-3-0901(その1) T1-3-0551(その1) T1-3-0551(その2)				



高浜発電所第1号機				
検査記録の確認検査記録				
検査場所：関西電力株式会社高浜発電所				
施設名：その他発電用原子炉の附属施設				
判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。				
検査対象	確認項目	検査年月日	検査結果	検査方法
非常用電源設備 非常用電源装置 発電機 発電機 電源車（緊急時対策所用）（1・2・3・4号機共用）	寸法検査	令和元年 6月11日	良	記録確認
	外観検査			
	取付箇所確認検査			
	保管場所確認検査			
非常用電源設備 非常用電源装置 発電機 励磁装置 励磁装置（1・2・3・4号機共用）（電源車（緊急時対策所用））	外観検査	令和元年 6月11日	良	
	取付箇所確認検査			
非常用電源設備 非常用電源装置 発電機 保護継電装置 保護継電装置（1・2・3・4号機共用）（電源車（緊急時対策所用））	外観検査	令和元年 6月11日	良	
非常用電源設備 その他の電源装置 無停電電源装置 電源装置（1・2・3・4号機共用）（取水路防潮ゲート電源装置）	寸法検査	令和元年 5月29日	良	
	外観検査			
	組立て及び据付状態を確認する検査			
備 考				
<ul style="list-style-type: none"> <li>記録確認は、申請者の品質記録（※）による。</li> <li>※：適合性確認検査成績書の識別番号：T1-3-1005 T1-3-0907(その1)</li> </ul>				